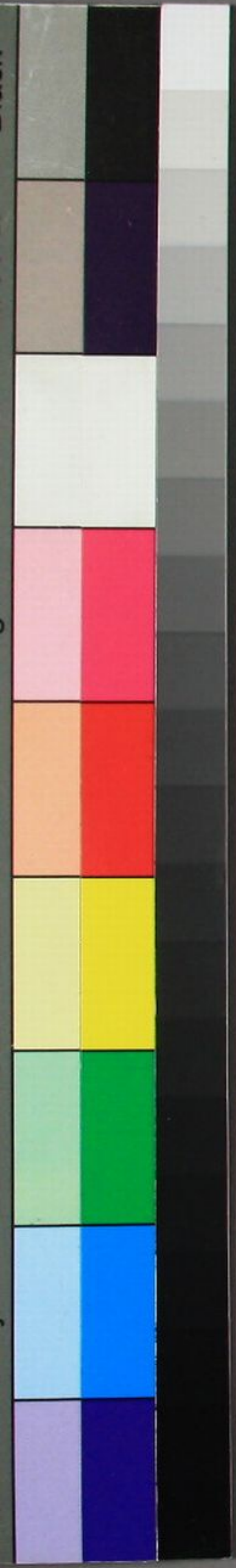


大 全 塵 劫 記

全

同實問之解	同此例式及適等之解	點竄術定則	同實問之解	天元術定則	相應開立	相應開平	開平方	地方割	木運賃地代	炭多葉粉絹木綿	水油味嚼塩茶薪	金銀錢米酒醬油	相場割	諸數名義
					勾股弦	開立方	帶縱開平	坪立坪物成普請						八算 見一

小倉文庫  
 16  
 120





門 116  
號 86  
卷

長谷川善左衛門寬閱  
小樽安兵衛謙編

# 大全塵劫記

此書之基教より大教小教及諸教の名義八等見一法相を別  
差分盈朒地方坪割田畑反畝坪刈當合石盛免高取米普請  
等の刻用平方用立方勾股弦天元點窠術小至るまで解法を  
平仮字より出阿らひしふ示しのま深切叮嚀盡小先生の教諭  
受るが如く幼童初学の士といへども會はし易き稽古本あり

江戸中橋廣小路町 書肆北林堂 西宮彌兵衛敬白

受入



周禮保氏教國子六藝而數居其一蓋數上下涉古今而有益也多矣我邦自吉田氏塵劫記出而官府之用童蒙之需莫不取資于斯可謂其功大也小樽益甫嘗好源變算法受業于西礮先生覃思研精久而究其蘊奧矣頃著算書數篇以演源變之術蓋慕吉田氏之功也題曰大全塵劫記其術簡約便易宏淵不難有志於算學者由是而往則其庶幾乎方將上梓需余序余與益甫交厚是不可辭也因序益甫本姓高橋氏上毛高崎產小樽氏為養子名謙稱安兵衛號曰藤樹東武人也天保三年壬辰秋八月筑後柳川宮本重一撰



大全塵劫記



大全塵劫記目錄

上卷

卷中凡例

小數

衡

九々合數

八等之別

見一之別

掛別定位

米

味

基數

度

九

同

同

同

同

同

同

大數

量

諸物

撞除

同

同

金

酒

多

續本

材木

利

比

物

帶

相

下卷

天

燕

目錄終

系

運

差

平

普

相

句

燕

茶

地

盈

立

開

開

比



凡例

一 此書と卷某の初門を分ち類題を集成以故術例諸條して  
 次第をふさぐといへども日用の捷徑小因る  
 一 懸竈術の諸法の起原を探索する良法あり下巻小是を詳小  
 初学の士は法を習はるゝと見ハ題小臨之術を施小理解明  
 少して自ら精術を修る小至る  
 一 因帰繰除等の算術の語りて俗好小是を唱はるは別加  
 引等の辞ハ幼童といへども耳小到て唱易一故卷中を別加  
 引の辞を用ひけ依の算語ハ傍小其意を注は

大 全 塵 劫 記

東 武

長谷川善左衛門寛閑  
 小樽安兵衛謙編

大 數	一	十	百	千	万
	一	十	百	千	万
	一	十	百	千	万
	一	十	百	千	万
	一	十	百	千	万
	一	十	百	千	万
	一	十	百	千	万
	一	十	百	千	万
	一	十	百	千	万
	一	十	百	千	万
一	十	百	千	万	
一	十	百	千	万	

一三五七九を奇數とい  
 二四六八十を偶數とい

大 全 塵 劫 記



小數

分 十釐を

釐 十毫を

毫 十絲を

絲 十忽を

忽 微

纖 沙

塵 埃

測 漠

度

丈 十尺を以て丈以上大数を用

尺 十寸を

寸 十分を

分 十釐を以て後倣之

釐

毫

絲 忽

端 或長二丈六尺或二丈七尺

匹 二端を

量

石 十斗を以て石以上大数を用

斗 十升を

升 十合を

合 十勺を以て後倣之

勺

抄

撮

圭

粟

衡

貫 十百文目を以て貫以上大数を用

百 十十文目を

十

錢 一文目を以て以下小數を用

兩

斤

畝

步

間

諸物輕重

金

檜

九九合數

一一一	一二二	一三三	一四四	一五五
一六六	一七七	一八八	一九九	二二四

四文目三分 或四文目 或四文目四分 或五文目 小判一枚を兩とす 或百文目 或百八十文目 或二百文目 或二百三十文目 或二百五十文目 或二百七十文目 或三百文目 或四分 或一分 或二分 或四分 或五分 或六分 或七分 或八分 或九分 或十分 或十一分 或十二分 或十三分 或十四分 或十五分 或十六分 或十七分 或十八分 或十九分 或二十分 或二十一分 或二十二分 或二十三分 或二十四分 或二十五分 或二十六分 或二十七分 或二十八分 或二十九分 或三十分 或三十一分 或三十二分 或三十三分 或三十四分 或三十五分 或三十六分 或三十七分 或三十八分 或三十九分 或四十分 或四十一分 或四十二分 或四十三分 或四十四分 或四十五分 或四十六分 或四十七分 或四十八分 或四十九分 或五十分 或五十一分 或五十二分 或五十三分 或五十四分 或五十五分 或五十六分 或五十七分 或五十八分 或五十九分 或六十分 或六十一分 或六十二分 或六十三分 或六十四分 或六十五分 或六十六分 或六十七分 或六十八分 或六十九分 或七十分 或七十一分 或七十二分 或七十三分 或七十四分 或七十五分 或七十六分 或七十七分 或七十八分 或七十九分 或八十分 或八十一分 或八十二分 或八十三分 或八十四分 或八十五分 或八十六分 或八十七分 或八十八分 或八十九分 或九十分 或九十一分 或九十二分 或九十三分 或九十四分 或九十五分 或九十六分 或九十七分 或九十八分 或九十九分 或百分

方六尺を 三十歩を 十畝を 十町を 長三十六町 或五十町 或六町を以て 長六尺五寸 長六十間を 里以上大数を用 各一寸四方六面の重を記す

銀 百四十文目 銅 七十五文目 鉛 九十五文目 青石 二十六文目 土 十一文目 米一升 四文目 水一升 十文目 品の位小應とて輕重同や

百七十文目 五文目 三文目 二分



二六	二四	二五	二六	二七
三六	二九	三三	三四	三五
四六	三七	三八	三九	四四
五六	四六	四七	四八	四九
六六	五六	五七	五八	五九
七六	六七	六八	六九	七七
八六	七八	八八	八九	九九
九六	九七	九八	九九	九九
一進一十	二進二十	三進三十	四進四十	五進五十
六進六十	七進七十	八進八十	九進九十	二一添作五
二進一十	四進二十	六進三十	八進四十	三一三十一
三二六十二	三進一十	六進二十	九進三十	四一二十二

九歸法

四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九
五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九
六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九
七二	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九
八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九
九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九
九六	九七	九八	九九	九九	九九	九九	九九
四二添作五	四三添作五	四四添作五	四五添作五	四六添作五	四七添作五	四八添作五	四九添作五
五二加二	五三加三	五四加四	五五加五	五六加六	五七加七	五八加八	五九加九
六二三十二	六三添作五	六四六十四	六五八十二	六六進一十	六七七十一	六八八十一	六九九十一
七一下加三	七二下加六	七三四十二	七四五十五	七六六十五	七七七十五	七八八十五	七九九十五
七六八十四	七進一十	八一一下加二	八二下加四	八三下加六	八四下加八	八五下加十	八六下加十二
八四添作五	八五六十二	八六七十四	八七八十六	八九九十八	九九一十	九九二十二	九九三十四
九一下加一	九二下加二	九三下加三	九四下加四	九五下加五	九六下加六	九七下加七	九八下加八
九六下加六	九七下加七	九八下加八	九九下加九	九九下加十	九九下加十一	九九下加十二	九九下加十三

撞除法

見一無頭作九一	歸一倍一	見二無頭作九二	歸一倍二	見三無頭作九三	歸一倍三
見四無頭作九四	歸一倍四	見五無頭作九五	歸一倍五	見六無頭作九六	歸一倍六
見七無頭作九七	歸一倍七	見八無頭作九八	歸一倍八	見九無頭作九九	歸一倍九



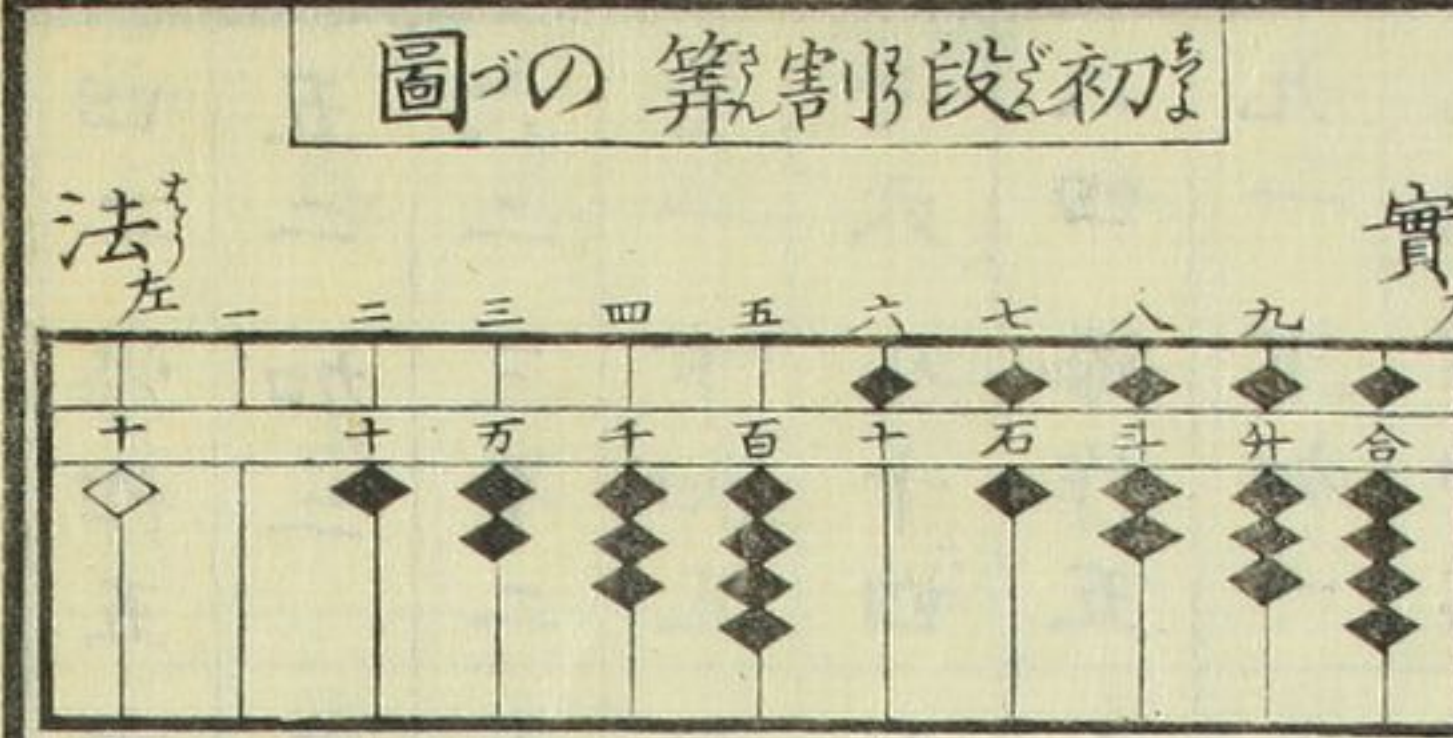
八算

初段より九の戻までを九帰とし  
二の戻より九の戻までを八算とし

今米一萬二千五百石六斗七升八合九勺を十割に何程と同

答一萬二千五百石六斗七升八合九勺

一の割	一進	二進	三進	四進	五進
五十一	六十	七十	八十	九十	

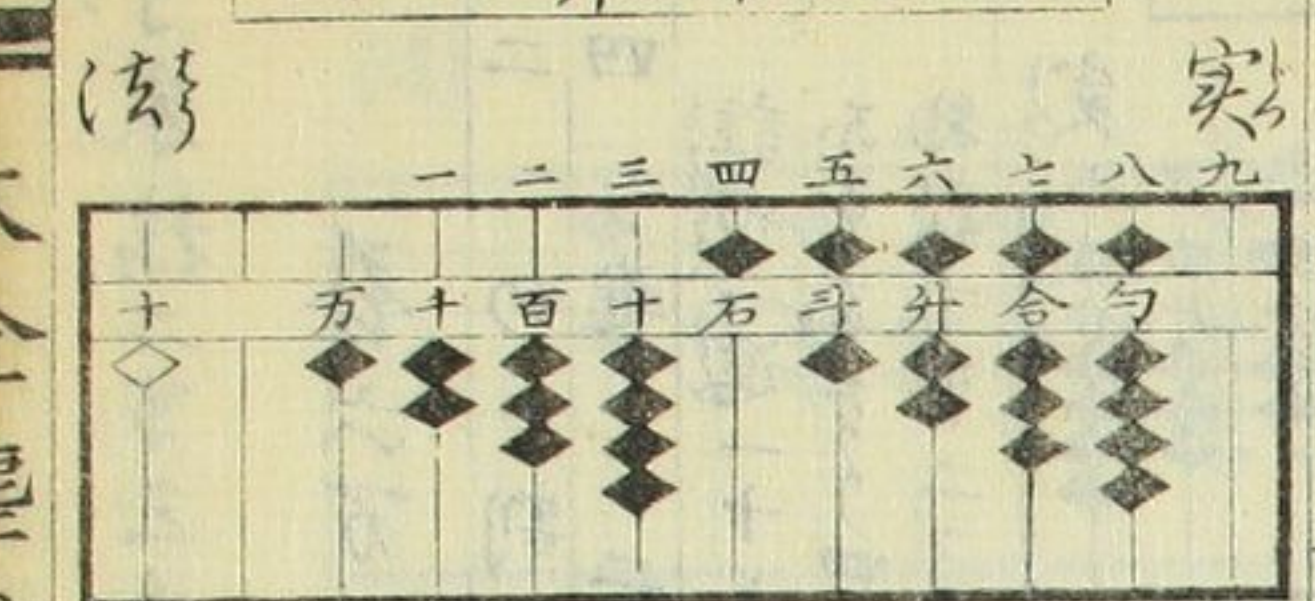


九進九十とつては九をさしひて九をたへ九なり  
 八進八十とつては八をさしひて八をたへ八なり  
 七進七十とつては七をさしひて七をたへ七なり  
 六進六十とつては六をさしひて六をたへ六なり  
 五進五十とつては五をさしひて五をたへ五なり  
 四進四十とつては四をさしひて四をたへ四なり  
 三進三十とつては三をさしひて三をたへ三なり  
 二進二十とつては二をさしひて二をたへ二なり  
 一進十とつては一をさしひて一をたへ一なり

米一萬二千五百石六斗七升八合九勺を十割に何程と同  
 答一萬二千五百石六斗七升八合九勺

算盤の法

初段の算盤の法



九九とつては九をさしひて九をたへ九なり  
 八八とつては八をさしひて八をたへ八なり  
 七七とつては七をさしひて七をたへ七なり  
 六六とつては六をさしひて六をたへ六なり  
 五五とつては五をさしひて五をたへ五なり  
 四四とつては四をさしひて四をたへ四なり  
 三三とつては三をさしひて三をたへ三なり  
 二二とつては二をさしひて二をたへ二なり  
 一一とつては一をさしひて一をたへ一なり

今米一萬二千五百石六斗七升八合九勺を十割に何程と同  
 答一萬二千五百石六斗七升八合九勺

算盤の法







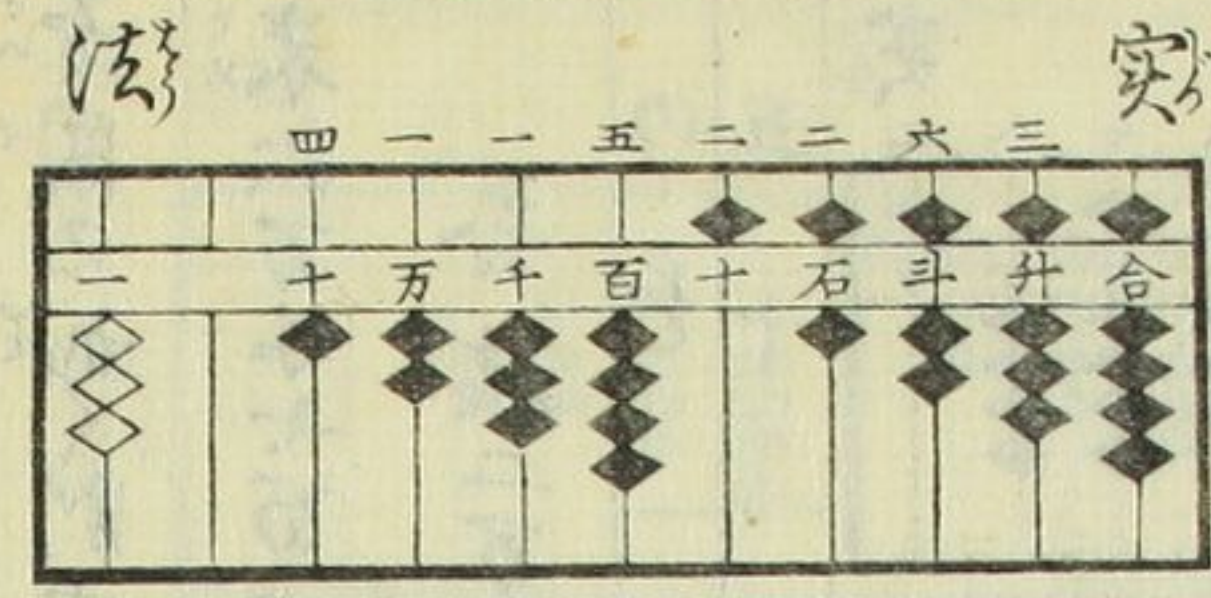
今米拾二万之子は百拾六石七斗八升九合をこつ小割何種と同

拾二万の子は百拾六石七斗八升九合をこつ小割何種と同

三の割	三	三十一	三二	六十二
三進	一十	六進	二十	九進
				三十

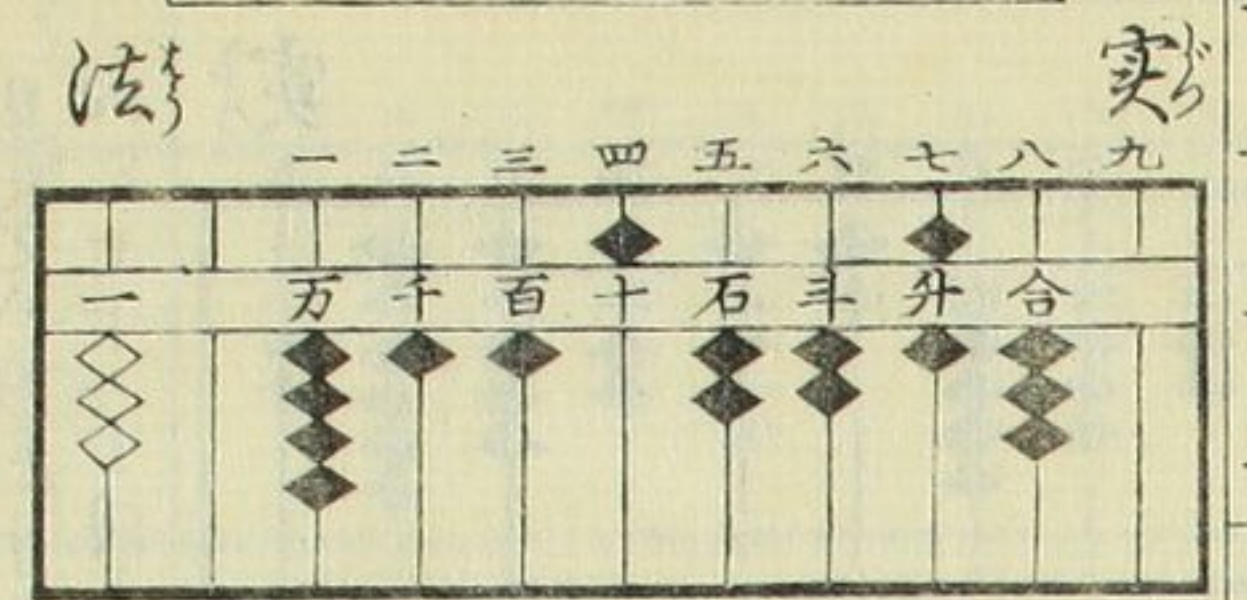
註曰之進二十とは揚粒ニツをこつ小割ハ一ツあり故ふこをさうひ十の形へ進め二十と  
 おもきあり六進二十九進二十も皆と進二十の重なるありこ三十一の實の一を二と右へ垂  
 うるるとハ懸粒十ツあり先を九進二十と別ハ原一垂るるこ二と次次の乃こ小残  
 一あるゆへこ一ハ二十一ありこ二十六二十ハこ三十一の二度動るこ

三の段の算の圖



九進三千とつては九を拂一とたへこくり  
 九進千とつては九を拂一とたへこくり  
 六進二十とつては内六拂一とたへこくり  
 六進二十とつては六を拂一とたへこくり  
 六進二十とつては六を拂一とたへこくり  
 三進二十とつては二十を拂一とたへこくり  
 三進二十とつては二十を拂一とたへこくり  
 三進二十とつては二十を拂一とたへこくり  
 米拾二万の子は百拾六石七斗八升九合を實へ並こを法へ  
 並圖の如く割に万子百拾六石七斗八升九合と知あり

三の段の掛算の圖



三三九とつては九を拂一とたへこくり  
 三六八とつては八を拂一とたへこくり  
 二二六とつては六を拂一とたへこくり  
 二二六とつては六を拂一とたへこくり  
 三五五とつては五を拂一とたへこくり  
 一三三とつては三を拂一とたへこくり  
 一三三とつては三を拂一とたへこくり  
 三四十二とつては十二を拂一とたへこくり  
 米拾二万の子は百拾六石七斗八升九合を實へ並こを法へ並て  
 圖の如くを拾二万の子は百拾六石七斗八升九合と知あり

今米拾二万の子は百拾六石七斗八升九合をこつ小割何種と同

拾二万の子は百拾六石七斗八升九合をこつ小割何種と同

三の	一三	二三	三三	三四
五	三六	三七	三八	三九

今米拾二万の子は百拾六石七斗八升九合をこつ小割何種と同

拾二万の子は百拾六石七斗八升九合をこつ小割何種と同















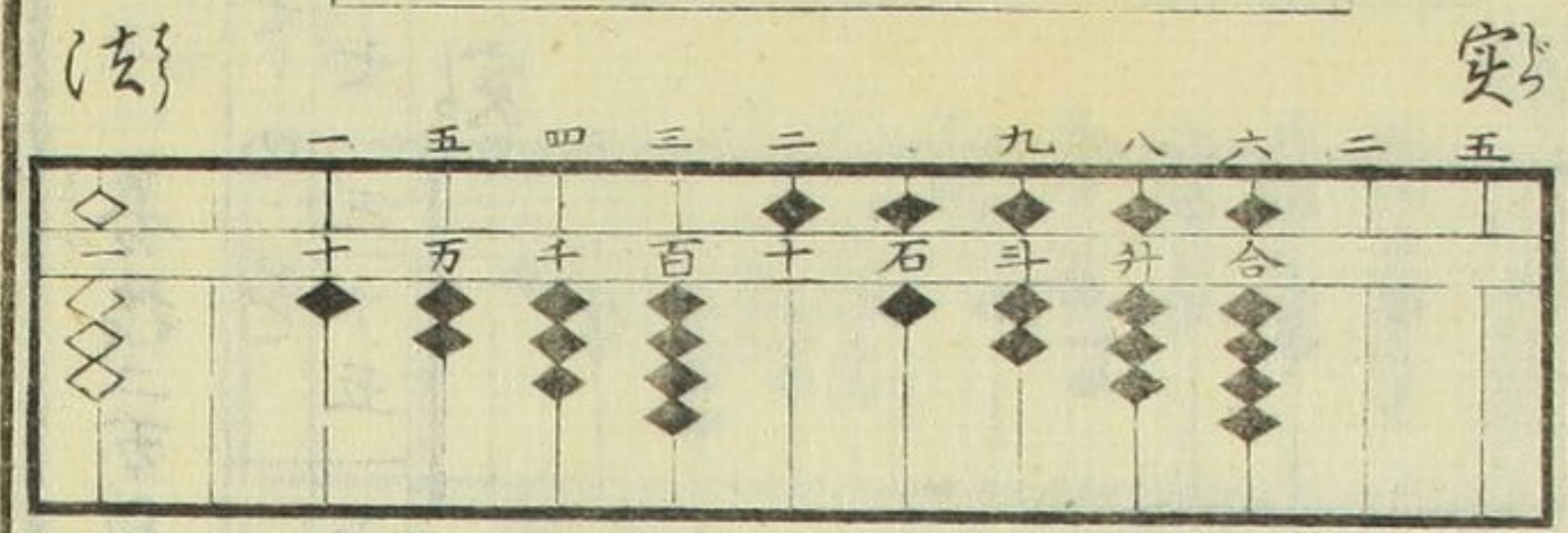




八四	添作五	八五	六十二	八一	下加二	八二	下加四	八三	下加六
八四	添作五	八五	六十二	八六	七十四	八七	八十六	八進	一十

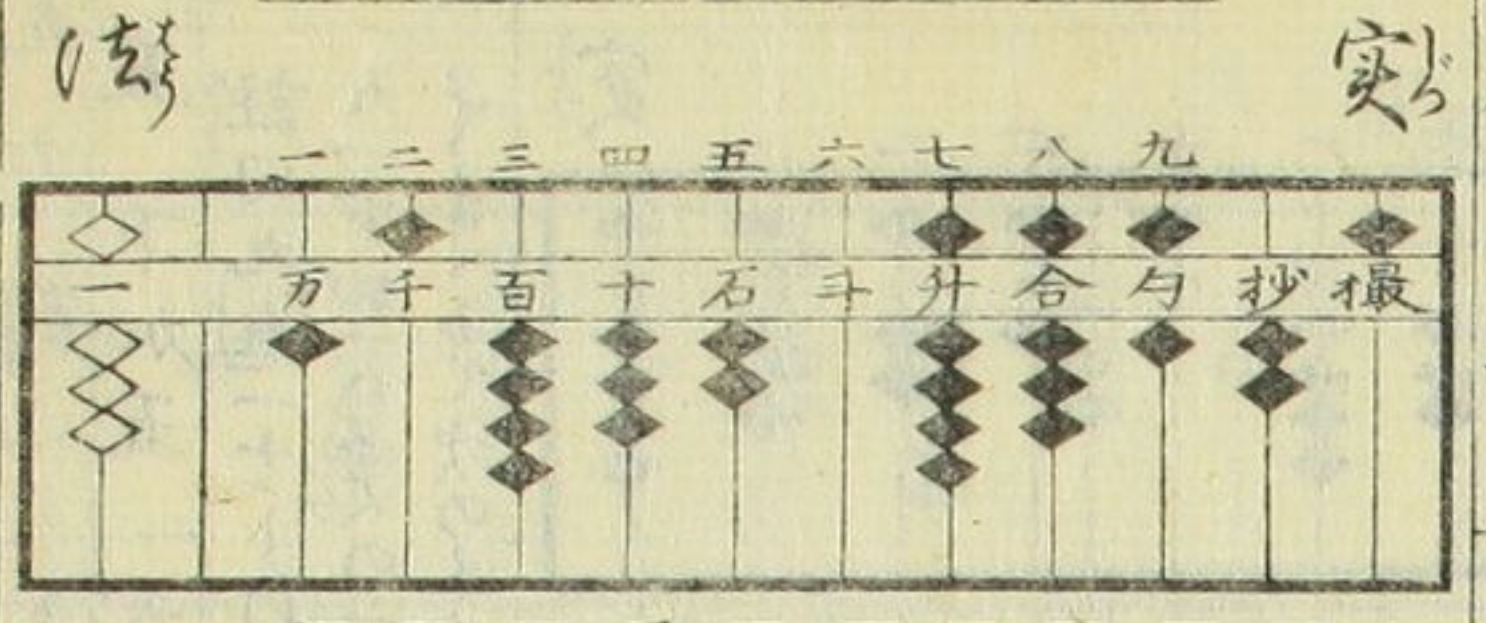
註曰八進一十は物殺ハツをハツハツあり仍て八を拂十の乃へ進め一十とあそぶあり  
 八下加二実の一を二にたへて八進一十を八進一十と割ハ原一進一十とあそぶあり  
 まゝみて次のりこ残二あるゆえ八下加二あり八下加四あり八七八十六まで皆同一理あり

八の段の割算の圖



八四添作五とてけやをふつくる  
 八二下加とて二をけやを並次のりこへく  
 八進一十とてけ内八拂一りたへく  
 八進一十とてけ内八拂一りたへく  
 八七八十六とてけ七を八のり次のりこへく  
 八進一十とてけ内八拂一りたへく  
 八進一十とてけ内八拂一りたへく  
 八二下加二とてけ一をけやを並次のりこへく  
 米格二万こ子四百六拾六石七斗八升九合を實へ並八を法へ並て  
 圖の如く割を方ふ四百六拾六石七斗八升九合を實へ並八を法へ並て

八の段の掛算の圖



五八四十とてけけやをふつくる  
 二八十六とてけ二を二つり次のりこへく  
 三八二十四とてけ二を二つり次のりこへく  
 四八三十二とてけ二を二つり次のりこへく  
 五八四十とてけ二を二つり次のりこへく  
 一八八ふ二を十とてけ二を二つり次のりこへく  
 米格二万こ子四百六拾六石七斗八升九合を九つ割何程と同

今米を方ふ四百六拾六石七斗八升九合を九つ割何程と同  
 答格二万こ子四百六拾六石七斗八升九合

今米格二万こ子四百六拾六石七斗八升九合を九つ割何程と同







見一

今根百を十六割何程と同

六分二分

見一の割

見一無頭作九一

歸一倍一

一進

一十

二進

二十

三進三十

四進四十

五進五十

六進六十

七進七十

八進八十

九進九十

註曰見一無頭作九一とは実の首の一を法の首の一と一進一十と刻は商一を  
はるるを商とよぶ一と法の次の数と見合九十九の位実めて引とれば引は九十九  
されば一進一十と刻とあはれば引とれば九十九と刻は原一並する形九十九成  
一と右へ進めれば顆数十つを九進九十と刻は原一並する形九十九成  
右のくく小残一もゆえ実の一を九一と作るとよぶ義あり歸一倍一とは刻て引  
教はくくされば別はる商の内一をくくして原のくく二倍とよぶ義あり見二無頭  
作九二帰一倍二より見九無頭作九九帰一倍九まで皆同ノ理あり

凡法二桁以上を割れば是法の首の数を以て実の首の数を割商を  
はる其商と法の次の桁の数と次才ふ足合九九ふは実少引終り又次の  
商を求む別や初商のくく逆くけの如く次の商を求むあり

見一割算の圖

實	五	二	六	法
	十	十	百	

五進五十といふは内五排一とくく五と五六三十引といふて残二を引排あり

二進二十 といふは内二排 二六十二引八残 といふて是は内一排て後亦残一を

六六三十六引四残といふて是三排て後六引といふて残一を排四残といふて次のくく四と

見一無頭作九一 といふは九を九小 歸一倍 といふは九を九小 歸一倍 上の 歸一倍 上の

銀百目を實へ並十六を法へ並て法の首の一を實の一を二進二十と刻とれば

実少引教あきまをえ刻とあはれば仍て見一無頭作九一と刻初商九を

次のくく小一残初商九と法の六と足合 商の次のくくして 六九五十四は実少

引ぬゆえ歸一倍といひて商九の内二排次のくく一を加は高八も成次のくく二も成高八と法の六と

足合六八四十八も亦実少引ぬゆえ歸一倍を二度呼て返すとれば高六を法次の四と

ある商六と法の六と足合六六二十六引八實少四残も是を法の首の一を四進四十と刻は實少

引教残らぬゆえ四進四十とは刻も仍て二進二十と刻次の商二をばるは商二と法の六と

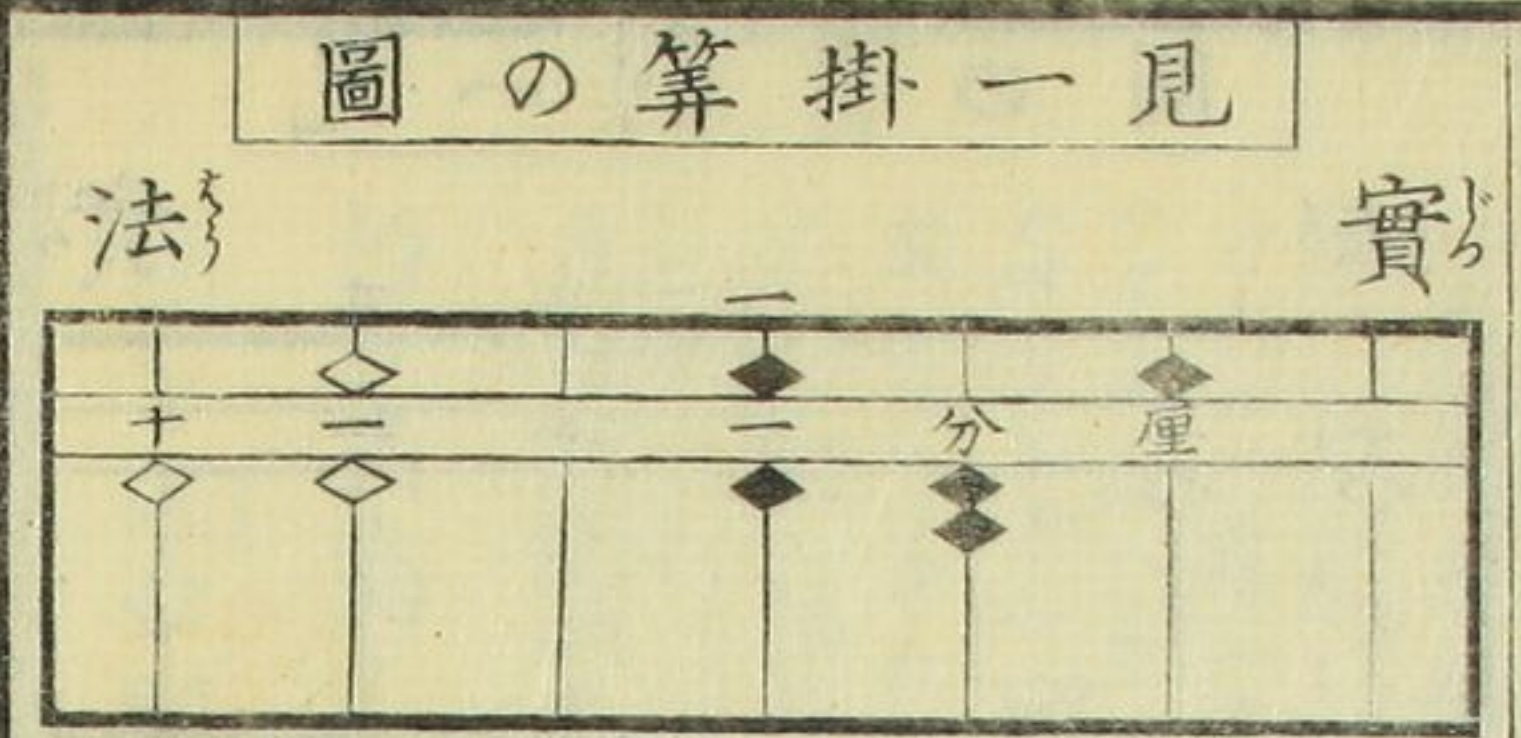
六全書力已



見合三十三実中引八実小八残る是を法の首の一と五進五十と割三の高五を引け  
又と法の六と見合五六三十実中引掛六分五分と知あり

今根六分五分を十六合て何後と同

答百目



五六三十と引てけりへ三くり  
 一五五 と引てけみを 二六十二 小八ともの十と引て先けりへ一加て後  
掛次のろへみ加ふ  
 一二二 と引てけ二を掛 六六三十六 小八ともの十と引て先けりへ一加て後  
次のろへ二加ふ  
 一六六 小八ともの十と引て先けりへ一加て後  
掛次のろへ三加ふ  
 凡法二桁以上ををると凡八実一及へ法の桁数を残らむををるあり先  
 実の尾より法の桁数程右へさぐりて十の位を加へる柄とし法の尾  
 数と見合九九小引て加へ亦法の尾より一及たの数と実の尾

数と見合九九小引て加ふ法は次牙小たへあがり実の尾数と見合を終て実一桁の  
 を算をむ返してけの如く実の首の桁へそのあるあり因中系の混むる所ハ  
 合数を記してを割の次牙を明少引見合て知へ  
 根六分五分を厘を實へ進十六を法へ進て實のみと法の六と見合み六  
 二十と亦実のみと法の二と見合一五五と亦実の二と法の六と見合二六十二と  
 うけ亦実の二と法の二と見合二二と亦実の六と法の六と見合六六二十六と  
 亦亦実の六と法の二と見合一六六と因のごとくをろく根百目と  
 知あり

今根二百式指をを二指六小割何後と同  
 答八分五分

見	二	の	割	見	二	無	頭	作	九	二	帰	一	倍	二
二進	一	十	四進	二十	六進	三十	八進	四十	二	一	添	作	五	

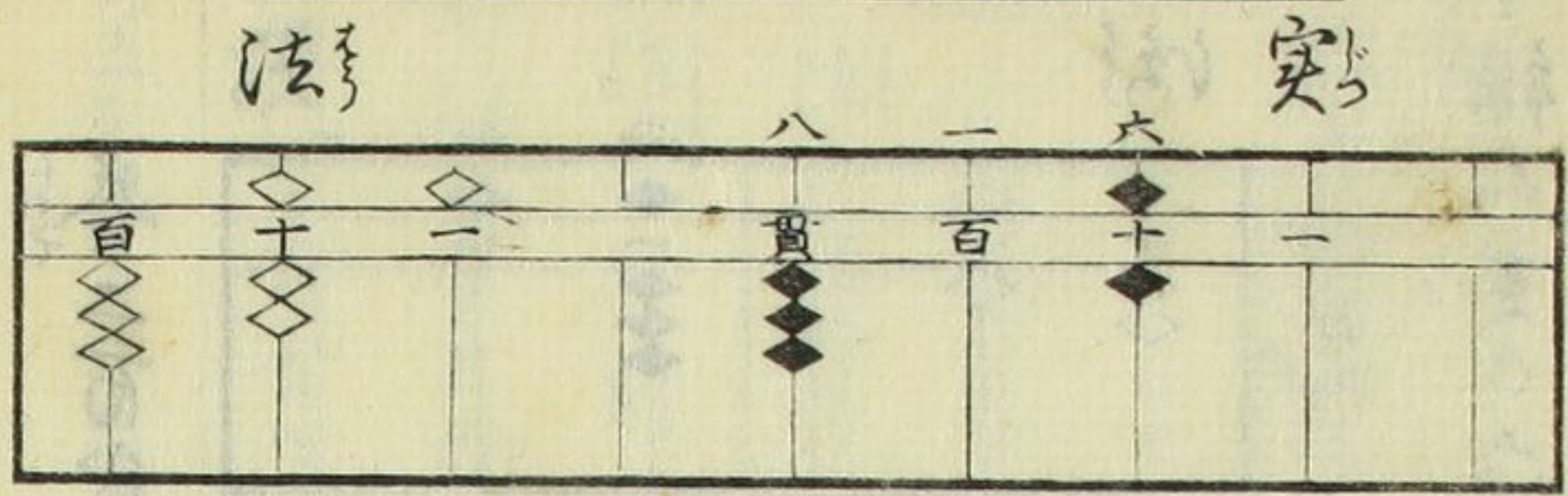






見三の割	見三無頭作九三	歸一倍三
三一	三十一	九進三十
三二	六十二	
三三	三進一十	
	六進二十	

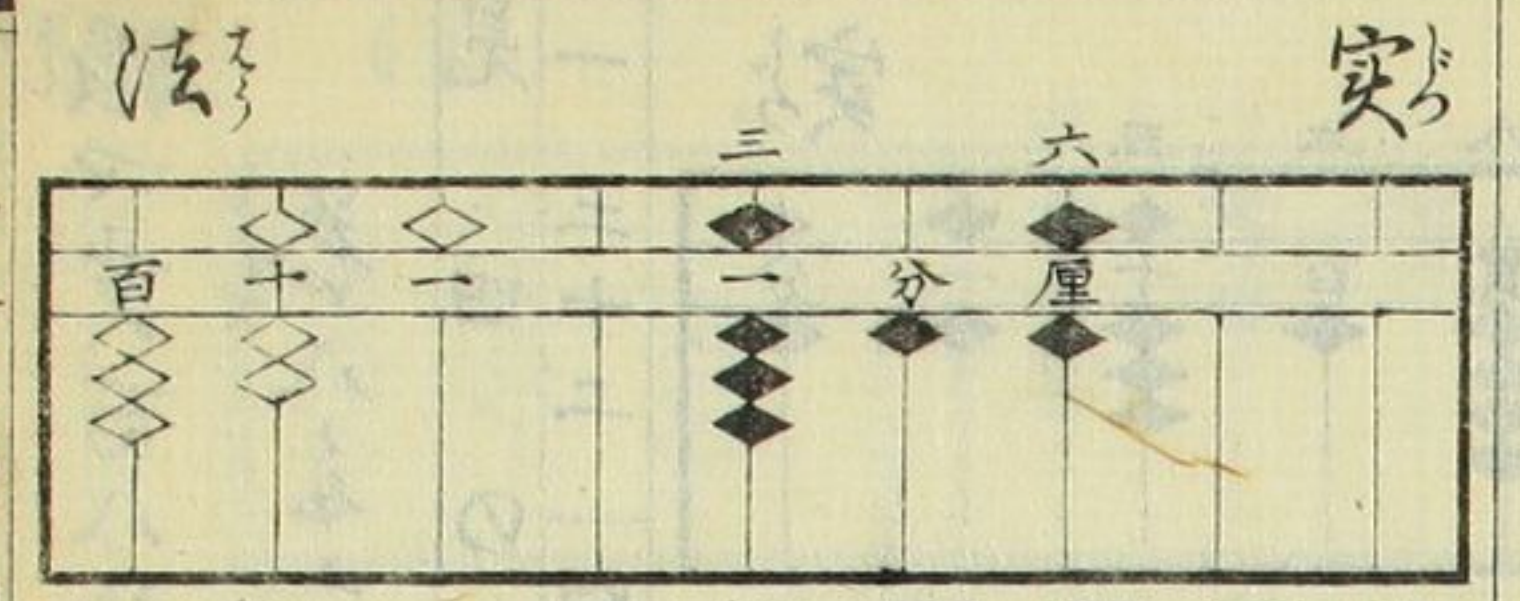
見三割算の圖



五六十引とひてはけりて三引てし  
 一五五引五残 といひてはけりて一掛  
 五引引けし三進干 といひてはけりて一七引引残  
 七八五十六引四残 といひてはけりて先けりて後亦一掛次よりへやくし  
 見三無頭作九三 といひてはけりて九の次よりへやくし  
 一五五引五残 といひてはけりて一掛  
 五引引けし三進干 といひてはけりて一七引引残  
 七八五十六引四残 といひてはけりて先けりて後亦一掛次よりへやくし  
 見三無頭作九三 といひてはけりて九の次よりへやくし  
 一五五引五残 といひてはけりて一掛  
 五引引けし三進干 といひてはけりて一七引引残  
 七八五十六引四残 といひてはけりて先けりて後亦一掛次よりへやくし  
 見三無頭作九三 といひてはけりて九の次よりへやくし

實の引亦法のを以て實を三二六十二と割之の商六をひけりて法の七と見合六七四十二  
 實の引亦三の商六と法の七と見合五三三引と圖の如く割八八一を六と知あり  
 今銀八八を六を二百七拾五合て何程と同  
 各之費の六拾五

見三掛算の圖



五六三といひてはけりて三引り  
 六七四二 といひてはけりて二引り  
 三六八 といひてはけりて一引り  
 一三三といひてはけりて一掛次よりへやくし  
 三八二十四の六と法の十とひてはけりて後次の九とひて六掛亦けりて一引り  
 根八八を六を實へ五七拾五を法へ垂て實の六と法の七と見合五三三と  
 是實の六と法の七と見合六七四十二とを實の六と法の七と見合五三三と  
 次才圖の如くをて之費の六拾五をひるあり

大全算術去言

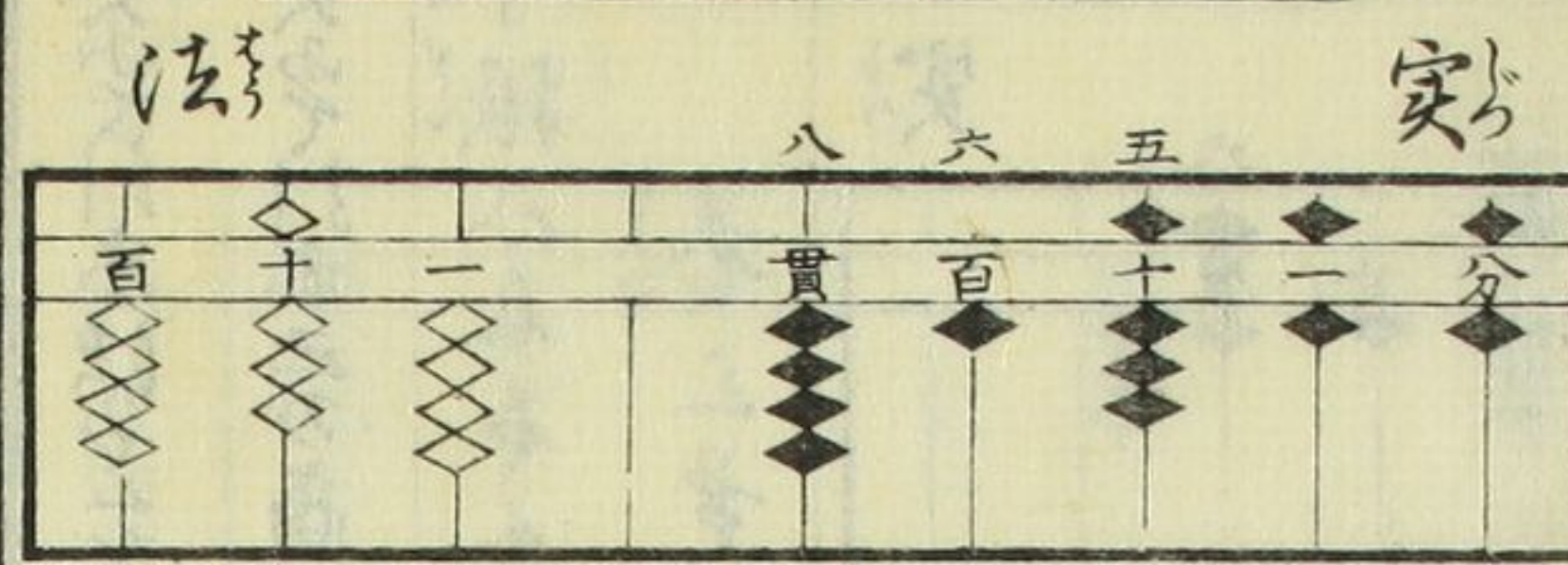


今銀百八拾六分を以て百八拾に割何程と同

答八分六厘

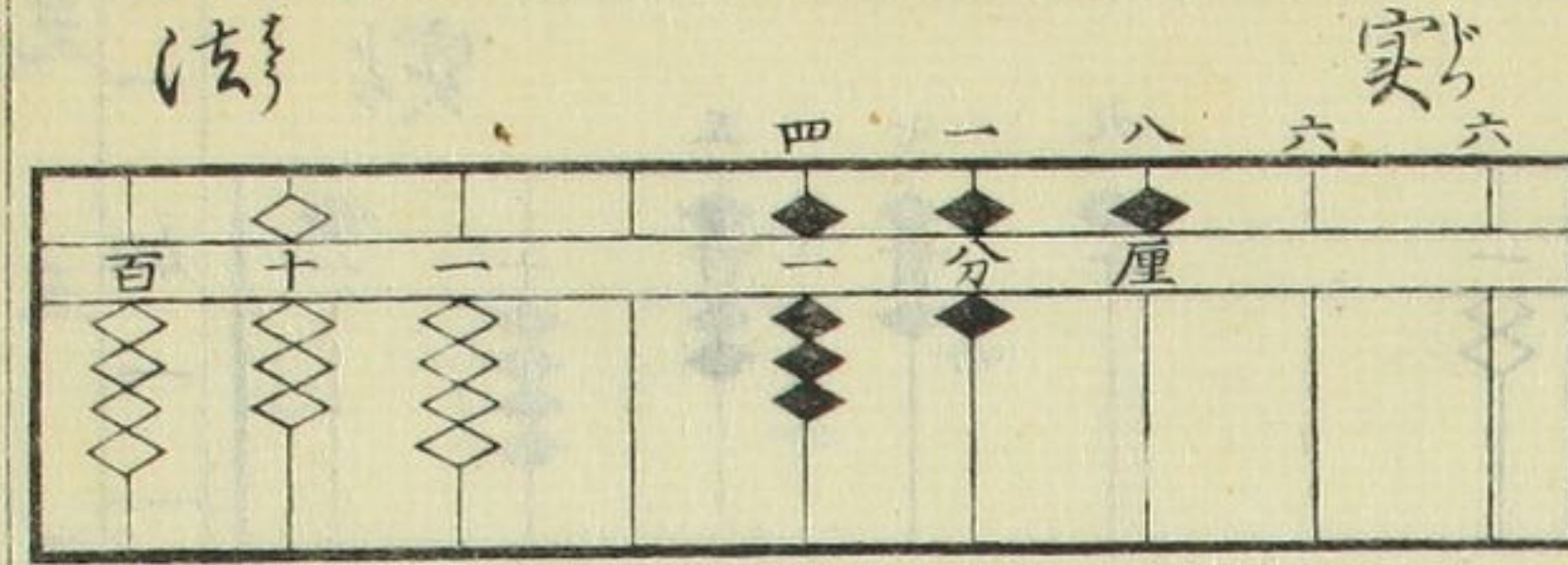
見四の割 見四無頭作九四 歸一倍四 八進二十

見四割算の圖



四五引とては二をとり  
四六引とては内二拂て  
四三引とては内二拂て  
六八引とては内二拂て後  
四添作五  
五八引とては内二拂て  
六八引とては内二拂て後  
四添作五  
見四無頭作九四  
歸一倍四  
一拂次の二をとり  
銀百八拾六分を以て百八拾に割何程と同  
答八分六厘

見四掛算の圖



今銀八分六厘を以て百八拾に割何程と同

答八分六厘

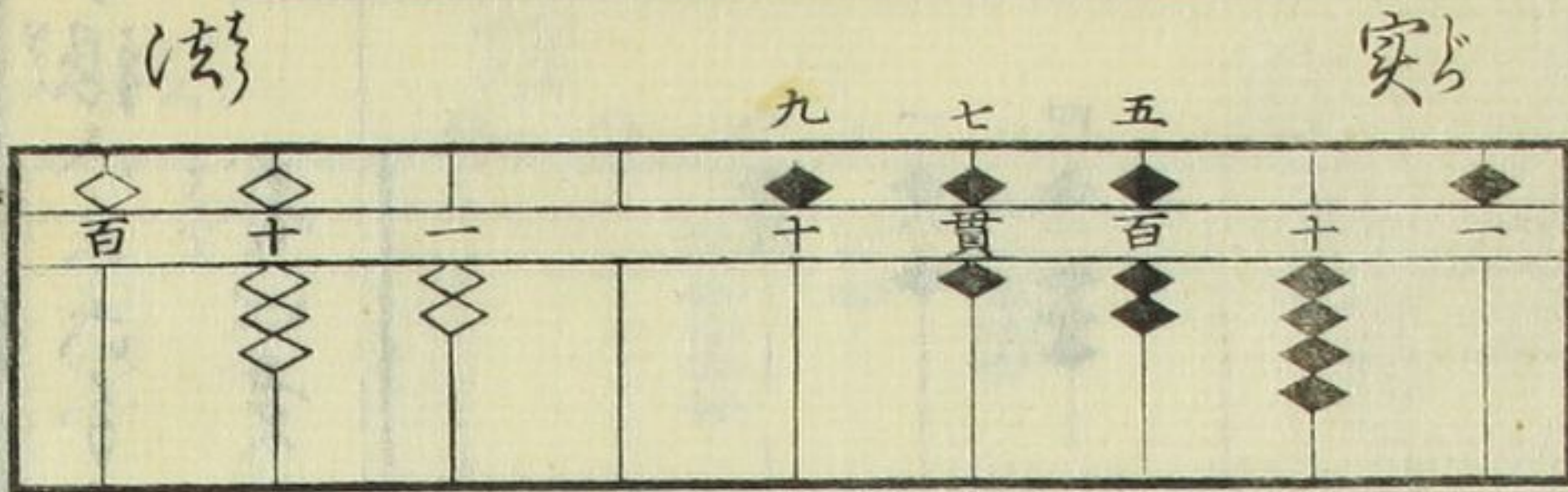
四五引とては二をとり  
四六引とては内二拂て  
四三引とては内二拂て  
六八引とては内二拂て後  
四添作五  
五八引とては内二拂て  
六八引とては内二拂て後  
四添作五  
見四無頭作九四  
歸一倍四  
一拂次の二をとり  
銀八分六厘を以て百八拾に割何程と同  
答八分六厘



九指七ぬみふ

見 五の割 見 五無頭作九五 帰一倍五  
五一加一 五二加二 五三加三 五四加四 五進一十

見五割算の圖

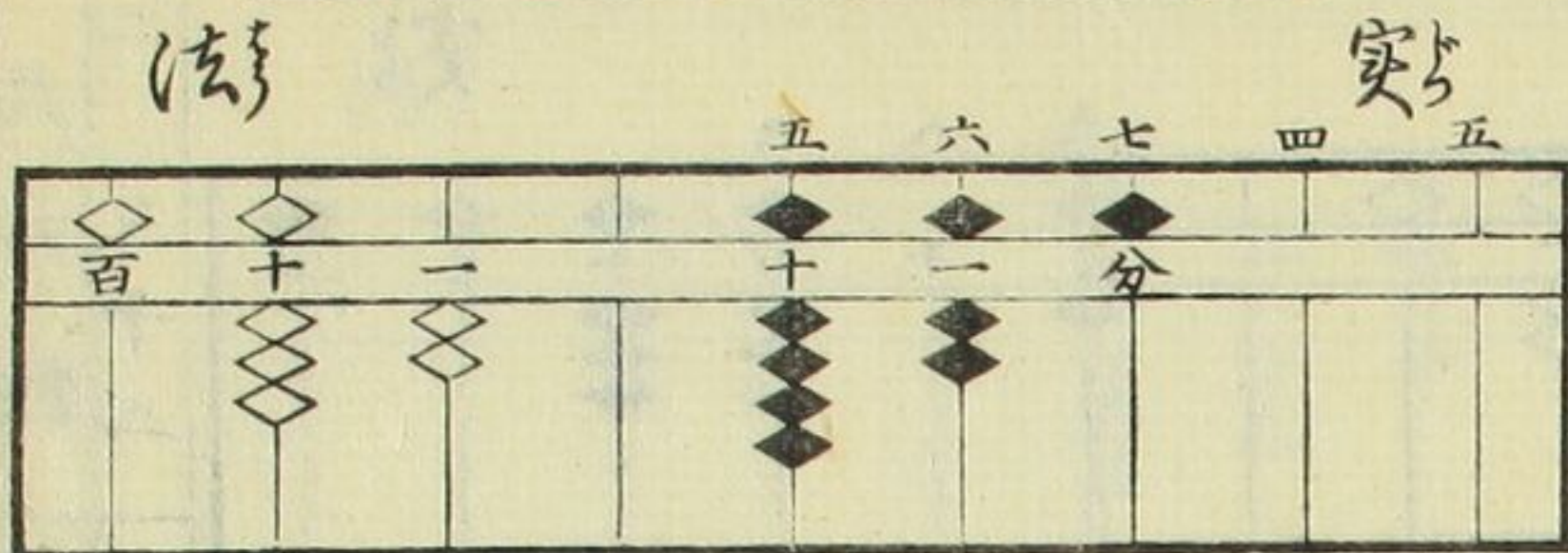


二五引とひてはたこの一とく  
二七引 とひてはたこの一とく 五進一 とひてはたこの一とく 五八引 とひてはたこの一とく  
二九引 二つとひてはたこの一とく 七五引 二つとひてはたこの一とく 五四加 とひてはたこの一とく 帰一倍五 とひてはたこの一とく  
八九七十二引 とひてはたこの一とく 五四加 とひてはたこの一とく 帰一倍五 とひてはたこの一とく  
見五無頭作九五とひてはたこの一とく  
銀六指六費七百に指ぬみを實へぬ五百八指二を法へて  
法の首のぬみを實の見五無頭作九五と別初商九をぬ  
けれと法の八と見合八九七十二實ゆ引亦商九と法の二と見合  
二九十八引と次才圖の如く割九指七ぬみふと知あり

今銀九指七ぬみふを五百八指二合て何程と同

銀六指六費七百に指ぬみ

見五掛算の圖



二五引とひてはたこの一とく  
五八引 とひてはたこの一とく 二七引 とひてはたこの一とく 七五引 とひてはたこの一とく 二九 とひてはたこの一とく  
五五二十五 とひてはたこの一とく 七五引 とひてはたこの一とく 二九 とひてはたこの一とく  
五七三十五 とひてはたこの一とく 七五引 とひてはたこの一とく 二九 とひてはたこの一とく  
五九四十五 とひてはたこの一とく 七五引 とひてはたこの一とく 二九 とひてはたこの一とく  
銀九指七ぬみふを實へぬ五百八指二を法へて實のぬと法の二と  
見合二五引と實のぬと法の八と見合八指十とを實のぬと法の  
ぬと見合五五二十五と次才圖の如くをて銀六指六費七百  
に指ぬみと知あり

今米六万〇八百八指ぬみ斗を六百七指ぬみ割何程と同







見七の割 見七無頭作九七帰一倍七 七一 下加三 七二 下加六  
 七三 四十二 七四 五十五 七五 七十一 七六 八十四 七進 一十

見七割算の圖

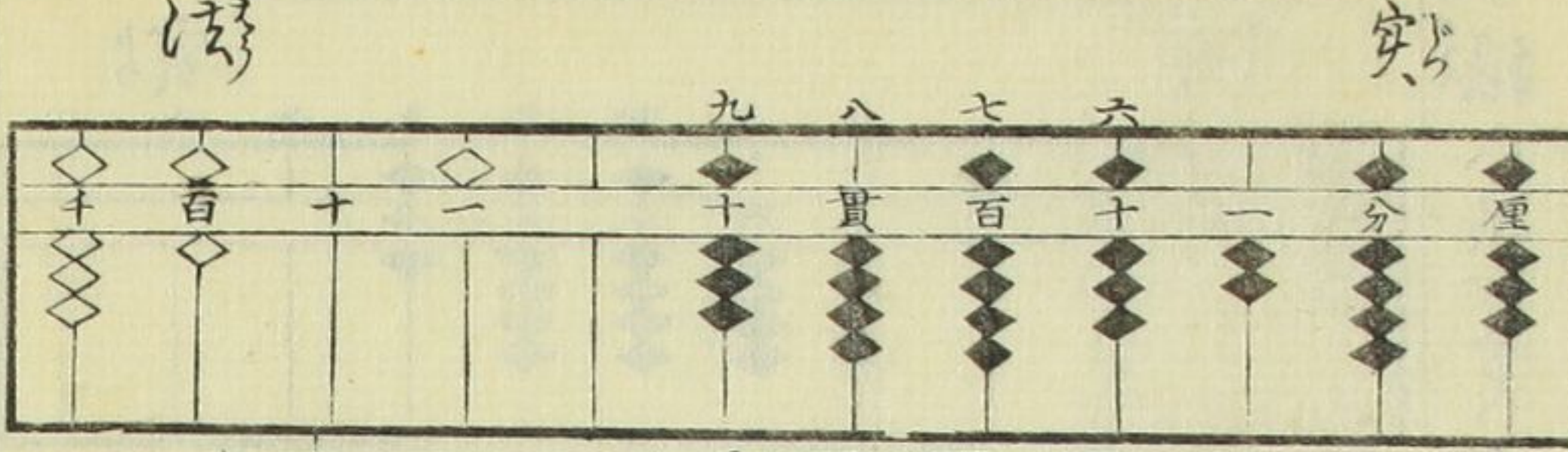
法	實
千	井
百	手
十	石
一	斗
	升
	合
	分
	厘
	毫
	絲
	忽
	微
	纖
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米
	沙
	塵
	渺
	漠
	莽
	虀
	粉
	米</



九九の掛算

見八の割 見八無頭作九八 歸一倍八 八一 下加二 八二 下加四  
 八三 下加六 八四 添作五 八五 六十二 八六 七十四 八七 八十六 八進 一十

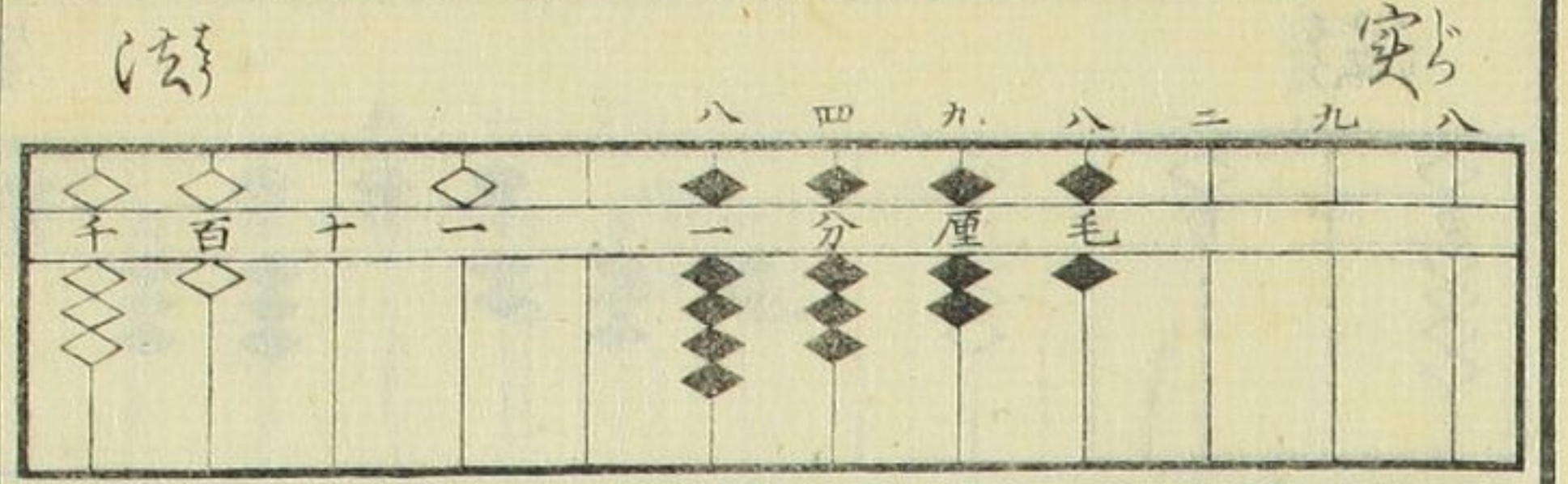
見八割算の圖



五六三引とひては九九を引とて  
 五七三五引とひては九九を引とて  
 五八四引とひては九九を引とて  
 五九五引とひては九九を引とて  
 六〇六引とひては九九を引とて  
 六一七引とひては九九を引とて  
 六二八引とひては九九を引とて  
 六三九引とひては九九を引とて  
 六四〇引とひては九九を引とて  
 六五〇引とひては九九を引とて  
 六六一引とひては九九を引とて  
 六七二引とひては九九を引とて  
 六八三引とひては九九を引とて  
 六九四引とひては九九を引とて  
 七〇五引とひては九九を引とて  
 七一六引とひては九九を引とて  
 七二七引とひては九九を引とて  
 七三八引とひては九九を引とて  
 七九九引とひては九九を引とて  
 八〇〇引とひては九九を引とて  
 八一一引とひては九九を引とて  
 八二二引とひては九九を引とて  
 八三三引とひては九九を引とて  
 八四四引とひては九九を引とて  
 八五五引とひては九九を引とて  
 八六六引とひては九九を引とて  
 八七七引とひては九九を引とて  
 八八八引とひては九九を引とて  
 八九九引とひては九九を引とて  
 九〇〇引とひては九九を引とて

今根九八分七厘六毛を八分六百〇五合て何程と同  
 答八拾四貫九百八拾貳分九厘八毛

見八掛算の圖



五六三引とひては九九を引とて  
 五七三五引とひては九九を引とて  
 五八四引とひては九九を引とて  
 五九五引とひては九九を引とて  
 六〇六引とひては九九を引とて  
 六一七引とひては九九を引とて  
 六二八引とひては九九を引とて  
 六三九引とひては九九を引とて  
 六四〇引とひては九九を引とて  
 六五〇引とひては九九を引とて  
 六六一引とひては九九を引とて  
 六七二引とひては九九を引とて  
 六八三引とひては九九を引とて  
 六九四引とひては九九を引とて  
 七〇五引とひては九九を引とて  
 七一六引とひては九九を引とて  
 七二七引とひては九九を引とて  
 七三八引とひては九九を引とて  
 七九九引とひては九九を引とて  
 八〇〇引とひては九九を引とて  
 八一一引とひては九九を引とて  
 八二二引とひては九九を引とて  
 八三三引とひては九九を引とて  
 八四四引とひては九九を引とて  
 八五五引とひては九九を引とて  
 八六六引とひては九九を引とて  
 八七七引とひては九九を引とて  
 八八八引とひては九九を引とて  
 八九九引とひては九九を引とて  
 九〇〇引とひては九九を引とて

今根二拾二万七千七百八拾三貫五百名を九万〇五百〇八割何程と同  
 答二貫六百二拾二分

大正建力已















相場割

永一貫文ハ 金一兩 永七百五拾文ハ 金二分 永五百文ハ 金二分

永二百五拾文ハ 金一分 永百二拾五文ハ 金二朱 永六拾二文五分ハ 金一朱

永一兩を四小別ハ二分五厘と成是を金一分と成二分五厘と一分と分の字

同字を以て終ハ二分五厘を永二百五拾文と成即令一分あり然して

令を顆數小並と成ハ皆永と成るべし令二分を顆數少クニツ並てハ理小

令ハ二分ハ一兩の半あるゆへニツ並へ一即永五百文ありハ依準トて知へ

令一兩小銀六拾目留中て令令五百八拾四兩ハ代銀何種と同

替銀三拾五費。四拾目

永銀三拾五費。四拾目

永銀三拾五費。四拾目

令一兩小銀六費五百文留中て令令八拾二兩ハ代銀何種と同

替銀五百三拾三費文

永銀三拾五費。四拾目

令一兩小銀六費五百文留中て令令三百二拾四兩ハ代銀何種と同

替銀二百百拾。費八百七十二文

永銀三拾五費。四拾目

令一兩小銀六費二百五拾四文留中て令令拾五兩五分ハ代銀何種と同

替銀九拾四費九百二十文

永銀三拾五費。四拾目

令一兩小銀六費二百五拾四文留中て令令拾五兩五分ハ代銀何種と同

替銀九拾四費九百二十文

永銀三拾五費。四拾目

六全集力記



九分六厘を以て割六費二百二拾五文と成以て実へる九拾四費九百三拾  
一文二分五厘と成十文以下定法九分六厘を是代錢を以る 但一兩の端錢を以る六厘  
を割るべきと死八次の際を用也  
令一兩と錢六費五百三拾二文替りて今令百六拾四兩と代錢何種と同

替錢子〇七拾五費四百六拾四文

兩日兩替錢 六費五百  
二十二文 を是百文以上定法九分六厘を是個錢六費二百

七拾二文と成是へる令 百六十  
四文 を是個錢子〇二拾八費六百〇八文と成

百文以上定法九分六厘を以て割代錢を以る

令一兩小銀六拾四替りて今銀二費五百三拾四文代令何種と同

替令八百七拾五兩二分

兩日兩替銀 二拾二費五  
百二十日 を是兩替銀 六十  
日 を以て割令八百七拾五兩永五

百文と成是永五百文を令二分とて代令を以る

令一兩小銀六拾四替りて今銀二費五百四拾四文代令何種と同

替令五百二拾二兩五分永銀五五五

兩日兩替銀 二費五百  
十四文 を是兩替銀 六十  
日 を以て割令五百二拾二兩永四

文永四百文と内五百七拾五文引令五分永と一錢永二拾五文へ兩替

銀 六十  
日 を是端銀五五五を以る

令一兩小銀六拾四替りて今銀三百六拾四文代錢何種と同  
但一兩替錢六費五百文

替錢三拾九費文

兩日兩替銀 三百六  
十日 を是兩替銀 六費五  
百文 を是兩替銀 六十  
日 を以て割代錢を

以る若十文以下の端錢を以る八端錢へ定法九分六厘を以る 但一兩の  
替十文以下の

端錢を以る八次の  
例を用べし

令一兩小銀六十日替りて今銀八拾五兩と代錢何種と同



卷銀八貫九百六拾二文八分

但一兩智錢六貫六百三十二文

御田兩智錢 六貫六百三十二文 を並百文以上定法九分六厘を是圓錢六貫二百六十八文

と成是へ有銀 八十 を是兩智銀 六十 を以て割個錢八貫五百九十六文八分と

ある百文以上定法九分六厘を以て割代錢を以る

令一兩小錢六貫七百文智少して今錢四百三拾九貫六百半文代金何程と同

卷令六拾六兩二分式米

御田有錢 四百三拾九貫六百半文 を並十文以下定法九分六厘を以て割四百三拾九貫六百

八十七文五分と成是を兩智錢 六百七 を以て割令六拾六兩二分式米と成

計永六百二拾六文を拂令二分式米と代金を以る 但一兩智錢十文以下の場錢

令一兩小錢六貫八百七十二文智少して今錢五百三拾六貫二百七十二文代金何程と同

卷令二百二拾六兩二分錢六百八十四文

御田兩智錢 六貫八百七十二文 を並百文以上定法九分六厘を是圓錢六貫六百文と成

法と以る錢 二百七拾六文 を並百文以上定法九分六厘を是圓錢二百七

拾六貫二百六拾六文と成是を法を以て割令三百二拾六兩二分式米と成

六百文の内六百文引令二分と一錢永百文へ法を是圓錢六百六十文と成

百文以上定法九分六厘を以て割代錢六百八十四文を以る

令一兩小錢六貫六百六拾六文智少して今錢百八拾六貫七百十八文代銀何程と同

卷銀七貫六百九拾八文

但一兩智銀六拾日

御田兩智錢 六貫六百六拾六文 を並百文以上定法九分六厘を是圓錢六貫二百六十八文と成

法と以る錢 七百十八文 を並百文以上定法九分六厘を是圓錢百七拾八貫二百

九拾六文と成是へ兩智銀 六十 を是法を以て割代銀を以る

令一兩小錢六貫六百六拾六文智少して銀を以て代錢何程と同



答 新金なり 代錢百〇八文四分

併一兩新 代錢百〇八文四分

御田兩留錢六要 二百文以上 定法九分六釐を 兩留銀六十 日を

以て別個錢百〇四文五分 成百文の日錢四文 以銀一兩を 代錢を以る

令一分小錢五要 六百三拾六文留 以て銀一兩を 代錢何程と同

答 新金なり 代錢百〇八文八分

併一令一分小銀十五 留

御田錢五要 二百二十六文以上 定法九分六釐を 個錢五要 六百七十二文成

是を銀十五 以て別個錢百〇四文五分 成百文の日錢四文 以銀一兩を 代錢を以る

令貳米小錢八百貳拾四文留 以て銀一兩を 代錢何程と同

答 新金なり 代錢百〇九文六分

併一令貳米小銀七 留

御田錢八要 二百二十四文以上 定法九分六釐を 個錢七百九拾二文成 是を

銀七 以て別百文の日錢四文 以銀一兩を 代錢を以る

兩留銀常 小六拾日通用 地八 兩を 用て捷徑あり

令一兩を 錢五要 二百二十六文以上 定法九分六釐を 個錢五要 六百七十二文成 是を

銀七 以て別百文の日錢四文 以銀一兩を 代錢を以る

令二米を 錢五要 六百三拾六文留 以て銀一兩を 代錢何程と同

個錢を以るあり

今銀三 五分を 代錢三百七拾六文 以て銀一兩を 代錢何程と同

答 新金なり 代錢百〇八文

御田錢三 百七十六文を 並百文以上 定法九分六釐を 個錢三百六拾四文 成是を銀

五分を 以て別個錢百〇四文五分 成百文の日錢四文 以銀一兩を 代錢を以る

銀五 多く 代錢百拾二文 以て今銀六 五分を 代錢何程と同

答 新金なり 代錢七百三拾文



御曰銀多き代銭百十文を並内百文の日銭文引個銭百八文成是銀六文を個銭七百二文成百文以上定法九分六厘少て別代銭を以る

銀多き代銭百九文少て今銀二貫拾二文代銀何程と同  
答 銀拾八四分

御曰銀一五代銭百九文を並内百文の日銭文引個銭百六文成法と以銭二貫を並百文以上九分六厘を個銭を費九百二拾二文成法少て別代銀を以る

銀一五代銭百拾三文少て今一兩錢相場何程と同  
答 一兩錢相場六貫八百拾二文  
但一兩銀六十日

御曰銀一五代銭百拾三文を並内百文の日銭文引個銭百九文成是一兩留銀六十日を並個銭六貫六百拾三文成百文以上定法九分六厘少て別一兩錢相場を以る

銭を費文小銀拾二分留少て銀多き代銭何程と同

答 銀拾八拾文  
御曰銭を費文を並定法九分六厘を銀十二を以て別銀多き代銭を以る若一五代銭百文以上小

銭を費文小銀九五分留少て今銀八五分七厘代銭何程と同

答 銭八百六拾七文六分  
御曰銭を費文を並定法九分六厘を個銭九百六拾三文成是銀八五分を

是銀相場九五分少て別個銭八百六拾三文六分成百文以上定法九分六厘少て別代銭を以る

銭を費文小銀九五分留少て今一兩錢相場何程と同  
答 一兩銀六十日  
銭相場六貫六百文



御田兩留銀六十二を並銀九分を以て割六費六百文を以る令一兩一錢お場  
若十文以下の留銀ありてハ  
場錢(たう)定法(れい)を以る

錢を費文小銀九分八分留りて今錢指三費六百四指八文之代銀何種と同

答銀百三指二分七分九厘

御田一錢指三費六百を並指銀四指八文を定法九分六厘以て割指三費六百五  
指文と成是へ銀お場九分を代銀を以る

令一兩小米七石二斗留りて今米子。二指九石を代令何種と同

答令八百六指七兩二分

御田五米子。二を並米お場一石を以て割令八百六指七兩永五百文と成は永  
五百文をえりひ令二分として代令を以る

令一兩小米九斗八升留りて今米指七石九斗八升之令代令何種と同

米の

答令指八兩一分銀六分

但一兩留銀六十目

御田五米十七石九斗を並米お場九斗を以て割令指八兩永二百五指文と成は永

の内式百五文引令一分として残永百文へ兩留銀六十を代令を以る

令一兩小米一石七斗六升留りて今斗二升八二指二指之令代令何種と同

答令九指二兩一分式米銀を以る

但一兩留銀六十目

御田五儀二百五を並入二斗を石救百。六石二斗六升と成是を米お場  
斗六升を以て割令九指二兩永四百文と成は永の内二百七指五文引令一分二米止  
残永二指五文へ兩留銀六十を代令を以る

米百儀之代令三指二兩留りて今子五百四指儀之代令何種と同

答令四百九指二兩二分銀二分

但一兩留銀六十目

御田五儀五百を並令二十を以令四百九指二兩永八百文と成は永の内七百



又指文引金二分と残永六指文へ両替銀<sup>六十</sup>を代金を流す

米百俵<sup>代金二斗</sup>を代金二指八両替りて今斗二升八二分俵代金何程と同

答 金一万子七百六指兩

米百俵<sup>代金二斗</sup>を並入<sup>二斗</sup>を二指六石成法と成法<sup>代金二斗</sup>俵<sup>二斗</sup>を並入<sup>二斗</sup>を

米百俵<sup>代金二斗</sup>を並入<sup>二斗</sup>を二指六石成法と成法<sup>代金二斗</sup>俵<sup>二斗</sup>を並入<sup>二斗</sup>を

米三斗六升八百俵代金二指八両りて今金一兩小米何程と同

答 金一兩小米二斗六升

米百俵を並入<sup>二斗</sup>を二指六石成法と成法<sup>代金二斗</sup>俵<sup>二斗</sup>を並入<sup>二斗</sup>を

金一兩小米一石二斗替りて今米一石代銀何程と同

答 米一石代銀六指六

米百俵を並入<sup>二斗</sup>を二指六石成法と成法<sup>代金二斗</sup>俵<sup>二斗</sup>を並入<sup>二斗</sup>を

金一兩小米九斗七升替りて残百文小米何程と同

答 残百文小米七升四合

米百俵を並入<sup>二斗</sup>を二指六石成法と成法<sup>代金二斗</sup>俵<sup>二斗</sup>を並入<sup>二斗</sup>を

金一兩小米七石七斗替りて今金二指六兩二分小米何程と同

答 米三指九石二斗二升六合

米百俵を並入<sup>二斗</sup>を二指六石成法と成法<sup>代金二斗</sup>俵<sup>二斗</sup>を並入<sup>二斗</sup>を

金一兩小米九斗六升替りて今銀四指八分小米何程と同

答 米七斗六升八合

米百俵を並入<sup>二斗</sup>を二指六石成法と成法<sup>代金二斗</sup>俵<sup>二斗</sup>を並入<sup>二斗</sup>を

今米八指二石二升四合代金六指八兩二分銀を並入<sup>二斗</sup>小米何程と同

答 金一兩小米七斗六升



御田代令 六十八石永五百 を並増銀を西智銀 六十 して割令六拾八両永五百

二拾文と成法として石敷 八拾二石二 斗二升四合を割令一両く米相場を以る

後百文小米を并之合計して令一両く米相場何程と同 但し西智銀六匁五百文

答 令一両 米相場八斗四升六合

御田兩智銀 六匁 を並米 一升 を令一両く米相場を以る

今米八斗又升く代銀六拾三匁して銀六匁八分二厘小米何程と同

答米九升三合六匁

御田五銀 六匁 を並米 八斗 を銀 六拾 を以て割米石敷を以る

米式拾六匁代令九兩して今米十二万匁く代令何程と同

答令一両六分八厘

御田米 十二 万匁を並令 九 匁を米 二十 万匁を以て割代令を以る

米一石く代銀四拾九匁して今米六分八厘代銀何程と同

答銀二百八拾四匁二百目

御田五米 百石 を並一石代銀 四拾 九匁を代銀を以る

米一石く代銀五拾四匁して今銀六匁五分小米何程と同

答米一斗三升

御田五銀 六匁 を並一石代銀 四拾 九匁を以て割升敷を以る

今斗八分八厘二匁く智小斗二升八を以て割令六拾八両永五百

答 斗二升八 八百四十匁

御田儀敷 八百八 十二匁を並入斗 四斗 を以て割令六拾八両永五百

今儀を杉形小積 五匁 其下拵拾六匁上の儀 二匁 して熱儀敷何程と同

答熱儀敷百二拾匁











答 升 代錢二百〇二文四分

但一升代錢百拾二文

粥日銀百十を並入斗少て別一升代銀百八分と成実と成銀百十の  
内月錢百文引個錢百〇八文と成是を并へ是個錢百九十四文四分と成百文以上  
定法九分六厘少別一升代錢を以る

酒一升代錢百〇八文少て今酒六升八合代錢何程と同

答 錢 升 費 百 〇 八 文

粥日錢二百〇を並百文以上定法九分六厘を是個錢百〇八文と成是へ酒  
八合を是個錢百〇九十二文と成百文以上定法九分六厘少別代錢を以る

酒一升代銀百〇八分少て今銀百拾六分六厘酒何程と同

答 酒 九 升 六 合

粥日銀百十二を並一升代銀百八分を以て別酒一升數を以る

令一兩小醬油拾七樽拾少て今醬油百拾八樽代令何程と同

答 令 三 拾 八 兩

粥日百十醬油八樽を並令一兩小樽十一少て別代令を以る

令一兩小醬油七樽半留少て一樽代銀何程と同

答 一 樽 代 銀 八 文

但一樽留銀六十日

粥日百十醬油七樽を以て別一樽代銀を以る

醬油一樽代銀七分三厘少て一升代錢何程と同

答 一 升 代 錢 百 〇 六 文 九 分

但一樽七升六合入  
銀一兩代錢百〇九文

粥日銀百〇内月錢百文引個錢百六文と成代銀七分三厘  
入七升少別個錢百〇二文九分と成百文内月錢百文加一升代錢を以る

醬油一升代錢八十九文少て一升三合代錢何程と同







法より残る費。之指文を並百文以上定法九分六厘を並個銀九百九拾文或法より  
別升数を得る

令一兩小味増六拾八費月替りて今味増貳拾六費月日代銀何程と同  
但一兩替銀六十日

答銀貳拾七文

御日味増貳拾六費月日を並兩替銀六十を令一兩小味増六十八費月日を別代銀を得る

令一兩小味増拾九費月日替りて銀百文小味増何程と同  
但一兩替銀六費六十日

答銀百文小味増七百六十日

御日令一兩小味増四十九費月日を並兩替銀六十を別代銀百文小味増を得る

銀百文小味増七百日替りて銀六百七十二文小味増何程と同

答味増口費七百二十五文

御日小味増六百七十一文を並兩替銀六十を定法九分六厘を別六百七十二文或是百文味増

七百を味増を日を得る

令一兩小味増十二倍替りて今銀百十三倍代銀何程と同

答銀五百六十五文

御日小味増百十を並兩替銀六十を令一兩小味増十二を別代銀を得る

令一兩小味増十六倍替りて一倍代銀何程と同

答銀百拾八文

御日兩替銀六費七を並令一兩小味増十六を別代銀百十八文七分六厘を成計端

銀拾八文七分六厘を定法九分六厘を一倍代銀を得る

倍一倍代銀六百拾四文を別代銀何程と同

答銀百拾八文

御日一倍代銀六百六を並百文以上定法九分六厘を個銀六百三拾文を成



是儀入三斗を以て別一升を代錢を以る

培を升代錢貳拾四文にして今培を斗八升六合と代錢何程と同

各錢四百六拾文

樹田為培斗八升六合を並を升代錢二十を以て別錢四百拾四文と成百文以上定法

九分六厘光別代錢を以る

令一兩小茶拾四費用替りて今茶拾貳費用入七升代令何程と同

各令六兩

樹田入十二費用を並本教七を以て八拾四費用と成是を令一兩茶十四費用を以てより

代令を以る

茶廿一費用二代銀六兩六分にして今錢百七拾三文小茶何程と同

各茶を以て目六拾目

但一兩一斗代錢百〇八文

樹田銀を多く代錢百〇の内百文と目錢四文引別錢百〇四文と成是を以て

代銀六分を以て別錢六百七拾六文と成法と成是を以て目錢四文引

別錢百六拾九文と成是二行の費用二を以て別茶を以て目を以る

茶を以て目二百目にして今茶之拾六費用一を以て何程と同

各行教百八拾行

樹田為茶二十六費用を並を以て目二を以て別行教を以る

令一兩小茶二百拾把替りて今茶八子四百七拾二把代令何程と同

各令三拾三兩二分貳茶銀を以て目

樹田為茶八子四百七拾二把を並令一兩茶二百を以て別令三拾三兩八分九十二文

と成是永内八百七拾六文引令三分貳茶と成是永拾七文一兩替銀六十を

以て代令を以る



令一兩小楮百貳拾五束留して是束を代錢何種と同

答 長 代錢六十。文九分は厚は毛

但一兩留錢六費六百二十二文

御曰兩留錢六費六百二十二文を並百文以上定法九分六厘を個錢六費三百六十五文と成

是を令一兩核百二十少別束束を代錢をはる

二尺二寸繩核子八百六拾束束を二尺繩少して束何種と同

答 二尺繩 二子九百拾二束半

御曰前繩二尺を並後繩二尺少別一個二分五分と成是を令一個五分二分と成是を令一個五分二分と成

と成核子八百六拾束束を二尺繩束束をはる

令一兩小楮二百拾五束留して令令一分貳束小楮何種と同

答 楮九拾束

御曰永二百七拾五文を並 但一令一分 二束の束あり 令一兩核二百十束を束何種をはる

令一兩小炭拾八債留少して令炭六百八子二百拾二債代令何種と同

答 令之子二百三十四兩

御曰五炭六百八子二債を並令一兩炭十八債を以て別代令をはる

令一兩小炭七拾五費日留少して令炭六百八日入之十六債代銀何種と同

答 銀百六拾七五。四厘

但一兩留銀六十日

御曰五債三十を並入六費八債を並二百八費八百日と成兩留銀六十を並令一兩

之炭七十費日を以て別代銀をはる

令一兩小炭拾二債半留少して一債代錢何種と同

答 代錢六百二十四文二分二厘

但一兩留銀六費六百二十四文

御曰兩留錢六費六百六十四文を並百文以上定法九分六厘を個錢六費三百

〇口文と成是を令一兩炭十二債半少別個錢六百。口文二分二厘と成百文以上



定法九分六厘を以て割を債に代銀を以る

炭一俵に代銀二五八分にして今炭八俵に代銀何程と同

答銀二拾貳五四分

樹田五炭俵を以て債に代銀二五八分を以て代銀を以る

多葉粉一行を以て債に代銀二五八分を以て今多葉粉七拾二貫八百目を以て代銀何程と同

答行數四百六拾六行

樹田多葉粉七拾二貫八百目を以て債に代銀二五八分を以て代銀を以る

令一兩小多葉粉拾三行替りて今多葉粉七拾二貫八百目を以て代銀何程と同

答銀二拾五

樹田多葉粉七拾二貫八百目を以て債に代銀二五八分を以て代銀を以る

是令一兩小多葉粉拾三行を以て割代銀を以る

絹未織の粉

令一兩小多葉粉二拾四行替りて今代銀何程と同

答行數 代銀二五八分

樹田西替銀六十を以て債に代銀二五八分を以て代銀を以る

多葉粉一行を以て債に代銀二五八分を以て今多葉粉九拾五を以て代銀何程と同

答銀百七拾五文

樹田五炭俵を以て債に代銀二五八分を以て代銀を以る

是令多葉粉九十を以て債に代銀二五八分を以て今多葉粉七拾二貫八百目を以て代銀何程と同

定法九分六厘を以て割代銀を以る

絹未織の粉を以て債に代銀二五八分を以て代銀を以る

答銀拾七五四分

樹田五炭俵を以て債に代銀二五八分を以て代銀を以る







絹糸お庭二分一を割絹糸一多し代銭を以る

令一兩小本綿糸九百二拾目替りて今本綿糸一貫七百二拾六多し代銀何程と同  
但一両替銀六十日

答銀百拾貳多

絹曰有糸三拾六多一を並西替銀六十を糸お場九十十日二を割代銀を以る

令一兩小本綿糸九百七拾五多替りて今錢百文小本綿糸何程と同  
但一両替銀六貫七百六十八文

答錢百文 本綿糸拾四多同

絹曰西替錢六貫七百六十八文一を並百文以上定法九分六厘を糸割減六貫六百文一成法六分一

糸お庭九百七十五を並錢九拾六文一但百文の一を並法を割錢百文一糸を以る

令一兩小麻苧二貫六百目替りて今麻苧拾五貫目一代金何程と同

答令六兩

絹曰有麻苧十六一を並麻苧相場二貫六百一を以て割代金を以る

令一兩小麻苧二貫二百目替りて今麻苧拾多し代錢何程と同  
但一両替銀六貫六百六十四文

答麻苧拾多し代錢二拾文

絹曰西替錢六貫六百六十四文一を並百文以上定法九分六厘を糸割減六貫四百文一成

是を麻苧相場三貫二百一を以て割麻苧拾多し代錢を以る

麻苧拾多し代錢二拾二文一りて今錢三百八拾文小麻苧何程と同

答麻苧百拾五多

絹曰有錢三百八十を並百文以上定法九分六厘を糸割減三百六拾八文一成是を麻

苧十多し代錢二拾二文一を以て割麻苧拾多し代錢を以る

縹綿拾多し代令七拾六兩一りて令一兩小縹三拾二一何程と同  
但一十拾八一十中  
本入九貫八百目入

答令七拾六兩

縹綿拾多し代令七拾六兩一りて令一兩小縹三拾二一何程と同  
但一十拾八一十中  
本入九貫八百目入



令一兩小糸綿二費四百拾八文替りて錢百文小糸何種と同

糸綿二拾六文

御田令一兩糸綿二費四百拾八文を並西替錢六費八文也別錢百文糸綿を以る

錢百文小綿二拾七文ありて今錢百文式拾四文小綿何種と同

糸綿百九拾四文二分あり

御田糸錢二百二十を並錢二拾四文を定法九分六厘ありて別六百二十文と成

是へ錢百文糸綿七十を並糸綿を以る

真綿二拾四文ありて今錢百文二拾九文小糸綿何種と同

糸綿六文

御田銀一兩代錢百十と内百文の目錢四文引圓錢百〇八文と成是へ代銀六

是圓錢二百拾文と成法九分六厘ありて今錢百文と内百文の目錢四文引圓錢百二十

茶の紙の類

小文と成是へ糸綿二十を並法也別糸綿を以る

大英一兩代銀二拾四文ありて今大英二拾六文代銀何種と同

糸銀八百六拾四文

御田糸竹三十を並一竹代銀二十を以て別代銀を以る

沈香一兩代銀二百八拾四文ありて今沈香百二拾五文代銀何種と同

糸銀百八十日

御田沈香百二十を並一竹代銀二百八を以て別代銀を以る

沈香七拾五文百八拾四文ありて今沈香何種と同

糸竹三百六十八竹

御田沈香七十五を並一竹代銀二百を以て別代銀を以る

蒼朮一兩代銀六百八十八竹ありて今蒼朮二拾四文代銀何種と同



答根之及二分

但一及くを日ハ

湖日答求二十を並代根五分をを一面くを日ハを以て割代根を以る

半紙百帖く代根二帖之及五分ハ今半紙六十二帖く代根何種と同

答根指ハ及五分七厘

湖日有紙六十を並百帖代根二十二をを代根を以る

西の内紙百帖代根之及五分ハ今西の内紙十七帖く代根何種と同

答根又指ハ及五分八厘

湖日根一及く代根百十を並百文ハ日積ハ文ハ酒積百ハ八文ハ成是ハ代根五分

をを酒積百帖九文五分ハ成是紙教十七をを一帖ハ紙教四十を以て割代根を以る

英法紙百帖く代根之及五分ハ今英法紙六帖八帖く代根何種と同

答根八帖八及五分

湖の木の材

湖日有紙六十を並百帖く代根五分をを代根を以る

令一兩小杉丸七帖八帖留りて今九帖之百七十五帖ハ代根何種と同

答根之及二分五厘

湖日有丸七三百七を並兩留根六十をを令一兩ハ丸七十八を以て割代根を以る

令一兩小杉七帖八帖留りて今板八子六百二十四帖ハ代根何種と同

答根六及九百〇七及二分

湖日有板八子六百を並兩留根六十をを令一兩ハ板七十を以て割代根を以る

令一兩小杉七帖八帖留りて今檜幅二尺六寸厚一尺八寸長二間半ハ代令

何種と同

答令一兩二分式米根之及五分

湖日幅二尺を並厚八寸を亦長二尺を是を半ハ七尺八寸ハ八分及厚ハ成



令一兩、檜一本を以て割令二兩、永九百文と成け、永八内八百七拾六文引令二分二米  
と、残り永二拾六文へ西替根六十を以て代令を以る

今九寸長七尺半、口一尺二寸、末口九寸、尺メ何種と同

答、尺メ三本〇、尺一毛二條七忽九微

御田、口一尺二寸を並、末口九寸を並、口一尺二寸へ、末口九寸加へ二尺一寸と成、是を以

合口、尺一寸一分と成、け内、別小重なる、数を引、残りへ、長七尺を以、定法六寸、別亦

圓積法七分八分、口を以、尺メを以る

車を、柄中、米拾二俵、積送る、貸錢、六百二拾二文あり、今米九百八拾口、俵、同、尺へ  
積送ると、此、貸錢、何種と同

答、貸錢、口拾二、費七百二十二文

御田、一、檜、一、俵、積、送、る、賃、錢、六、百、二、拾、二、文、有、り、今、米、九、百、八、拾、口、俵、同、尺、へ、成

運賃の算

有、俵、九、百、八、十、口、俵、を、一、檜、積、送、る、賃、錢、六、百、二、拾、二、文、有、り、今、米、九、百、八、拾、口、俵、同、尺、へ、成

以上、定法、九分六厘、少、別、賃、錢、を、以る

荷物、拾九、費用、を、人、夫、二、人、少、運、送、と、け、割、合、中、七、今、荷、物、六、百、六、拾、一、費、目、と、人、丈、何、種、と、同

答、人、丈、八、拾、七、人

御田、後、一、荷物、一、費、目、を、並、人、夫、三、人、を、並、荷、物、十、九、口、別、後、人、丈、を、以る

荷物、拾九、費用、を、人、夫、二、人、少、運、送、と、け、割、合、中、七、今、荷、物、六、百、六、拾、一、費、目、と、人、丈、何、種、と、同

答、銀、口、百、二、十、九、文

御田、荷、物、六、百、六、拾、一、費、目、を、並、一、荷、物、賃、銀、二、分、六、厘、を、以、賃、銀、を、以る

米、百、石、運、賃、令、拾、六、兩、中、七、今、米、六、百、石、運、賃、令、何、種、と、同

答、令、九、百、口、拾、口、兩







答年利七分六厘

御日利令一分を並一ヶ月月数十二ヶ月を以て二兩と成元令四十五少く則年利を以る

元令二兩貸一ヶ月利銀毫六分取是元令何程也月利令一分小當ると同  
併一令一分代銀十五分

答元令九兩一分二厘

御日利令一分代銀十五分を並一兩と利銀一分少く則月利令一分元令を以る

元錢百文貸一ヶ月利錢四文取是元令何程也月利令一分小當ると同

答元令六兩

御日利令一分を並元令九兩を以て則月利令一分元令を以る

年利毫割二分少く則令一令元令八百七拾六兩貸一ヶ月利令何程と同

十八兩答利令百〇六兩

御日元令八百七十五を並年利一分を以て利令を以る

年利八分少く元令三百拾八兩貸一ヶ月元令何程と同

答元利令令三百拾八兩一分式米銀之五九分

併一兩留銀六十日

御日年利令一分を並一個を加へ一個〇八厘と成是元令三百十八を以て元令三百拾八兩

永四兩拾文と成け永之内二百七拾六文引令一分式米と成六拾六文へ

兩留銀六十日を以て元利令令を以る

元令七拾六兩貸一ヶ月年利令九兩取年利何程と同

答年利毫割二分

御日利令九兩を並元令七十五少く則年利を以る

元令九百七拾六兩貸年二割五分と利を加へ毎年令三分等しく減取六兩之ヶ月

少く元利皆減あり等取令何程と同 併一利五分を加へ

答毎年令六百兩取



樹田年利二割へ一個を加へ一個二分五厘と成法と一一個を並法を以て割八分と成  
 初年と法と一一個を加へ法を以て割一個四分五厘と成二年と法と一一個を加へ法を  
 以て割一個九分五厘と成三年と法と一一個九分五厘と成二年と法と一一個を加へ法を  
 元令を並三年と法と一一個九分五厘と成二年と法と一一個九分五厘と成二年と法と一一個  
 人数十五人あり一十年に及宛會合して料母子備を備え會合の令を並三年と法と一一個  
 あり今十二會目の備令を其内少く三會目の令を殘並と成一年一割二分の  
 利を加へ滿會ふより是令を不及あり殘並令何程と同  
 併會毎小利の利を加へ  
 兩替銀六十目

答 殘並令八兩一分計米銀六兩六分五厘八毛

樹田年利一割を並一十年と會數を以て割一個を加へ率と一一個を並滿會の  
 法と一率を以て割九分七〇八七と成十四會の法と一  
 是と十九會の法と一  
 一個を加へ率を以て割一個九一三四六と成十三會の法と一

一個を加へ率を以て割二個八二八六と成十二會の法と一法と一の如く法を求め其法を並

十二會目の法と一令を同ゆへ十二會の法と二個八二八六を並  
 割十三會目の法と一令を同十三會の法を並へ一法と一の如く 每會の是令を殘並令を以て

元令六拾兩備毎月利銀九分宛添て元令を六拾月小減額を是ハ平均

元令何兩一ヶ月利令一分小満と同  
但毎月返元令同數ゆへて利小利を加へど  
 兩替銀六十目

答 元令六拾兩二分銀六分一ヶ月利令一分小満

樹田元令六十を並月數六十を以て割元令六十を加へ是を二小割平均利  
 令六十を月利銀九を以て割兩替銀六十を平均元令を以て

差分

今銀二百七拾目を上下二人分と上下七拾目少くと上下兩銀各何程と同

答 上兩銀二百二拾目 下兩銀二百六拾目

樹田銀二百七拾目を並月銀七十を加へ人数二あり割上兩銀を以て内銀



七十  
目を引下取銀をほす

今銀三貫六百九拾目を人数九人くわんさむひやくくわんきゅうじゅうごから一番より次牙銀拾八じゅうはち宛少くくあやく各取銀おのづから何種と同

一番取銀四百八拾五 二番取銀四百六十四 三番取銀四百十六

各四番取銀四百二十 五番取銀四百拾五 六番取銀三百九十二

七番取銀三百七十五 八番取銀三百六十六 九番取銀三百二十八

樹曰人数九人内一人引残り八人成人数を二に小別取銀に百九拾目ひやくくわんきゅうじゅうごを以て別一番取銀をほす内取銀に十八を引二番取銀をほす亦内

取銀に十八引二番取銀をほす次牙けの如く取銀を引次く取銀をほす

今銀九拾六を上下二人分く下取銀三倍を上取銀と下取銀何種と同

各上取銀七拾五 下取銀二十四

樹曰一個を並下法と以是へ倍數に三を三個と成上法と下法に一個を加へ一個と成是を以て取銀に九十を引下取銀をほす上法に一個をを上取銀をほす

今銀七百目を上中下三人分く上取銀六分の二を中取銀と中取銀四分の一を下取銀と以上中下取銀各何種と同

各上取銀六百六拾目 中取銀百拾二 下取銀二十八

樹曰一個を並上法と以是へ分母に二を以て別二分と成中法と以是を後分母にを以て別五分と成下法と以是へ上法に一個中法に二を加へ一個二分を是を以て取銀に七百を引上取銀をほす若し分母にを以て別中取銀をほす後分母にを以て別下取銀をほす註曰分母とは割と成の法の数あり実の数を分子とすあり

今銀三貫六百九拾六を上下二人分く上より下内二割裏めて上下取銀各何種と同

各上取銀六百八拾五 下取銀四百七拾六







今配分根五每人小根六宛取、存根五又每人小根七宛取、根二指目  
是より人数及根高何程と同

答人数二指目人 根高百六指目人

樹田後、取根七、内指目取根六を引残、一を法、次存根五、不置根二、指目を  
加へ二指目と成法、以て别人数を以る、存根六を指目、存根五を加へ根高を以る

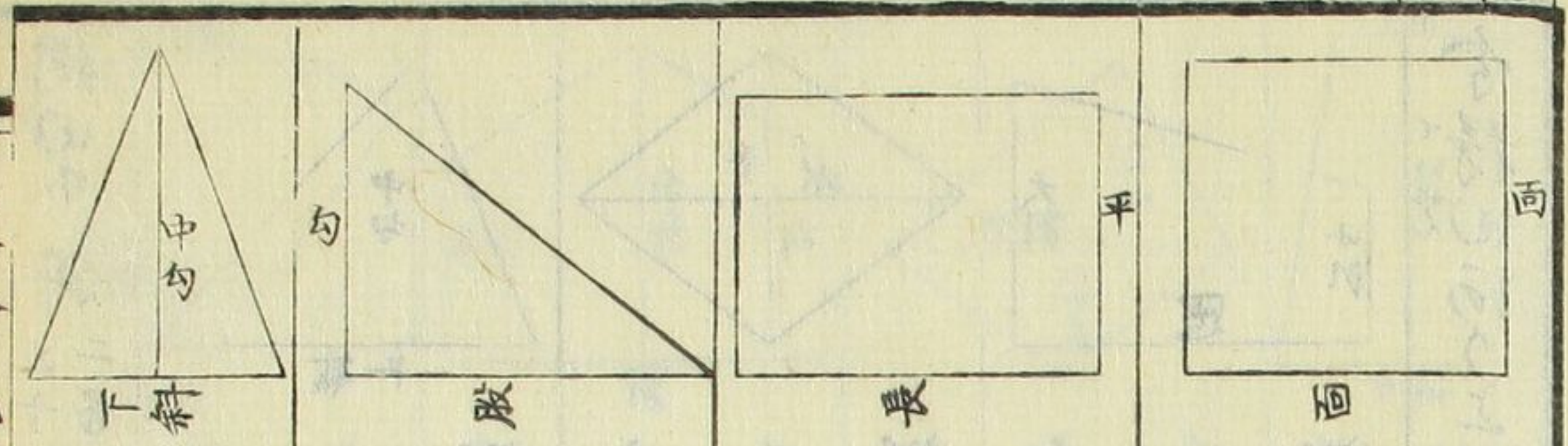
今配分根五、每人小根百六指目宛取、存根二指目、費八百目、又每人小根百六指目宛  
宛取、存根五、不置、别人数及根高何程と同

答人数二子八百人 根高百九指目、費八百目

樹田後、取根百六十、内指目取根百六十を引残、六を法、以て存根二十二、費  
を别人数を以る、後、取根百六十を根高を以る

地方割

平不坪の形



今方田あり、面二十五、同歩、取何程と同

答歩数六百二十六歩

樹田、面二十を台歩数を以る

今屯田あり、長十六、間平九、同歩、取何程と同

答歩数百四十四歩

樹田、長十六、平九を台歩数を以る

今勾股田あり、勾十二、間股十九、同歩、取何程と同

答歩数百指目歩

樹田、勾十二、股十九を二、別歩数を以る

今圭田あり、下斜二十二、間中勾七十六、同歩、取何程と同

答歩数子二百歩



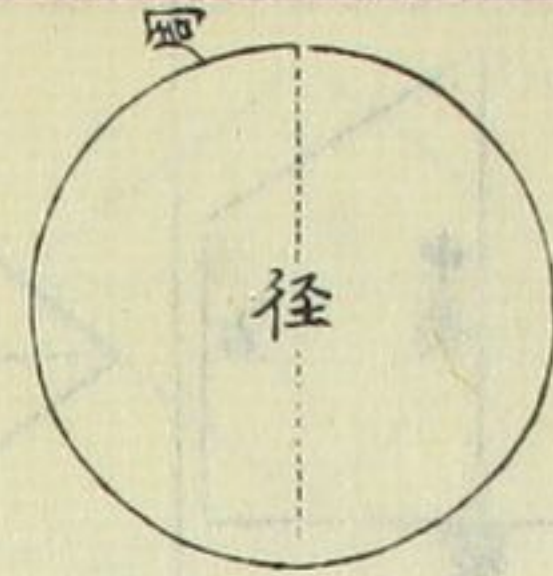




半径八を二つ割歩数を清る

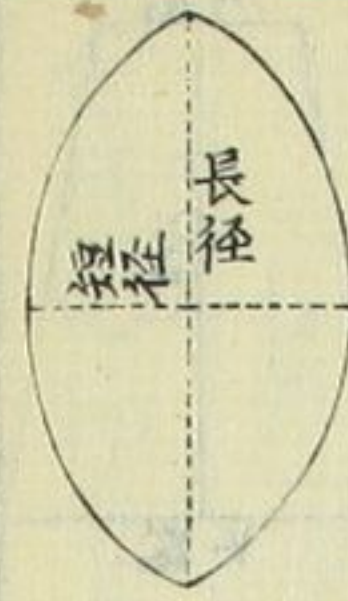


今車輪田何り外背九内背六を離径四百歩数何れと同  
各歩数二十歩



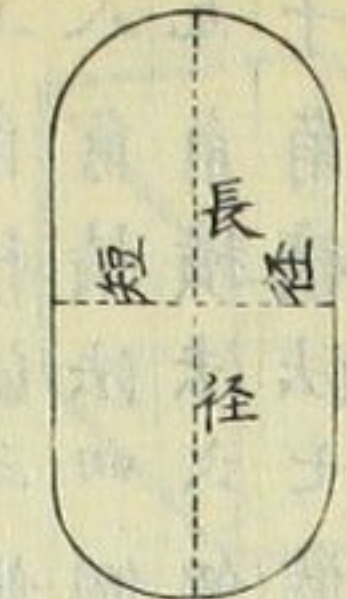
今園田何り径二十間歩数何れと同  
各歩数二百拾四歩一分六厘  
併一田積法七分八厘

又径二十間周何れと同各周六十二間八分三厘  
樹田径二十間周法三十一を周を清る

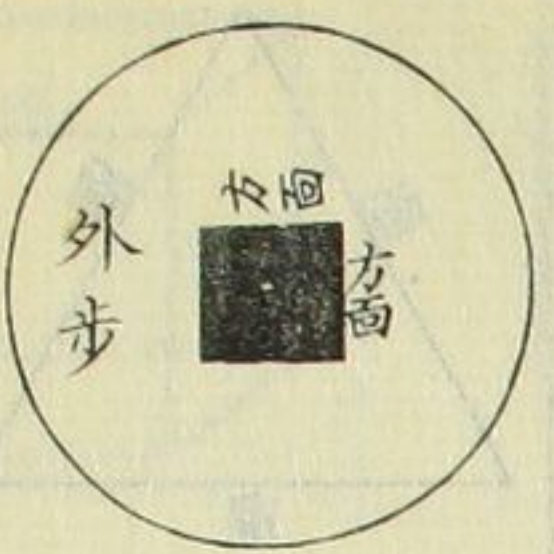


今側園田何り長径二十間短径十四間歩数何れと同  
各歩数六百七拾〇歩八分

樹田長径二十間短径十四間歩数何れと同  
各歩数九拾四歩四分八厘六絲



樹田短径七間積法七分八厘を長径十五間を加内短径七間を引残る短径  
七間を歩数を清る

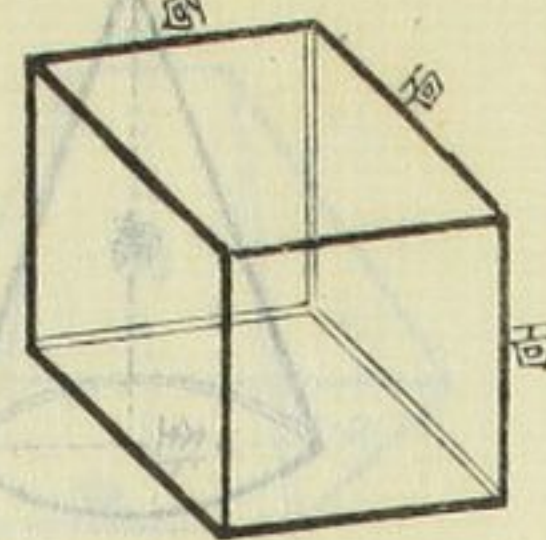
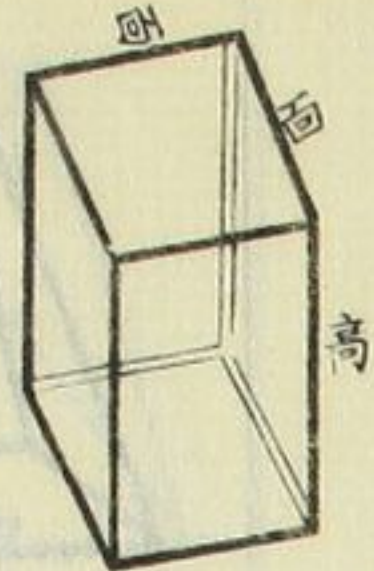
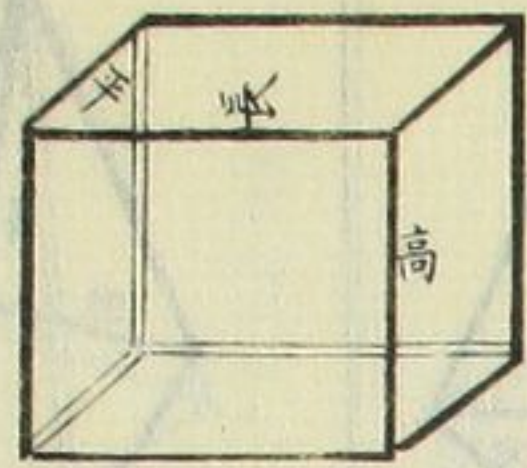


今残田何り園径八間方面三間外歩数何れと同  
各歩数四百拾二歩二分六厘五毫六絲  
樹田方面三間を合九歩と成別小園園径八間を合園積法

七分八厘を内別小園歩数を引外歩数を清る  
今環田何り外周八拾四内周三拾間外歩数何れと同  
各外歩数四百七拾七分五厘



坪の立文



今圓埵の徑之同言又同歩數何程と同  
答歩數二拾四歩

今直埵埵の平二同長之同言又同歩數何程と同  
答歩數九拾六歩

今方埵埵の面二同言又同歩數何程と同  
答歩數七拾九歩

今圓埵の徑之同言又同歩數何程と同  
答歩數二拾四歩

今直埵埵の平二同長之同言又同歩數何程と同  
答歩數九拾六歩

今方埵埵の面二同言又同歩數何程と同  
答歩數七拾九歩

今圓埵の徑之同言又同歩數何程と同  
答歩數二拾四歩

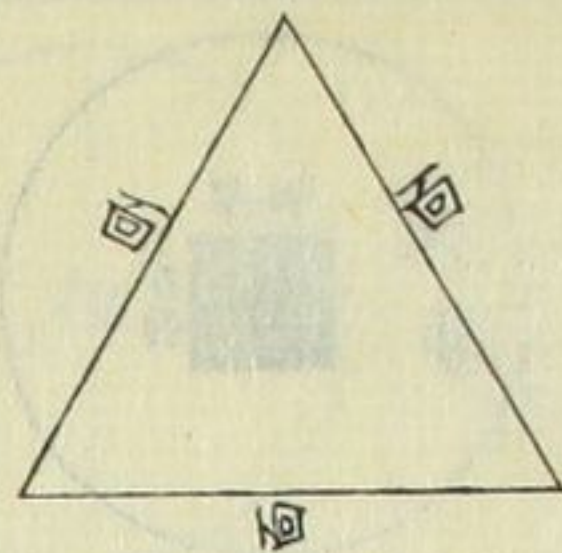
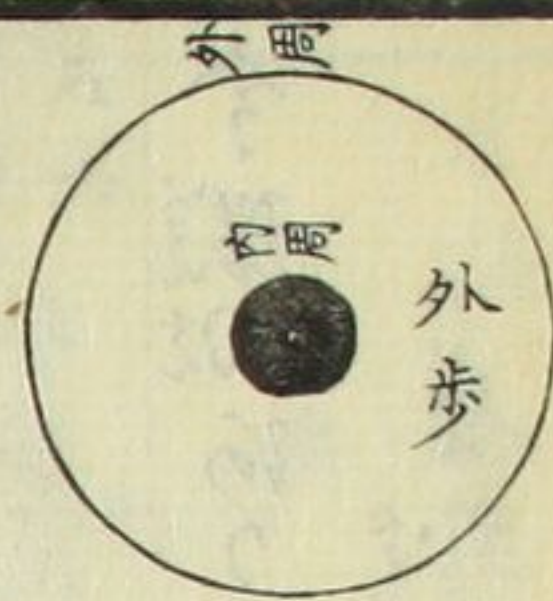
今直埵埵の平二同長之同言又同歩數何程と同  
答歩數九拾六歩

今方埵埵の面二同言又同歩數何程と同  
答歩數七拾九歩

今圓埵の徑之同言又同歩數何程と同  
答歩數二拾四歩

大正壘功記

六一四



今圓周法三個一を並にを十二個又六六六と成法と成  
内周を合九百歩と成列小並外周八十を合内列小  
並の歩を引残り法で刻外歩數をほす

今三角田の面六同歩數何程と同  
答歩數十二歩又分八八八七二

今三角田の面六同歩數何程と同  
答歩數十二歩又分八八八七二

今三角田の面六同歩數何程と同  
答歩數十二歩又分八八八七二

四角積法一個  
五角積法一個七二〇四七七四  
六角積法二個五九八〇七六二  
七角積法三個六三三九一二四  
八角積法四個八二八四二七一  
九角積法六個一八一八二四一  
十角積法七個六九四二〇八八  
十一角積法九個三六五三九九  
十二角積法十一個一九六一五二四

四角積法一個  
五角積法一個七二〇四七七四  
六角積法二個五九八〇七六二  
七角積法三個六三三九一二四  
八角積法四個八二八四二七一  
九角積法六個一八一八二四一  
十角積法七個六九四二〇八八  
十一角積法九個三六五三九九  
十二角積法十一個一九六一五二四

十三角積法十三個一八五七六八三  
十四角積法十五個三三四五〇一九  
十五角積法十七個六四二二二九  
十六角積法二十個一〇九三五七九  
十七角積法二十二個七三五四九一八  
十八角積法二十五個五二〇七六八一  
十九角積法二十八個四六五二八九四  
二十角積法三十一個五六八七五七五  
其角面を合其積法を其歩數をほす

大正壘功記

六一三



樹曰徑をを合言を亦圓積法を歩教をほる

今方錐何り面又同言六歩教何れと同

答歩教五拾歩

樹曰面をを合言六をを定法之を以て割歩教をほる

今直錐何り長四歩平二言九歩教何れと同

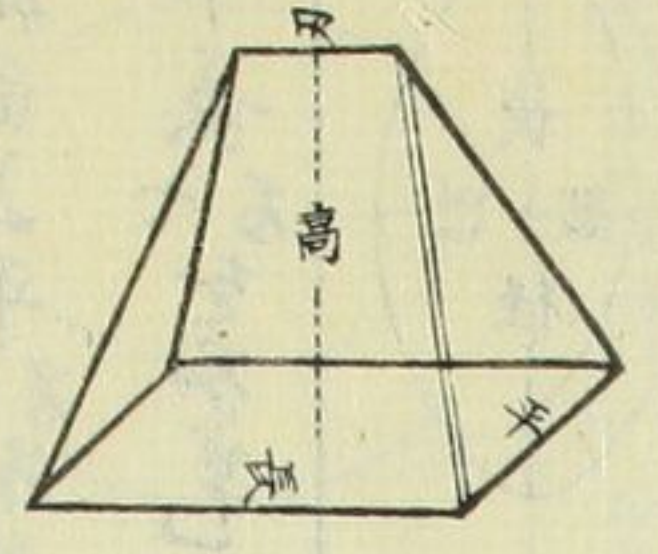
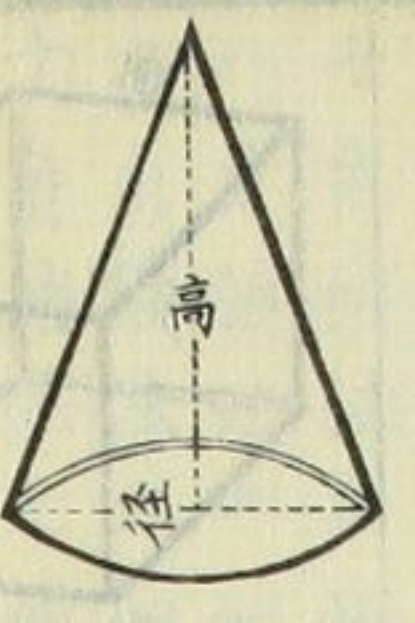
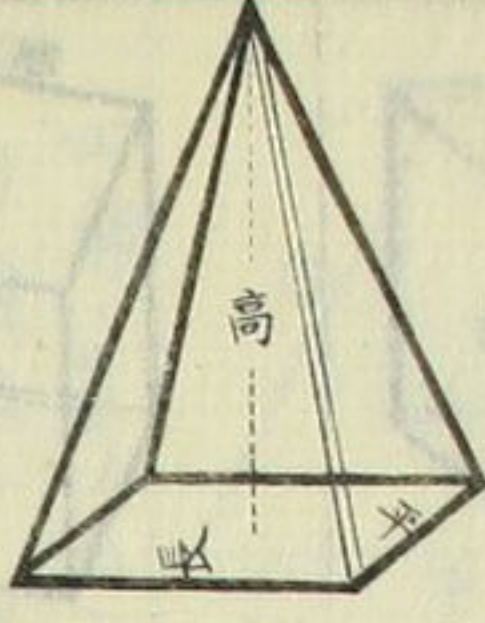
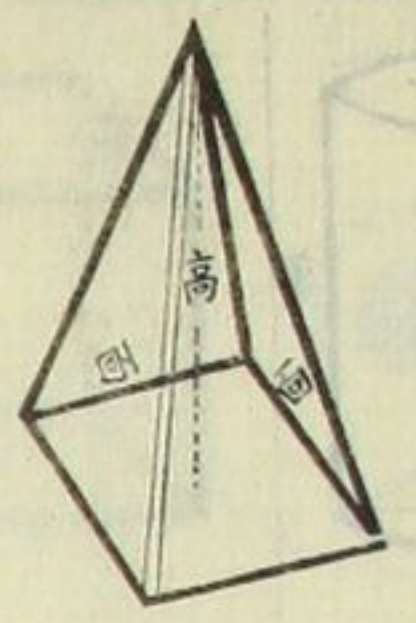
答歩教二十四歩

樹曰長平二をを言九をを定法之を以て割歩教をほる

今圓錐何り徑七同言九同歩教何れと同

答歩教百拾歩四分八

樹曰徑をを合言九をを定法之を以て割圓積法を歩教をほる



今楔何り長又同平三同刃二同言九同歩教何れと同

答歩教五拾四歩

樹曰長を倍して刃二を加へ平三をを言九をを定法六を以て割歩教をほる

今兩刃何り上刃三同下刃二同言七同歩教何れと同

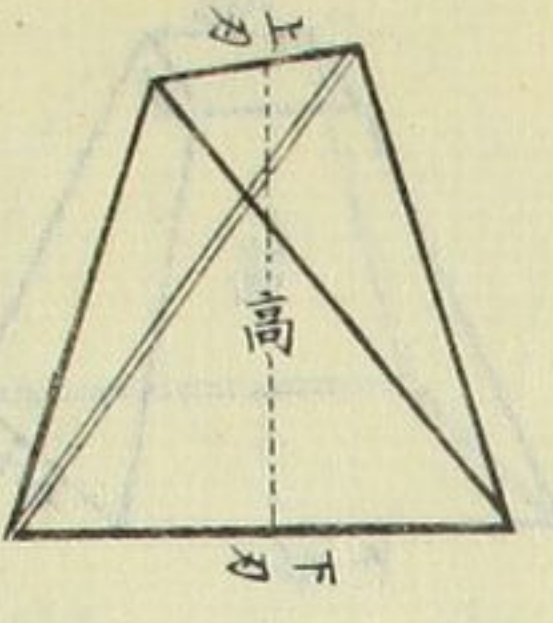
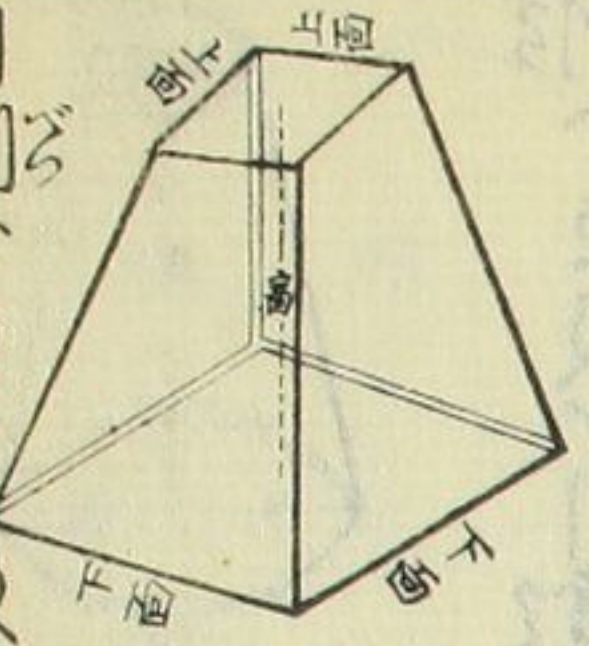
答歩教拾四歩

樹曰上刃へ下刃をを亦言七をを定法六を以て割歩教をほる

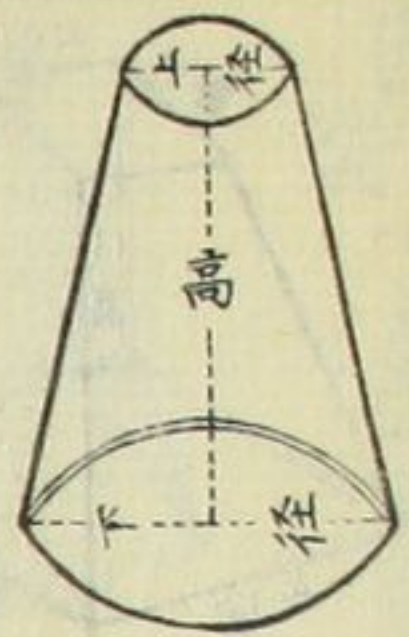
今方臺何り上面四同下面七同言八同歩教何れと同

答歩教百八拾歩

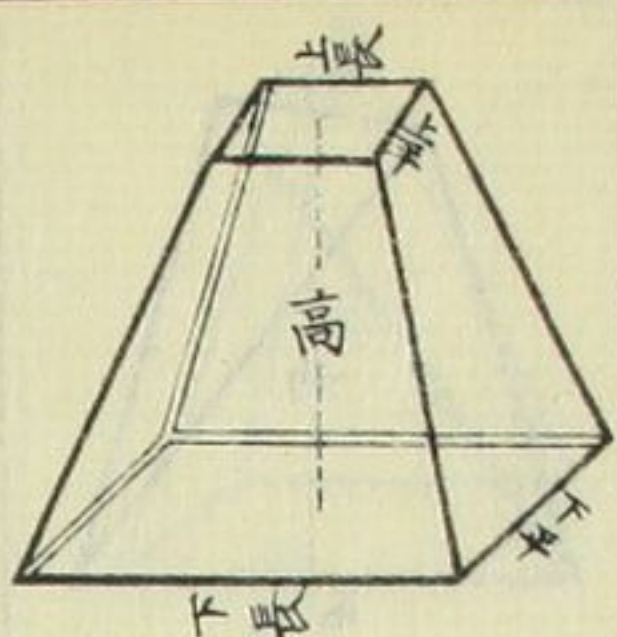
樹曰上面へ下面をを別小魚上面へ下面を加へをを合内別小魚をを定法之を以て割歩教をほる



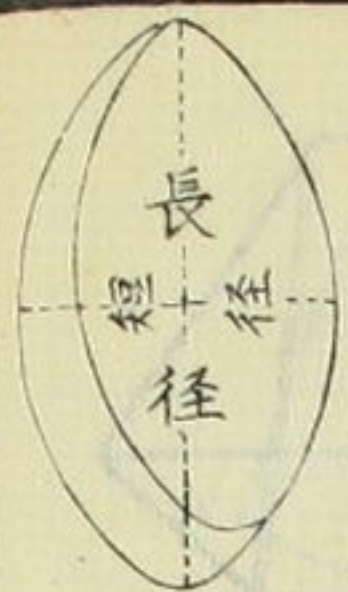




今圓臺の上径二間下径二間高七間歩教何種と同  
答歩教七拾壹歩四分七二



今直臺の上長二間上平二間下長七間下平二間高十二間歩教何種と同  
答歩教二百二十二歩

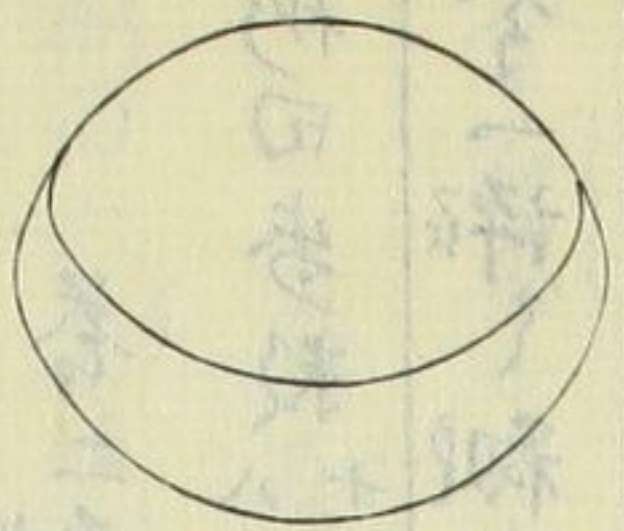


樹の上平二間下平二間高七間歩教何種と同  
下長七間を是(別小垂教を加へ)十二間を定法六分七刻歩教を以る  
今長立圓の上長八間短径八間歩教何種と同  
答歩教百〇四分七分二

樹の短径二間を合長径八間を亦玉積法三分二を歩教を以る

今矮立圓の上長二間短径二間歩教何種と同

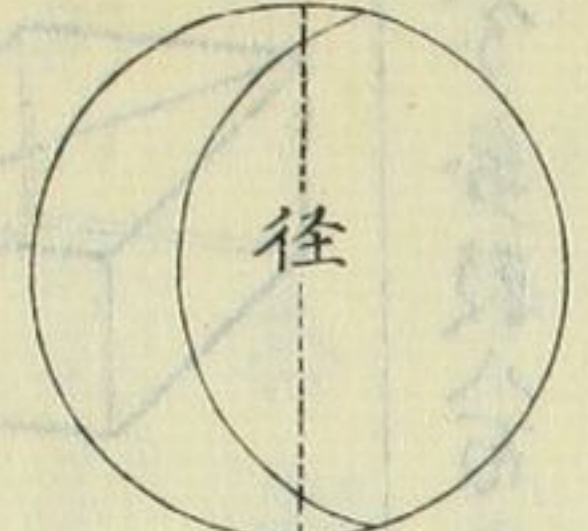
答歩教二拾六歩一分八



樹の上長径二間を合短径二間を亦玉積法三分二を歩教を以る

今球の上径二間下径二間歩教何種と同

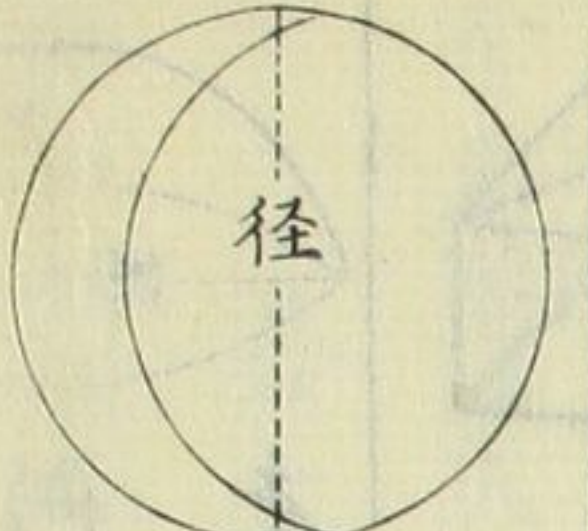
答歩教十四歩一分三七二



樹の上径二間を合赤径二間を亦玉積法三分二を歩教を以る

今球の上径二間下径二間歩教何種と同

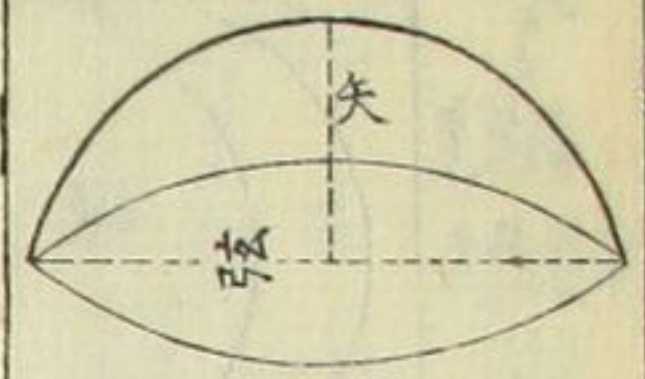
答歩教十二歩二分六六四



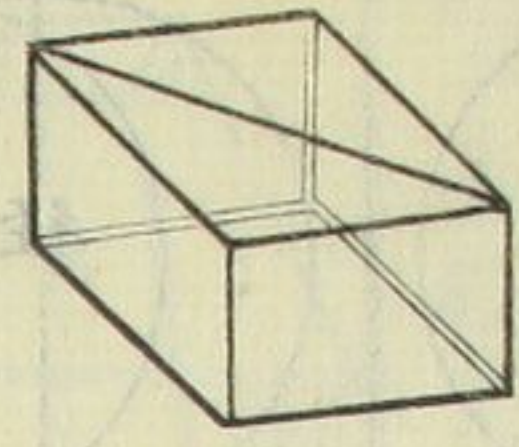
樹の上径二間を合圓周法三分二を亦歩教を以る

今球の上径二間下径二間歩教何種と同





各歩教五指口歩四分以内  
樹曰弦八を合定法七分を是へ矢ニを合する教を加へ  
矢ニを亦玉後法二分を歩教をほる



系升口四寸九分深二寸七分歩教何程と同 但寸歩あり  
各歩教六十四歩八分二七  
樹曰口四寸九分を合深二寸七分を歩教をほる

今歩教八百六指又歩ありけ及別何程と同

各二及八畝二指又歩

樹曰歩教八百六を並畝法二十を以て別  
但三十歩より少きハ及別をほる

今一坪一畝一升あり又指ありて石盛何程と同

各石盛十六

但一畝を指と樹一升ありて米八合ほるを以  
石盛とい一畝の出米あり

物成の形

樹曰一坪一畝一升あり及法二百を指分を以て石盛をほる

今石盛十八六公以民に取ありて及取米何程と同

各及取米一石〇八升

樹曰六公の法へ石盛八を指及取米をほる

今石盛十二及取米六斗ありて免何程と同

各免四ツ

樹曰及取米斗を並石盛八を以て割免をほる

今石盛十五ありて及別六及八畝十二歩あり何程と同

各九石八斗二升六合

樹曰及別六及八畝を並十二歩をより畝法二十を以て割六及八畝五分と畝

石盛十を以てをほる

但一畝米の内六分年貢小納免指四分を  
百指ありて六公に民の取と云  
一及く年貢米を及取米とい

但一畝米の取米を免とい亦付  
ともあり



今石盛十石免三ツ五分して及取米何種と同

答及取米五斗二升六合

御曰石盛十石へ免三ツ五分を及取米を以る

今免四ツ五分して言二百石指石く取米何種と同

答取米百石

御曰言二百石へ免四ツ五分を及取米を以る

今石盛十石五分して言二百石指石く及別何種と同

答及別二十四町

御曰言三百六十石を及石盛十石を以て別及別を以る

今免五ツ及取米七斗五分して石盛何種と同

答石盛十石

御曰及取米斗を免三ツ五分を以て別石盛を以る

今言六指七石取米三指石二斗五分して免何種と同

答免六ツ

御曰取米三指石二斗五分を免三ツ五分を以て別免を以る

今本途米一石五分指石三升五分して本途米二百石五分指石米何種と同

答取米七石五分

御曰本途米二百石五分指石三升五分を及取米を以る

今又公又民之取石盛十石五分指石今本途米一石五分指石今本途米一石五分指石今本途米一石五分指石今本途米一石五分指石

今て免何種と同

答免三ツ六分

御曰當合九指石五分を及法三百歩を及亦五分指石五分を及盛十石五分指石五分を及免を以る



今坪刈一石一升六合有り内を別々干減を引六分指六分民取あり  
反取米何程と同

答反取米一石二斗九升六合

御田一升一撮六分を内一刻減法九分を亦六分法二分を反法二分を  
反取米を以る

今本途永百石指三費文有りけい永何程と同 但一本途永一費文有り永  
二十文

答永百石費六百九十文

御田本途永百石指一費文有りけい永法二十分を以永を以る

今言ふ子口百石有りけ夫米何程と同 但一言一石子付米二升

答夫米百石指二石

御田言ふ子口一丈米法三升を以夫米を以る

御田の儀

今堤長二百石指同二間後六間言九尺坪敷何程と同

答坪敷二石百坪

御田言九尺を並寫法六尺を別法と以馬路二間一費六分を加へ法を亦長  
二百石を以二石百坪敷を以る

今上中下三村より人足を出して用水堀長九百七拾六間穿あり上村人足

二百人中村人足二百人下村人足百六十人あり人敷小應ト穿同敷を三村へ別減  
と此各寫敷何程と同

答上村四百石指 中村二百石 下村二百二拾石

御田上中下村人足合六百八十八人 を以て長九百七拾六間半と成法と以上村人足  
二百人 一法を以上村寫敷を以る中村人足二百人 一法を以中村寫敷を以る下村  
人足百六十人 一法を以下村寫敷を以る









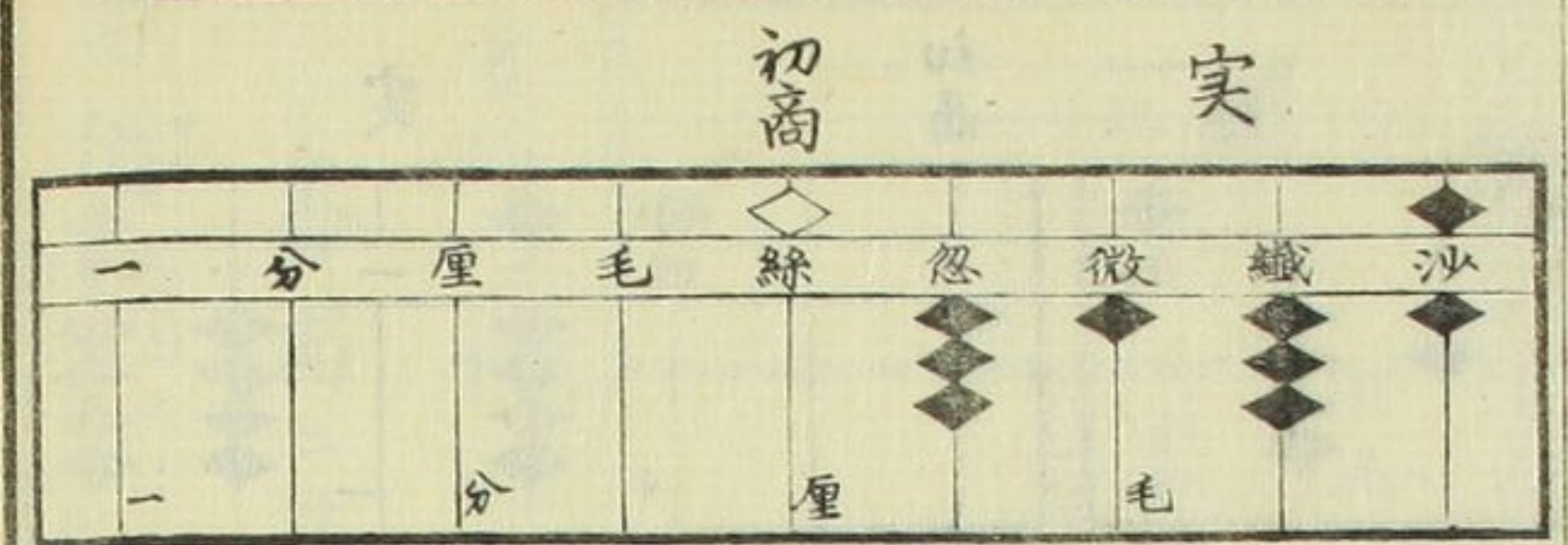


今方何り積ニ忽一撮ニ織六沙面何夜と同

呑面入毛六線

初商積 三忽一撮 三織六沙 を平方ふ初商の方面を以る

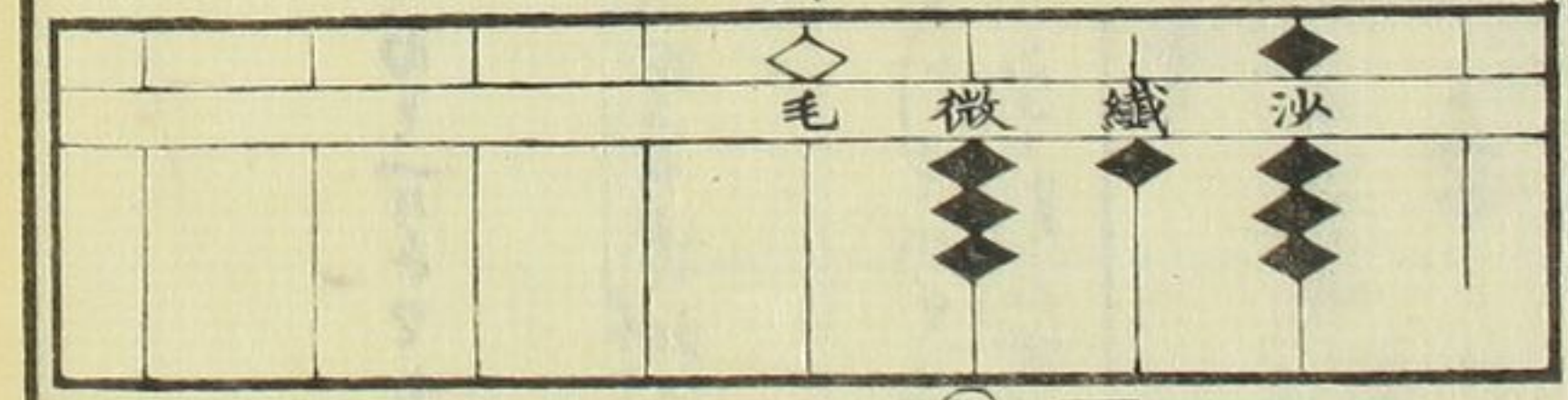
平 方 小 開 圖



○ 實の位より一分の厘。毛と位をあらうとた  
 けりて実数ふ初商の方面を以る  
 毛の位より一分の厘。毛と位をあらうとた  
 けりて実数ふ初商の方面を以る

○ 實の位より一分の厘。毛と位をあらうとた  
 けりて実数ふ初商の方面を以る  
 毛の位より一分の厘。毛と位をあらうとた  
 けりて実数ふ初商の方面を以る

圖二



○ 初商六糸の半九九  
 六六十八を以りて  
 初商の方面を以る  
 毛の位より一分の厘。毛と位をあらうとた  
 けりて実数ふ初商の方面を以る

帶 縱 開 平

直



呑

呑 縱 括 二 間 横 七 間

呑 縱 括 二 間 横 七 間

今直何り積ニ忽一撮ニ織六沙面何夜と同

今直何り積ニ忽一撮ニ織六沙面何夜と同

呑 縱 十九 間 横 十二 間

初商積 三忽一撮 三織六沙 を平方ふ初商の方面を以る

呑 縱 二十 間 横 二十四 間

今直何り積ニ忽一撮ニ織六沙面何夜と同











二圖の次商を再九九小呼み二百廿五実少引掛立方面二十同と知あり  
 若次商を以て実小残積あり見商二桁を以て抄積を割亦  
 定法之少引掛の首位一をを見商二桁少引掛之商を得  
 其之の商を同数の九九小呼実少引残へ定法之を亦見商二桁を  
 是て後之の商を再九九小呼実少引あり商以下准と知べし  
 見商及定法之を以て割小次の商を求むれば初商の次の桁  
 よりみ桁割て止べし是より止むは初より是より之の商を求むれば  
 二の商の次の桁より六桁割て止む是より止むは初より是より之の商を求むれば  
 今立方面より後二億九千九百廿五字の六桁を坪面何種と同

答面六百二十一回

初日積 二億九千九百廿五 八万二千六百二十一坪を並立方面に坪面を以て

立方面の開圖

初商	億	十	百	十	万	千	百	十	一
◇	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
百	億	十	百	十	万	千	百	十	一

○実の位 初商の如く並初商の再九九を引残実 二億九千九百廿五を以て  
 上圖の如く並初商の再九九を引残実 二億九千九百廿五を以て  
 初商を以て割 二億九千九百廿五を以て割 亦初商を以て割  
 桁より定法之少引掛 一億九千九百廿五を以て割 亦初商の首位  
 一桁を初商 六引掛の首位 二億九千九百廿五を以て割 亦初商の首位  
 引残 六百廿五坪不足 是は定法之を以て割 亦初商の首位  
 不足あり。 亦初商 六を以て割 亦初商の首位  
 六十一坪 亦初商 六を以て割 亦初商の首位  
 二億二圖の如し

実数多く引るやうに初商を立るは初商七を立次の初商を  
 百の位を引掛し 再九九小呼七七之百廿五実少引を以て初商六を  
 立再九九小呼六六二百十六実少引掛実二億九千九百廿五を以て











今勾股あり 經法一寸八分 法六寸 勾股中勾各何種と同

各勾二寸 股四寸 中勾二寸四分

樹田法 二寸 經法一寸 法六寸 勾股中勾各何種と同

引残 二分 經法八分 法六寸 平方小用 中勾四分 法六寸 勾股中勾各何種と同

みそ割股をほる

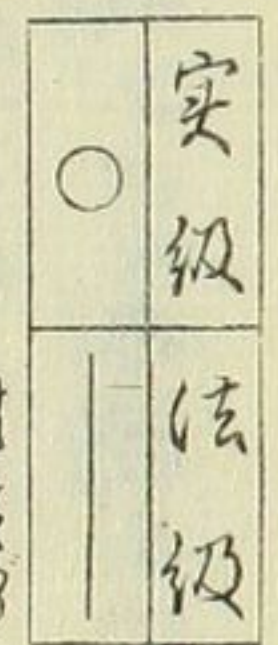
### 大正塵劫記

### 大正塵劫記

東武 長谷川善左衛門寛閣 小樽安兵衛謙編

### 天元術

天元術 樹田法を以て各段を求む起系の法ありたこへ勾を求むとれハ一算を置て勾と下圓の如く



天元の一といふ即ち一を勾小命を求むあり亦股を求むとれハ一算を股と下へ一皆けの如く同所の數小命一法の如く相合適等して其真數をほるあり

算籌小正員の兩算あり正算は赤くして加入小用負算は黒くして引去小用正算の圓 赤あり 負算の圓 黒あり 負算の字あり



















右式實は百二十法は十七あり法数を實數へ比せし法は少  
 仍て法をさみ實數の内ありて進をほて止あり法を一位進  
 百七十をほる即實數の内ありて進をほて止あり法を一位進  
 百七十をほる即實數の内ありて進をほて止あり法を一位進  
 今と定む正算ふて初商を立る法とを合實へ加へ實數  
 正算へ加へ亦初商正二と法の次の正七と見合二七十四正算へ  
 加へて二圖の如し

二圖の實員  
 百二十の内  
 正二百四十  
 餘實員八十二  
 と法を一位  
 去りて二圖  
 の如し

圖の三

百	十	一	
			商
			實
			法

この圖へは商正  
 二を立法の首の  
 正一と見合一六六  
 正算へ加へ亦次の  
 商正二と法乃  
 次の正七と見合  
 又七三二六正算へ  
 加へて四圖の如し

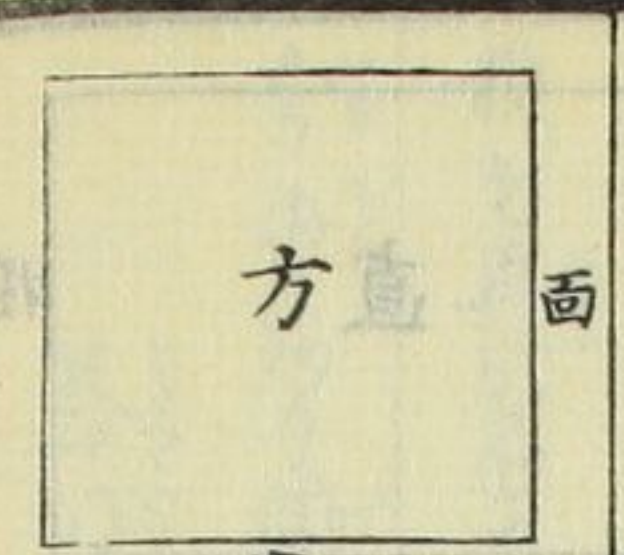
圖の四

百	十	一	
			商
			實
			法

實員  
 八十二の内  
 正八十四  
 餘實員  
 二十を  
 去りて  
 二圖の  
 如し

圖の二

百	十	一	
			商
			實
			法



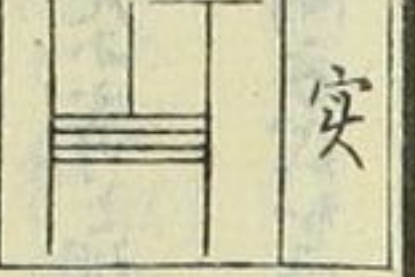
今方何の圖の如し後一百九十六歩面何程と同  
 答曰面一十四間  
 歩曰天元の一を立て面と凡

○	實
○	法

先を合積と凡

○	實
○	法
○	廉

積 大少奇以  
 六歩を並



大少奇と相消  
 平方式をほる

○	實
○	法
○	廉

平方小是を以て凡方面  
 一十四間をほる

圖開小方平

百	十	一	
			商
			實
			法
			廉

圖の二

百	十	一	
			商
			實
			法
			廉

二圖の實員百九十  
 六の内正百を引揚  
 實員九十六法を  
 一位去りて凡廉を  
 二位去りて凡三圖の  
 如し

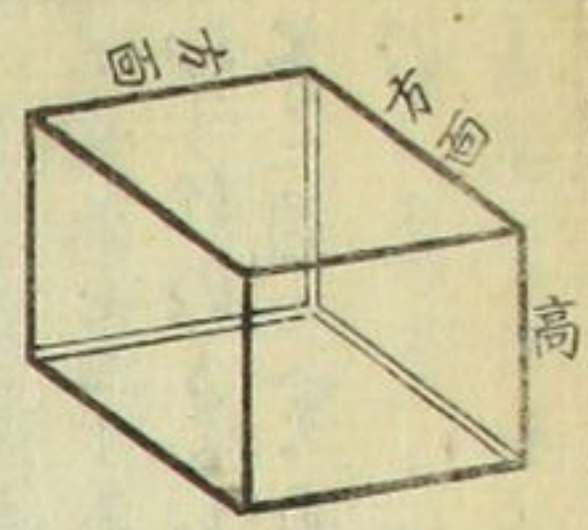
圖の三

百	十	一	
			商
			實
			法
			廉









今方堡塼何り圓の如く積七十五歩方より方面ハ二寸  
ふが一方面何れと同

答曰方面二寸

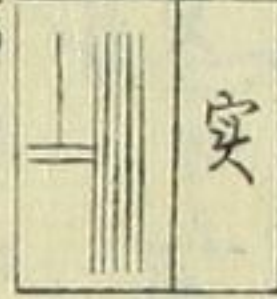
○	実
—	法

○	実
○	法

—	廉
—	隅

枳曰天元の一をえて方面と  
方面ををを合て亦言をを積と

積七十歩をを



たふ算と相消用方式をゆる

—	实
○	法

—	廉
—	隅

立方の翻法小是をゆる此方面をゆる

立 方	一	商
小 用	—	实
面 を	—	法
十	—	廉
—	—	隅

商の二ふと法の次の二ふと足合ふ二ふと正実へ加ふは  
実教ゆる方面二寸をゆるあり

上圖の如く計し商二ふと隅の二と足合ふ二ふと  
廉へ加ふは二ふと負二何り仍て二ふとの内負二を引  
ゆり廉二三と成叶の如く負算の級正算の及る  
を翻法とよふ正算及て負算と成亦同  
商の二ふと廉の二と足合ふ二ふと法へ加へ  
亦商の二ふと法の前の二と足合ふ二ふと正実へ加へ

右載る新正負の理と算算の用法を會ゆるに其用  
是をゆる天元の枳路の迂をゆる也へ繁く説くは

點竄術定則

此編に點竄術の定則及解中變化の理を示して其要と  
故適等の迂をと枳路の長短とよ拘るあり

たとへ其ををとれ一算をを右の傍へ某と記を  
如く書くるハ代銀ををゆるあり  
又 代銀 此の  
是をゆるあり

たとへ甲へ乙を加るとれハ  
又 是をゆるあり  
又 是をゆるあり

股を加へるあり  
又 是をゆるあり  
又 是をゆるあり  
天へ地と人を加へるあり  
又 是をゆるあり  
又 是をゆるあり







又系教 甲 乙 丙 是を合するなり

系教を二の仍へ並系教の首位甲を去り倍して二の仍へ並系教の尾位丙を倍して三の仍へ並下圖の如し

		甲
	乙	乙
丙	丙	丙
三の行	二の行	一の行

一の仍ハ右を合二の仍ハ系教首位の甲正を去り三の仍ハ系教次位の乙負を去りたの如し

甲中	乙中	丙中
乙甲	丙甲	一の行
丙乙	二の行	一二三の仍合て
三の行		

是少て系教を合しては教あり



又系教 天地 天甲 地乙 甲乙 是を合

と此系教を二の仍へ並系教の首位を去り是を倍して二の仍へ並二の仍の首位を去り三の仍へ並三の仍の首位を去り四の仍へ並下圖の如し

		天地
	天甲	天甲
	地乙	地乙
甲乙	甲乙	甲乙
四の行	三の行	二の行
		一の行

一の仍ハ右を合二の仍ハ系教の首位の天固地二股正を註回固ハ右あり二股ハ二つをいふあり天固地二股ハ天へ地を去る教とよみあり二の仍ハ系教の次位の天固甲正を去り三の仍ハ系教の次位地固乙三股負を去り下圖の如し

			天地中
		天甲地	天甲中
	地乙	地乙	地乙中
甲地	甲地	甲地	甲地中
四の行	三の行	二の行	一の行

一二三の仍合て

是合てはる教あり

たとい右 甲 子 左 乙 丑 是へ右を去ると此ハ左を二の仍へ並たの如し

乙	乙
丑	丑
二の行	一の行

一の仍へ右の首位の甲正を去り二の仍へ右の尾位の子負を去り下圖の如し

乙子	乙甲
丑子	丑甲
二の行	一の行

一二の仍合て 乙甲 丑甲 乙子 丑子 是少て左へ右を去るあり











今大小依數合六十依ありける石数十九石但し大一依の入口斗小一依の入口斗六升  
大小依数者何種と同

答曰大依数二十依 小依数二十依

一算を命じて 大依数より 例大の依数を減じて

合依数 大依数 小依数あり 合依数六十依の内大依数を  
引くゆへ小依数を減らさる

小依数へ小一依の入口をを 合依数 小一依入 大依数 小一依入  
右小依数へ小一依の入口ををて小石数を減らさる

大一依入 大依数あり 大依数へ大一依の入口ををて大石数を減らさる

大小石数合 大一依入 小一依入 合依数 大依数 小一依入  
合石数ありたるを以て 右小依数へ小一依の入口ををて小石数を減らさる  
大石数を合らさる

合石数 お消 是は同小一依の合石数十九石あり即ち小依数あり合石数と適等依て  
一算を命じてた小依数あり合石数と適等依て

大一依入 大依数 小一依入 合依数 大依数 小一依入 合石数 空数

大依数を減る式を求む

小一依入 大依数

合石数 小一依入

合石数 小一依入

但し空数の内の虚数を減る式を求むあり

註曰空数を減ると 右の空数の内の大依数の空数

あり是を減るとして減る空数也へ大依数減

減る式を求む是大依数の減らさる算を以て

大依数の減らさる算は 大依数を減る法と

註曰大依数を減るとは 大依数を減る

右式の實は合石数 十九 合依数 五十一 小一依の入口斗をを 十七石 あり負十九石の内

正十七石六斗引引 一石六斗 實数と法 法は大一依入の斗 小一依入の斗 あり正四斗の

内負三斗六斗引引 法と法を以て實数 一石六斗 斗負を別大依数を減る

右の實法小依て 御文を作るとは 右の如し

御曰合依数 五十一 斗をを以て合石数 十九 の内より引引



一石 実より大一儀の入に斗の内小一儀の入斗を引残しを法して実を  
割大儀数を法して同小合に

三

今上米九石下米七石何れ代報合八百四拾五あり但し下米一石の代報  
より上米一石の代報は五多言し上下米各一石の代報何れと同

香曰 上米一石代報五十五多 下米一石代報五十五

一算を命じて 下石代 上石代 先下米一石の代報を五として御説をおるあり  
下米一石の代報を中略して下石代と法は五多言し入懸へ

下石代 上石代 上米一石の代報あり 下米一石の代報あり  
上米一石の代報を法して五多あり

上米一石の代報へ上米石数を法して 上石代 上石代 上米代報あり  
右小求五多言し上下米の代報を合言し

下石代 下米代報あり 下米一石の代報へ下米石数を  
法して下米代報を法して五多あり

上下米代報合 上石代 上石代 上下米代報の和ありた小言し  
右小求五多言し上下米の代報を合言し

合代報 上石代 下石代 上石代 下石代 上石代 下石代  
お消 是八同小い新の合代報 八百四十五あり

上下米代報合 上石代 上石代 上下米代報の和ありた小言し  
右小求五多言し上下米の代報を合言し

下米一石の代報を法して式を求む 依て下米一石の代報を法して式を求む先下米  
一石の代報の五多言し一算を法して

上石代 上石代 下石代 下石代

合代報 上石代 下石代

右式の実合代報 八百四十五 言報 五多 上石代 九 下石代 七

内正四十五引残あり 実数より法は上石代 九 下石代 七 あり五九七を加へ

十六 法数より是を以て実数を割下米一石代報を法して

右の実法小依て御文を作ると此の如し

御曰上米石数を法して五多言し報を法して合代報 八百四十五あり 実より

上米石数へ下米石数を加へ十六 法して五多言し報を法して合代報 八百四十五あり

上米石数へ下米石数を加へ十六 法して五多言し報を法して合代報 八百四十五あり









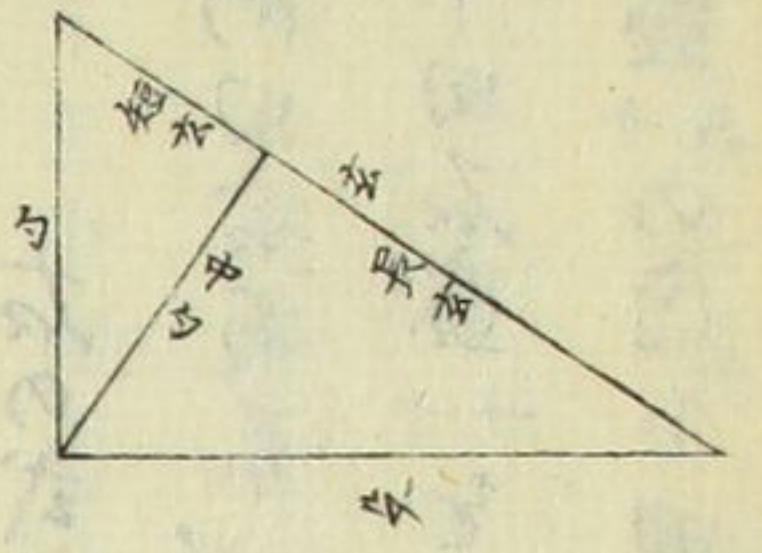


五

今句股何り句三寸股四寸弦何れと同

答曰弦五寸

一算を命じて



先比例式を設く中句を句と長弦を

股と股を弦と又短弦を句と中句を股と句を

弦と以下図の如し

比例式小依て

句中	ハ	短玄	あり
句中	ハ	長玄	あり

句界と股界と合て

句中	ハ	短玄	あり
句中	ハ	長玄	あり

是を括る

句中	ハ	短玄	あり
句中	ハ	長玄	あり

玄中 あり 空敷

弦を倍する式を求む

比	例	式
句	中句	短玄
股	長玄	中句
弦	父	句

①ハ短玄へ長玄を加へ玄を  
あるあり短玄へ長玄を加へ  
玄あり是へ玄を加へは玄中  
あり故是を括て上の如し

六

今句股何り句三寸股四寸中句何れと同

答曰中句二寸四分

一算を命じて

中句 あり 前比例小依て

あり 九寸

句中 あり 式を教小換る 実二十

方小即ち短弦を倍するあり

但し虚名界の倍する算は虚名界を倍する廉と右の空敷の内  
の弦界は

虚名界あり依て弦界を倍する廉と右の虚名再算界あり  
と記し虚名

再算界を倍する二算級と記し倍するに記し

右の式小依て答を記すにたの如し

例曰句三寸を並是を合九歩是へ股四寸を合する敷十六歩を加へ二十歩  
平方小

即ち短弦を倍して同小合は







積 納消 勾股和 勾中 積 空教

勾をほる式を求む 積 勾股和 勾中 積 空教 式を教小換る 實十二ヶ 法七ヶ 廉一ヶ

この如き平方式を等顆樹とあそこれハ実 十二ヶ 廉一ヶ をほる 個 十二ヶ

丸へ並法 七ヶ を半して 二ヶ をほる右へ並法を合 十二ヶ 二ヶ をほる内丸小並 個 十二ヶ

教を引跡 二分をほる平方小引丸をほる是を以て右小並教の 二分をほる

内より引跡 二ヶ 是を廉 一ヶ 割勾をほるあり 積 廉 一ヶ をを 積 丸へ並

傍書小依て等顆樹ふふとこれハ実 積 廉 一ヶ をを 積 丸へ並 法を半して 勾股和 右へ並法を合 勾股和中 内丸小並教を引 勾股和中 積

平方小引丸 平方商 是を以て右へ並内より引 勾股和 平方商 廉 一ヶ を 勾股和 平方商 勾と以

以て割 但一廉の一を割とこれハ商高の如く仍て 勾股和 平方商 勾と以 是を略して後皆是小あり

右の傍書を文小作るとこれ丸の如く

勾股和を半して 乃法半右へ並 勾と以 積二股と此丸小并

又一等を命して 又 勾あり 乃右へ並 勾と以 積二股と此丸小并

勾を並股をうけ 勾股和 勾中 積二股と此丸小并

積 納消 勾股和 勾中 積 空教

股をほる式を求む 積 勾股和 勾中 積 空教 式を視る小勾をほる式と全く同一故

勾をほる式小依て亦股もほるあり是を正商二件の交商式といふ

股をほる等顆樹 實 十二ヶ 廉 一ヶ をを 十二ヶ をほる丸へ並法 七ヶ を半して 個 十二ヶ

三ヶ をほる右へ並法を合 十二ヶ 二ヶ をほる内丸小並教を引跡 二分をほる 二分

平方小引丸をほる右小並教を加へて 個をほる 但一勾をほるとこれハ右の内 平方商を引あり 廉

一ヶ 割股をほる



股を引る傍書等題樹曰實 積 一ヶ たる 積 九へおく

法を半して 二 右へ並是を合 四ヶ 内た小並教を引 積

平方小並り 平方商 右小並教を加へ 平方商 一ヶ 廉 一ヶ たる

平方商 二 股と引是小依て文を作と引いたの如し

勾股和を半して 乃法半た 天と引是を合内積二股 乃實へ廉をを 九へ並る教あり

積平方小並り天を加へ 但し勾を引るは 股を引る

まてて平方式の實廉各負法正或は實廉各正法負あると引は右樹の

如く商二件を求め 商二件を求むとは右の 二件の内題小協教を以て各教

と引べし

右勾を引る樹文と股を引る樹文を綴て各樹を施したの如し

樹曰勾股和寸を並是を半して 三寸 天と引是を合 十二個二 内積二股を

引積二分 平方小並り此れ天を加へ股を引る天を並内此を引勾を 引て同小合は

十

今勾股あり積六歩勾股長一寸勾何種と同 答曰勾三寸

一等を命して 勾 三寸 股あり

股を並勾を引 勾中 勾長 積二股と引た小並り

積 勾中 勾長 積 空教

勾を引る式を求む 積 勾長 け式を教小換る 實十二ヶ 法一ヶ 廉一ヶ

けの如き平方式を等題樹とあると引は實 十二ヶ 廉一ヶ たる

九へ並法一を半して 勾を引る右へ並是を合 二分 たる

加へ十二個二 たる 平方小開き 三ヶ たる 引積 三ヶ 是を



廉個一めて割勾をほるあり

傍書し小依て算顆ん術ふ引たの如一廉一をを後後たへ並

法を半して二右へ並是をを合四是へた小並教を加へ後

平方小開き平方商引二内右へ並教を引平方商是を廉一めて

割平方商勾と引

右の傍書を文小作したの如一

勾股差を半して乃法才右へ天と引是をを合積二後乃実へ廉をを

平方小開き引内天を引勾と引

すべて平方式の法廉各正実負或は法廉各負実正あると引け術小

依て算顆術を求むべし

是そ小於てち算顆術を施たの如一

術引勾股差寸を並是を半して天と引是をを合積二後加へ

平方小開き内天を引勾を引合引

今勾股何り積六歩勾股差一寸股何れと同

答曰股四寸

一等を命して引勾あり

勾を並股をを後二後引た小寄引

後引空教

股をほる式を求む後引式を教小換る後廉一

けの如き平方式を算顆術とあると引十二廉一をを十二をほるたへ並法

個を半して二をほる右へ並是をを合二をほるた小並教を加へ十二をほる

平方小開き二右小並教を加へ二をほる廉一めて割股をほるあり



傍書小依て算顆細小ふきとれハ実積一廉一ケをを積方ハを

法を半しケ 二 勾股 右ハ是をを合 勾股中 積 平

方小細 平方商 右ハ是を加へ 平方商 勾股 是を廉 一ケ 少ケ別 平方商 勾股 二

股とれ是小依て文を作とれハたの如し

勾股を半しケ 乃法半右ハ 天とれ是をを合積二股 乃実ハ廉をを 加へ

平方小開き天を加へ股を倍

是べて平方式の實法各負廉正或ハ實法各正廉負あるとれハ細小

依て算顆細を求むべし

是小依て算顆細を施とたの如し

細日勾股一を並是を半しケ 天とれ是をを合 二分 積二股を加へ 十二個二 分

平方小細 三 天を加へ股を倍て同ハ合

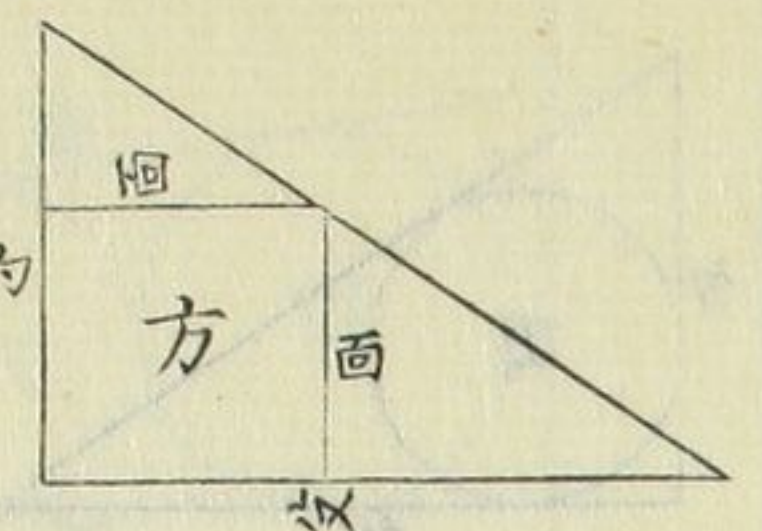
平方式算顆細の起系ハ其業其地小至るは細一維き也ハ

あれを略以今ハ書小載る點竄の意味を明しして後算法新書

三の巻點竄第四文商の篇小依て算顆細の解法を詳小知べし

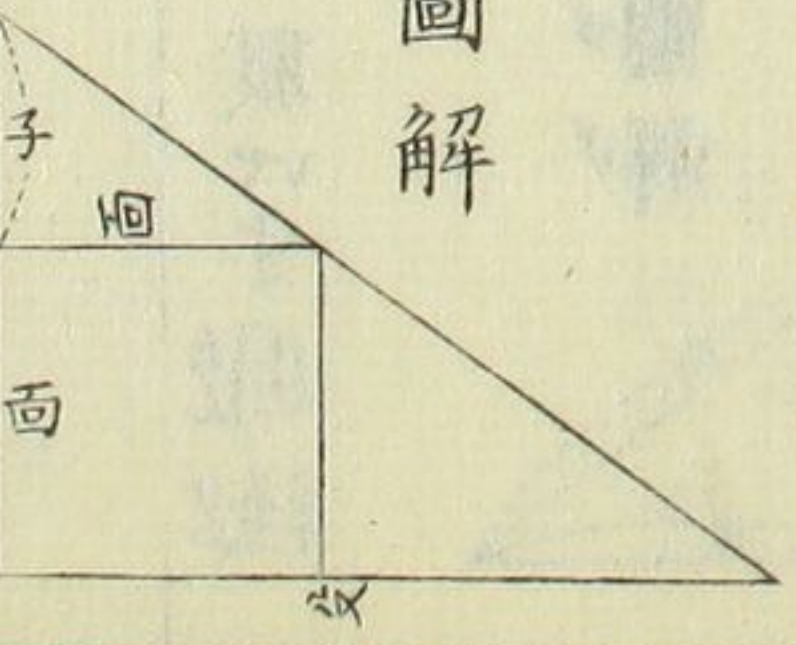
今勾股の内ハ圓の如く方を倍るあり勾三寸股六寸方面何

るど同



一等を命し 面 子とれ面を加へ

比例式	
子	勾
面	股



比例小依て 子とれ面を加へ 空教遍股をを 精空教

但一空教の内小別 算る教あるハ皆を

方面を倍る式を求む け式を教小換る 法九ケ 個を以て

六八算力記

三〇二



實<sup>十八</sup>個を割方面を以て後教式を略す

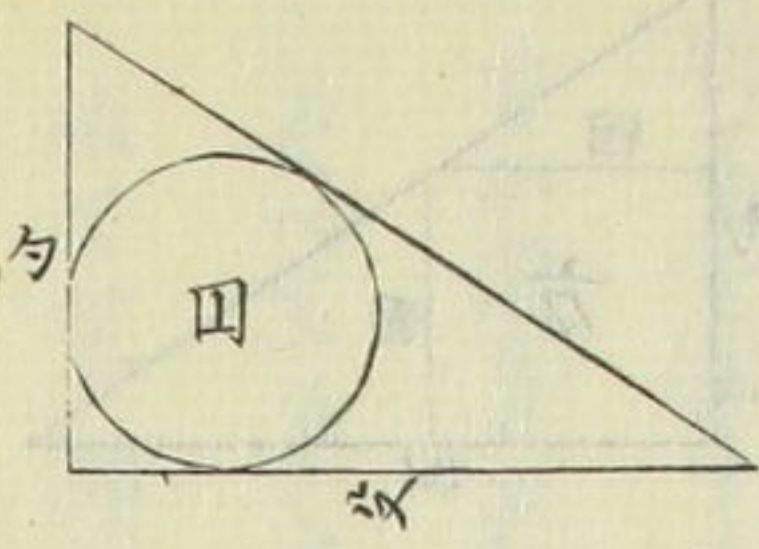
是れ依て善術を施すたの如し

樹曰勾三寸を垂股六寸を加へ法と以て勾三寸を垂股六寸を垂法とて割方面を以て同小

合

今勾股の内へ圓の如く圓を容る所り勾三寸股四寸圓徑何れと問

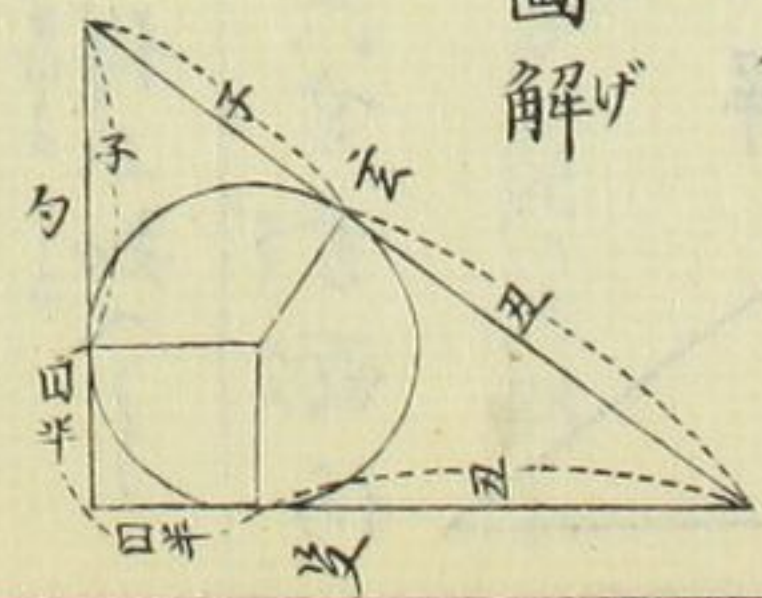
答曰圓徑二寸



一算を命じて

且つ子を加へ 勾三寸 股四寸 圓徑二寸 子三寸

圖解



○二位の圓徑寸負あり依てお加へて以て

玄 勾 股 圓 子 空教

圓徑を以て式を求む

け式小依て善術を施すたの如し

樹曰 寸を求め 勾三寸を垂股六寸を加へ内弦寸を引圓徑を以て同小合

以て同小合

今二線を以て圓の如く三圓を被り甲徑九寸丙徑四寸

乙徑何れと問

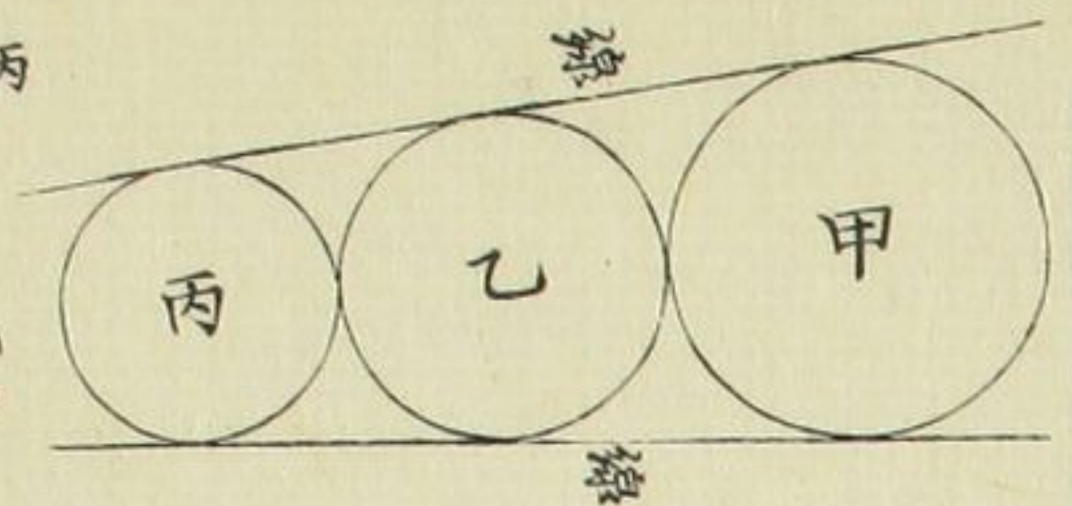
答曰乙徑六寸

一算を命じて

比例小依て 甲 乙 丙 乙 丙 甲

空教 乙徑を以て式を求む

右の式小依て善術を施すたの如し



式例比	
乙	甲
丙	乙















別術第三

小巾 大巾 空敷 弟術小仍て求る 右右小是を上げ但し左正負を及る

小巾 大巾 大巾 左 右平方商左小余は

伏 右 大 小 大 右平方商お消

小 大 小大商 精空敷

小径平方商を消る式を求む 大 大商 式法廉各負実正由へ第十

等顆術の如く實へ廉を消 大 左法を半して 大商 右は是を合 大

左を加へ 大 通分内子して 大五 平方小引して 大五 内右を引消る

大商 小径平方商と左是を合 大五 小径と左同加して

大六 大五 小径あり是を變して 大五 小径あり是小依て等術を能

大六 大五 小径あり是を變して 大五 小径あり是小依て等術を能

大六 大五 小径あり是を變して 大五 小径あり是小依て等術を能

大六 大五 小径あり是を變して 大五 小径あり是小依て等術を能

これハ初術の如く故是を略し

まて一係の術踏小依て等術を能と此ハ迂をあると何う 迂とは

多きを故變をを別術教件を求め其中簡ある術を撰みて

善べし 簡術とは是割の 術文ハ長きを厭はば是割の次牙よく讀

安きやうふとるがよし

今東西の村あり合六百石東村ハ取米二百拾六石西村ハ取米九拾六石あり但し

東村の免より西村の免ハ二ツ下りありて東西兩村の免各何程と同

各東村免六ツ 西村免四ツ

一算を命して 東免 西免 東村言あり 西村言あり

東西村言合 東免 西免 合言と左取小余は 合言 お消

東免 西免 合言 空敷編割する教をを 但し東免と西免を

東免 西免 合言 空敷編割する教をを 但し東免と西免を

大分金屋抄 百十四



① 西免 ② 東免 ③ 西免 ④ 東免 ⑤ 合言 ⑥ 東免 ⑦ 西免 ⑧ 合言 ⑨ 東免 ⑩ 西免 ⑪ 合言 ⑫ 東免 ⑬ 西免 ⑭ 合言 ⑮ 東免 ⑯ 西免 ⑰ 合言 ⑱ 東免 ⑲ 西免 ⑳ 合言 ㉑ 東免 ㉒ 西免 ㉓ 合言 ㉔ 東免 ㉕ 西免 ㉖ 合言 ㉗ 東免 ㉘ 西免 ㉙ 合言 ㉚ 東免 ㉛ 西免 ㉜ 合言 ㉝ 東免 ㉞ 西免 ㉟ 合言 ㊱ 東免 ㊲ 西免 ㊳ 合言 ㊴ 東免 ㊵ 西免 ㊶ 合言 ㊷ 東免 ㊸ 西免 ㊹ 合言 ㊺ 東免 ㊻ 西免 ㊼ 合言 ㊽ 東免 ㊾ 西免 ㊿ 合言

西村免を解

空殺

東免

免下り

西村免あり

西村免を解ハハ免西村免を並

是ハ東村取米ハハ

①を解ハハ

亦西村免を並

是ハ東村免と

合言負を並

解ハハの如ク

右解ハハの①②③合言精空殺

を解る後皆是ハ免下り

右の式おまねく通合言を以て別

東免 合言 免下り

西免 合言 免下り

合言 免下り

西免

東免 合言

精空殺

右式実原者負法ハハ第九等顯樹の如く實へ廉をを

東西取和 免下り

右は是を合内たを引平方小用き右を加へ東村の免を解る之

是ハ依て善術を施とたの如ク

樹田東村取米二百十を並免下り二ツをうけ言六百を以て別〇個〇七たと

東村取米二百十を並西村取米九十を加へ言六百を以て別免下り二ツを加へ

是を半して〇個三右は是を合内たを引〇個〇六平方小用き〇個二

右を加へ東村の免を解り同小合以

今上田言二十七石五斗下田言二十二石阿りけ石盛合二十又上田及別より下

田及別ハ七及多一上田及別何種と同

答曰上田及別二町六反

一等を命じて上反別と以上言上田石盛と以下言下田石盛と以上反別











甲 全言 全言ありたふあり 全言 お消

甲 金割 空殺 全言をほる式を求む 甲 割

右の式小依て善術を施とたの如し 但し甲ハ初年の言さあり

御田初年の言一を並衰割を以て割全言をほて同小言

今上下米各又格石宛買並あり只云令一兩小上米より下米ハ二斗五升安し  
上米代令と下米代令の長十兩して上下米各令一兩小何種と同

答曰 令一五小 上米一石 下米一石二斗五升

一等を命して 上おと下 全一五の上米おと下を 一石 下米代令あり

石殺 上お 上米代令あり内下米代令を引 石殺 下お 代令長ありたふあり

代長 お消 石殺 上お 下お 空殺 割とる殺上お場と下お場をを

石殺 下お 石殺 代長 空殺 上お 安米 下米お場あり

下米相場を解

上米相庭をほる式を求む

精空殺

け式安米と代令長を別 石殺 代長 安 定式

定式の安 石殺 代長 へ廉 安 をを 石殺 代長 右と下

是をを合たを加へ 三斗五升 石殺 代長 平方小引と内右を引 平方商 五斗 廉 安

あて割 平方商 五斗 上米お場あり

是小依て善術を施とたの如し

御田石殺 石 五斗 を並代令の長 十 少と割亦安き 二斗 少と割 二十 個をほる二分五升を

加へ平方小引と内 五斗 肉五分を引御安き 二斗 五升 をを令一兩の上米をほて同小言

今玄米あり其石殺を去る只云因耗小卷ハ白米二十石六斗五升

又云外耗小卷ハ白米二十石あり内外卷耗の割各同一卷耗の割何種と同











大巾 中商 小商

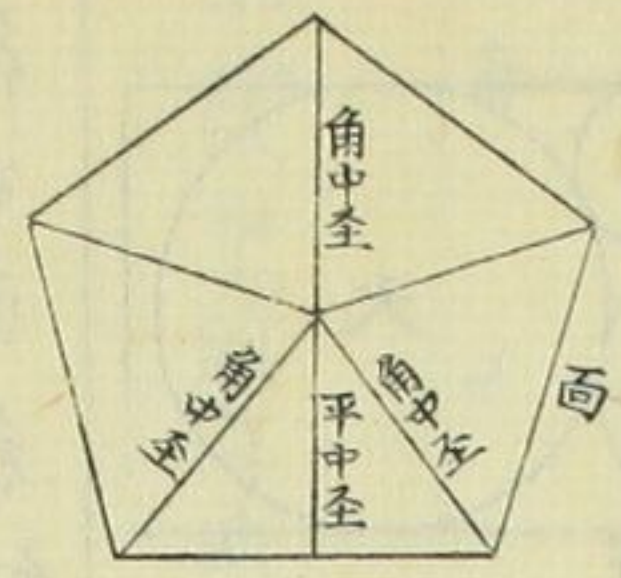
空殺遍大径を省く  
空殺左右小径を引

大巾 中 小巾  
左右各を合  
お消  
精空殺

小径を引る式を求む

大巾 中  
此式小依て着形を施とたの如し

緋日大径十二寸を並を合中径以候を以て別小径を引て同小合候



今五角あり図の如し面一寸角中径何程と同  
答曰角中径八分五〇六五余

一等を命て  
前比例小依て  
角中至 子と尺  
二斗

例比前	
面半	子
二距斜	角中至

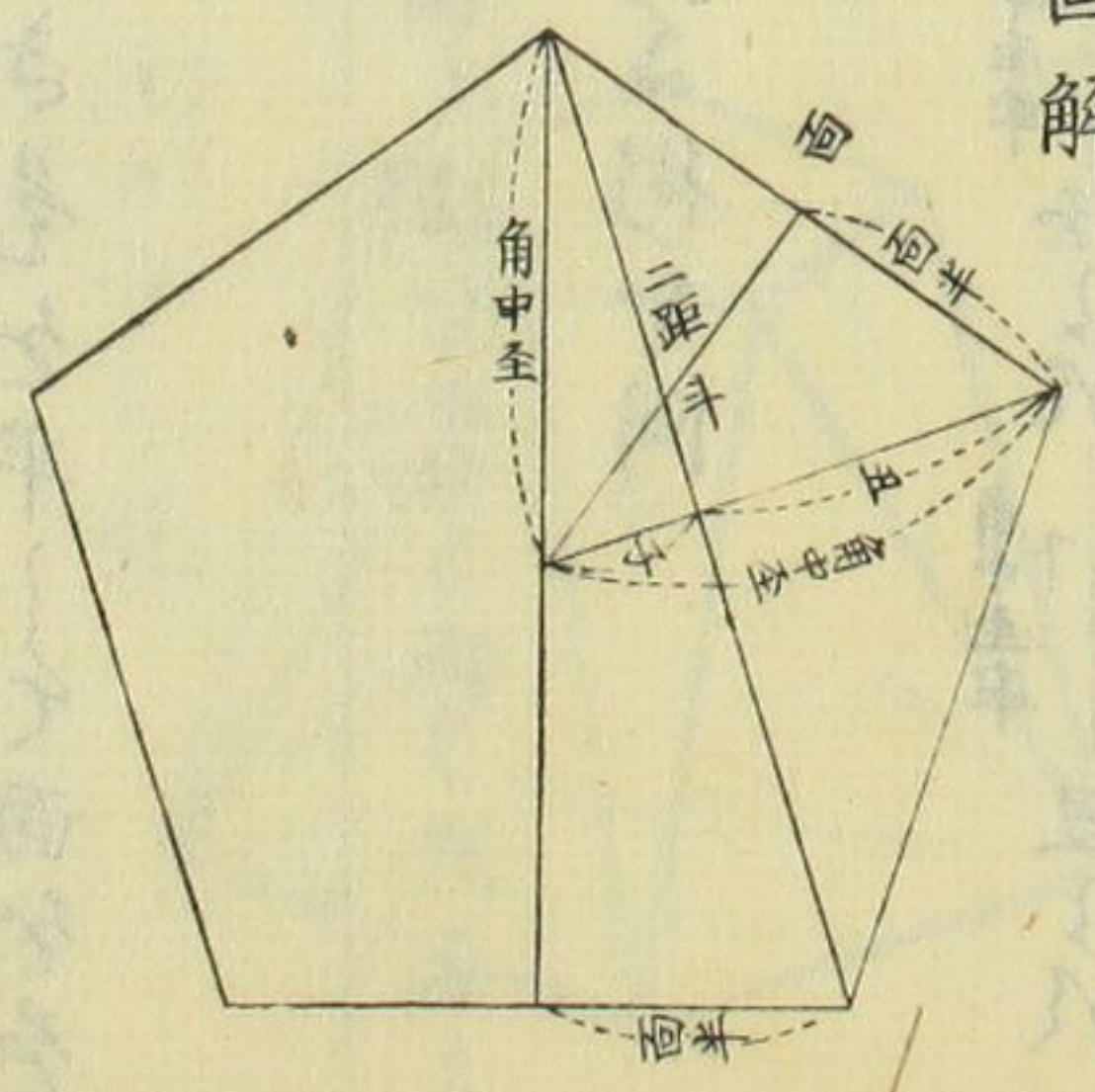
例比後	
面	面半
角中至	角中至

後比例小依て

面巾 角中至 丑と尺是へ子を加へ

圖解

面巾 角中至 面巾 角中至 面巾 角中至  
 角中至 二斗 角中至 二斗 角中至 二斗  
 斜を引 空殺 空殺 空殺 空殺 空殺



二距斜あり 是を以て右の空殺二距斜を斜

空殺遍面半を省き五個高を以て別二のを刻を補

面巾 角中至 空殺

八分あり平方小開き 八分高あり

力已

百十二



面中 ① ② 角中至率 精空教

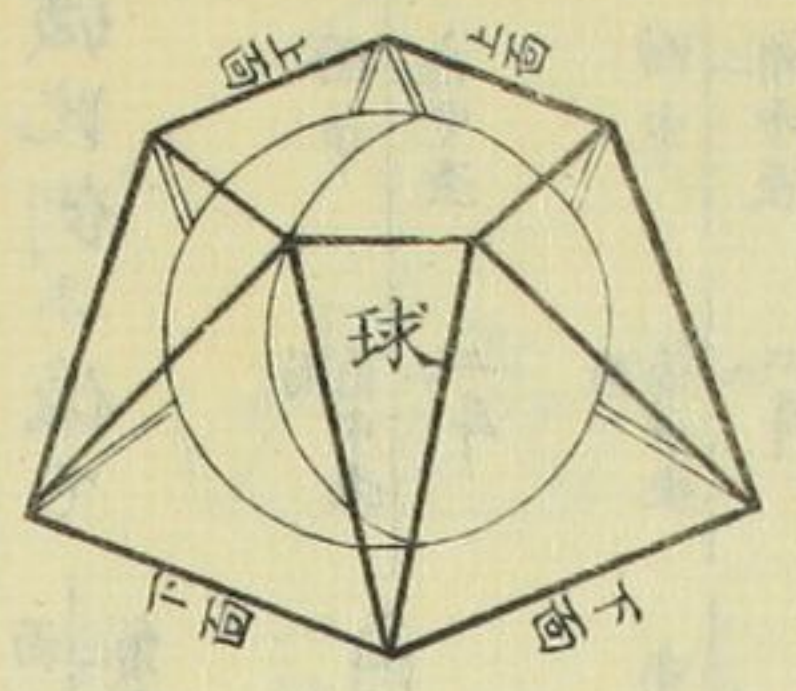
角中径をほる式を求む

面中 〇 — 故 面中 角中径穿あり内面半穿を引

面中 〇 — 故 面中 平中径穿あり

是小依て善術を施すたの如し

彬日八分を並平方小用し二個を加へ平方小用き乞を半して面を平  
角中径をほる同小合以



今又角彬密の内小充て圓の如く球を容るあり只云上  
面若干下面若干球径をほる彬を同  
答曰左彬の如し

一算を命じて 至 とい 平中至率 子とい 角中至率 丑とい

子二候を並丑二候を

球径穿あり 彬小詳あり

圖解

八分商 二 角中径率穿以候あり

八分商 平中径率穿以候あり

是を以て ① を變以 ② ① あり

是を以て ① ② あり

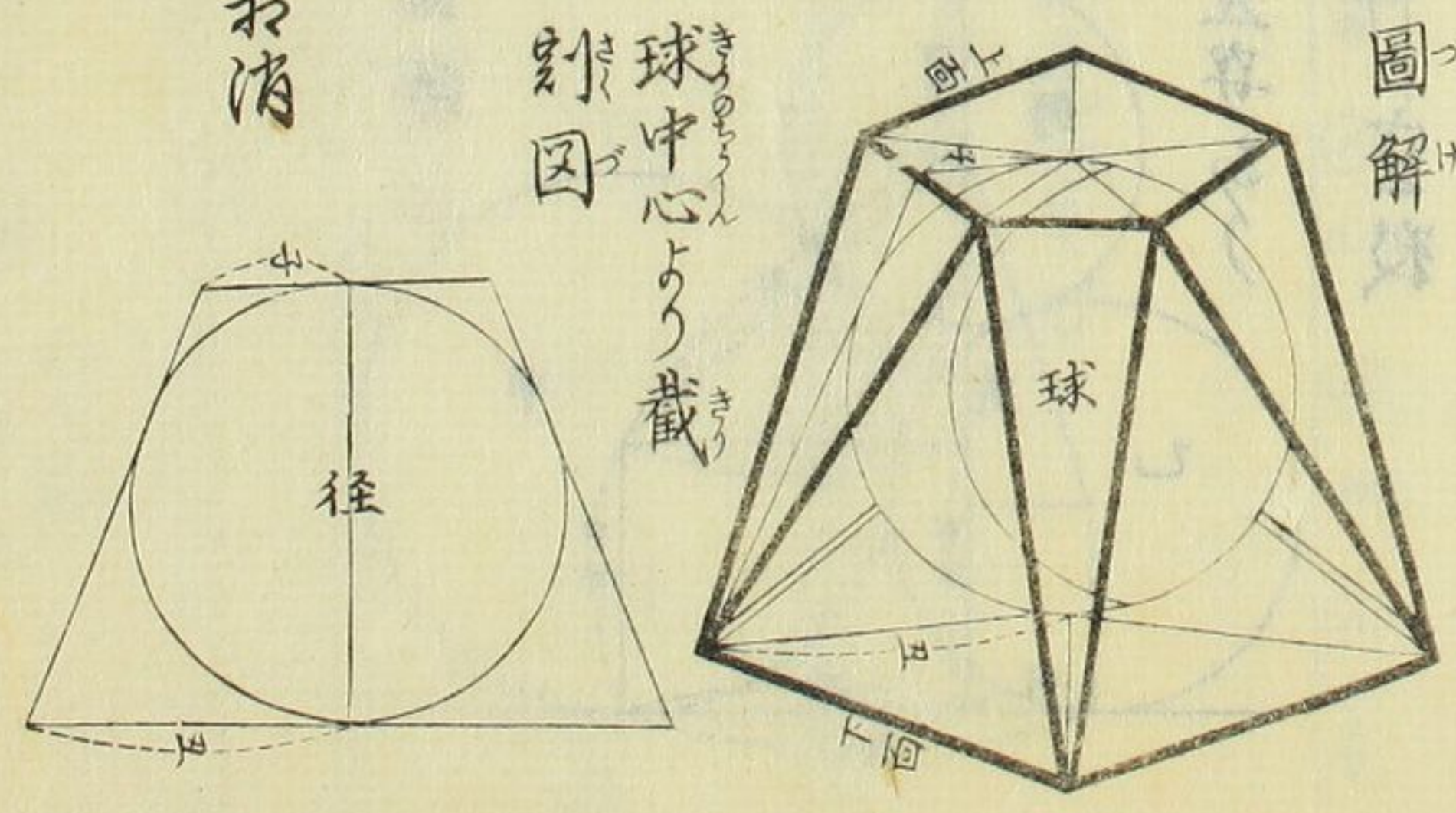
一々八分 八分 あり平方小用き 一々八分商 八分商 二

是を以て ① を變以 ② ① あり

是を以て ① ② あり

平方小用き 一々八分商 八分商 二

球径穿を解 球径穿ありたふ事以 至中 お消



球径をほる式を求む 是小依て善術を施すたの如し

彬日一個八分を並平方小用し一個を加へ上面を平亦下面を平平方小













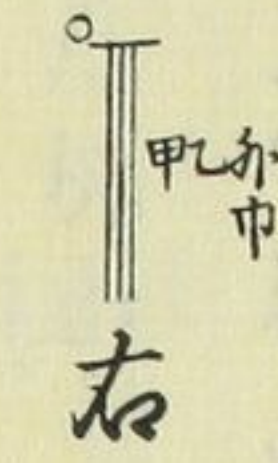


丸右各を合  
 子中 子中  
 子穿と子穿を解  
 外甲乙 甲外乙  
 丸小差凡

右穿  
 甲乙中 甲乙中  
 甲乙外 甲乙外  
 乙甲外 乙甲外  
 甲外中 甲外中  
 甲乙外中 甲乙外中  
 乙外中 乙外中  
 乙外中 乙外中  
 お消

異減同加  
 甲乙中 甲乙中  
 甲乙外 甲乙外  
 乙甲外 乙甲外  
 甲外中 甲外中  
 甲乙外中 甲乙外中  
 乙外中 乙外中  
 空殺  
 甲乙外中 甲乙外中  
 補殺

丸右是を分る



甲乙中 甲乙中  
 甲乙外 甲乙外  
 乙甲外 乙甲外  
 甲外中 甲外中  
 甲乙外中 甲乙外中  
 乙外中 乙外中  
 丸 乃正負を反凡

丸右各平方小印凡

甲乙外 甲乙外  
 商商 商商  
 甲乙 甲乙  
 外外 外外  
 右平方商お消  
 丸平方商丸小差凡

是を變へて  
 甲乙 甲乙  
 外外 外外  
 甲乙外 甲乙外  
 商商 商商  
 茶空殺  
 甲乙外の三箇小依て空殺を求る  
 理と乙丙外の三箇小依て空殺を  
 求る理と全同故茶空殺甲徑を

後空殺  
 丙乙 丙乙  
 外外 外外  
 丙乙外 丙乙外  
 商商 商商  
 變へて丙徑と後空殺をほるあり

茶空殺へ丙徑をよて後殺の内後空殺へ甲徑をよて後殺を引

異減して遍外径と  
 甲乙 甲乙  
 外外 外外  
 甲乙外 甲乙外  
 商商 商商  
 丙乙外 丙乙外  
 商商 商商

乙徑商を消  
 乙丙 乙丙  
 商 商  
 甲乙 甲乙  
 商 商  
 乙甲 乙甲  
 丙乙 丙乙  
 商 商  
 是を括る  
 甲乙 甲乙  
 商 商  
 甲乙丙商和 甲乙丙商和  
 甲乙丙商差 甲乙丙商差  
 遍甲商丙

商の差を消  
 甲乙 甲乙  
 商 商  
 甲乙丙商和 甲乙丙商和  
 甲乙丙商差 甲乙丙商差  
 甲商丙商の和を解  
 甲乙 甲乙  
 商 商  
 丙乙 丙乙  
 商 商  
 甲丙 甲丙  
 商 商  
 精空殺

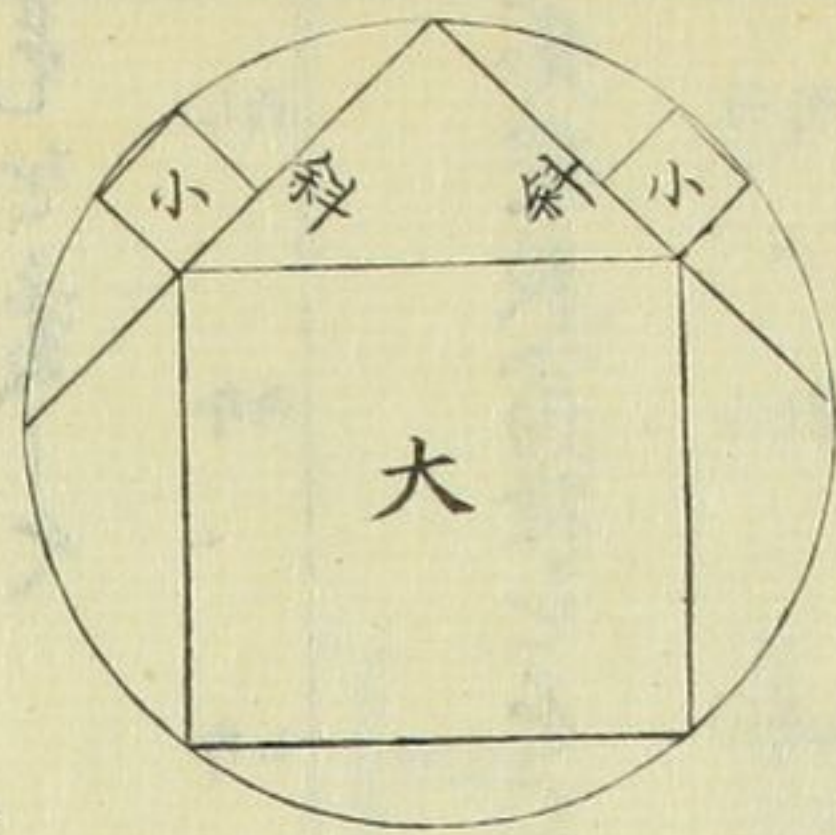
乙徑商をほる式を求む  
 甲丙 甲丙  
 商 商  
 乙丙 乙丙  
 商 商  
 甲乙 甲乙  
 商 商  
 丙商 丙商  
 け式遍丙商を以て別丸の如く



甲商 二商 丙商 法を以て実を割 甲商 乙径商と凡是を合 甲 乙径あり

是小依て若樹を施るたの如し

御日甲径を並丙径を以て割平方小即ち一一個を加へ是を合以て甲径八  
径を割乙径を以て同小合以

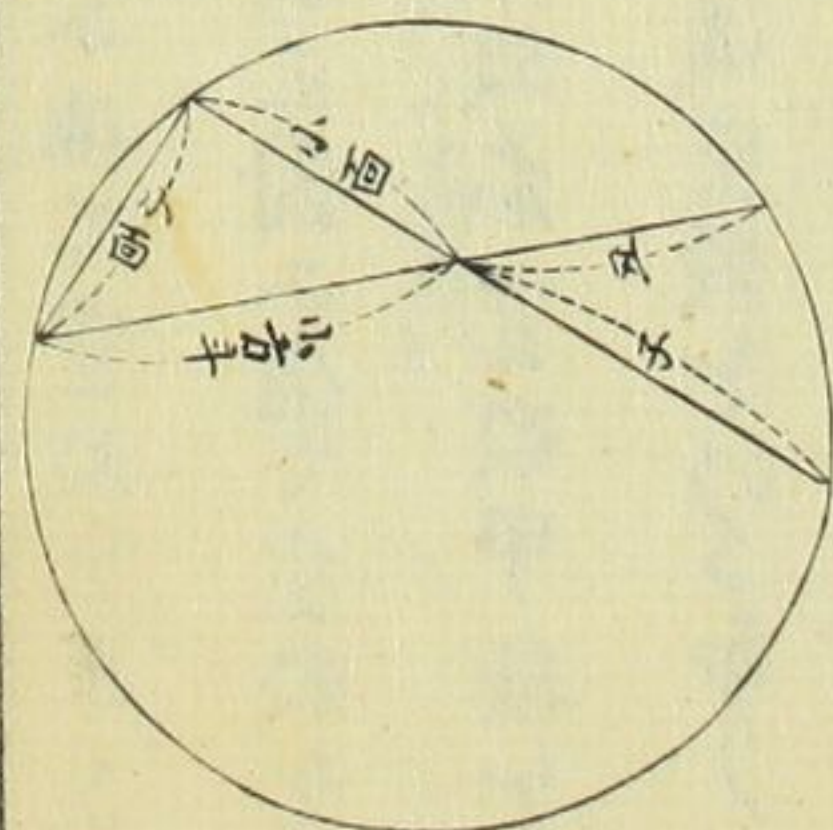


答曰大方面三寸

今園内小園の如く斜を隔て大方一個小方二を容  
何れ乃各方の能ハ外周二割と  
隣方の角一割小切以 只云外径五寸大方面  
何れと同

一等を命して 大面 と凡  
比例小依て 小方斗 子と凡

式例比	
小方斗	小面
子	丑



小方面

小方斜あり是を以て子を解 子ありけうこちを視る小

子ハ丑を方面としてゆる所の方斜あり故右題小方の斜ハ大方面と  
平形一垂線をあはれん成知る是小依て圓解ををよく

大面 二 甲あり

式例比	
大面	甲
二	大面
乙	二

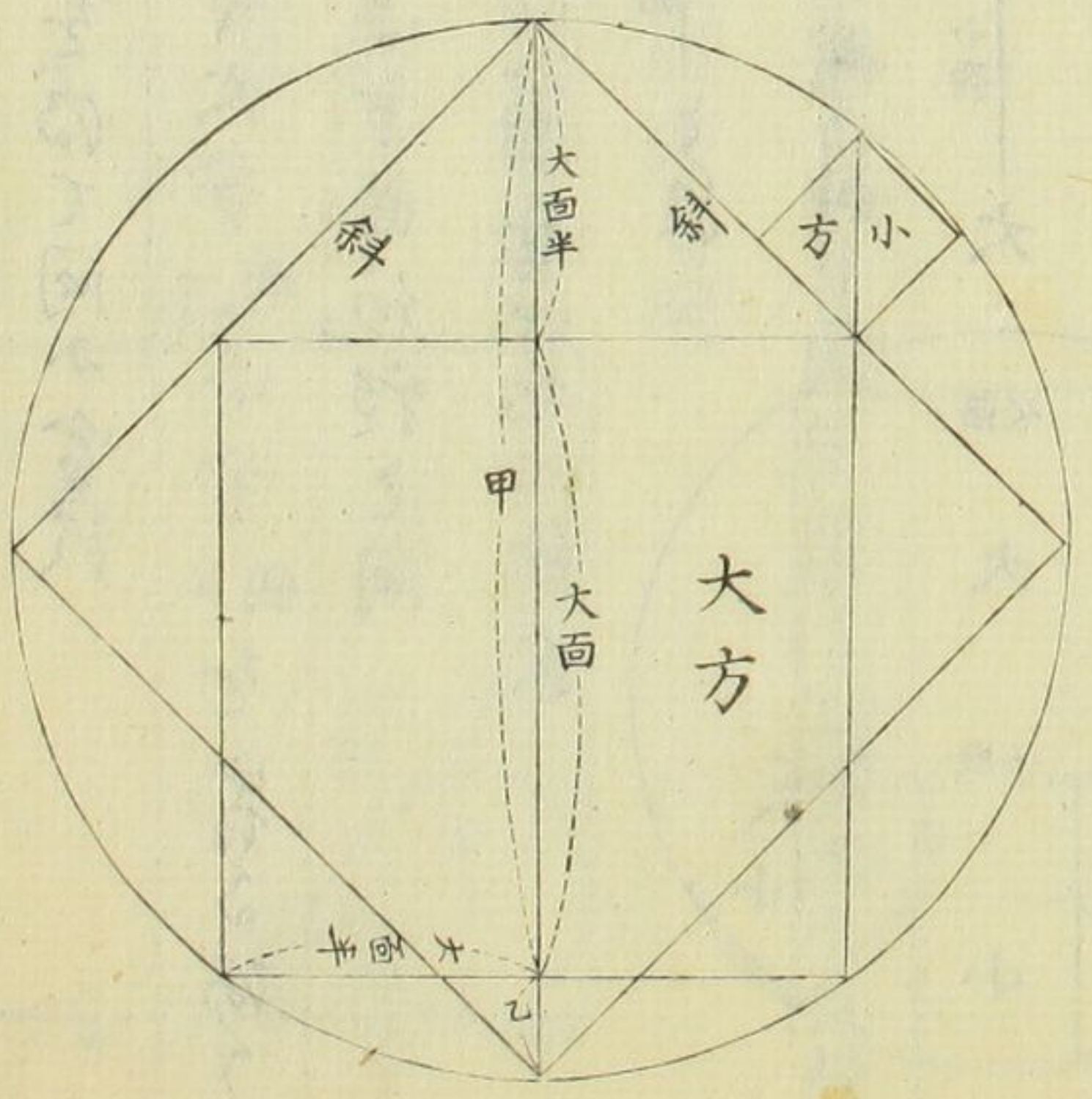
大面中 乙あり甲を解 大面 乙あり甲を

加へ 大面 三 外徑あり通分内子と

大面 三 外徑ありた小寄以 外 お消

外 大面 三 空殺

大方面をゆる式を求む 外 法を以て実を割 大方面あり是を

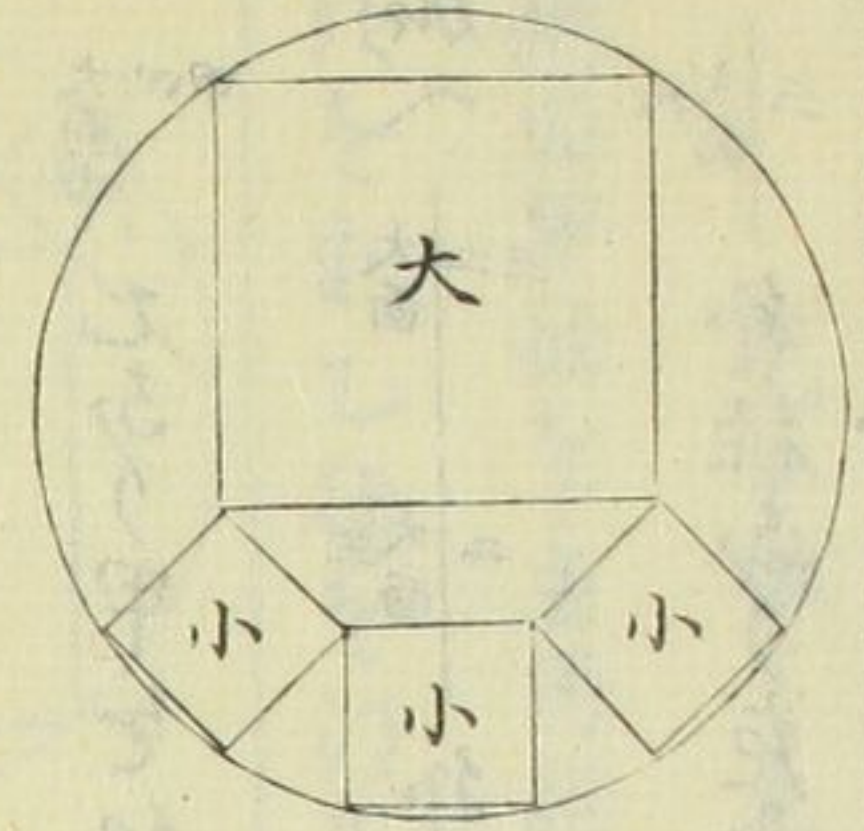


大方面あり

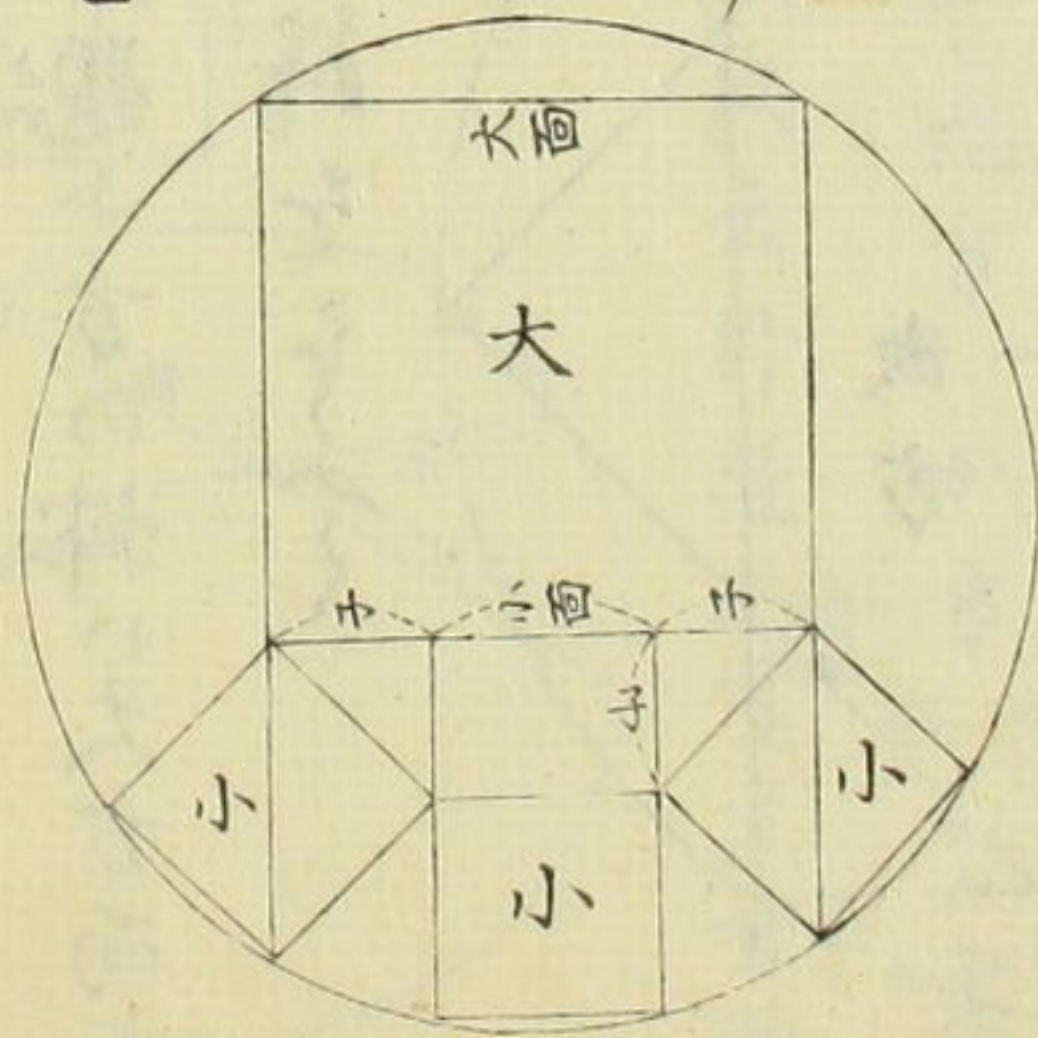
大方面あり



爰して如分大方面あり是小依て善術を施とたの如く  
術日外徑を並六分をりけ大方面を以て同小合以

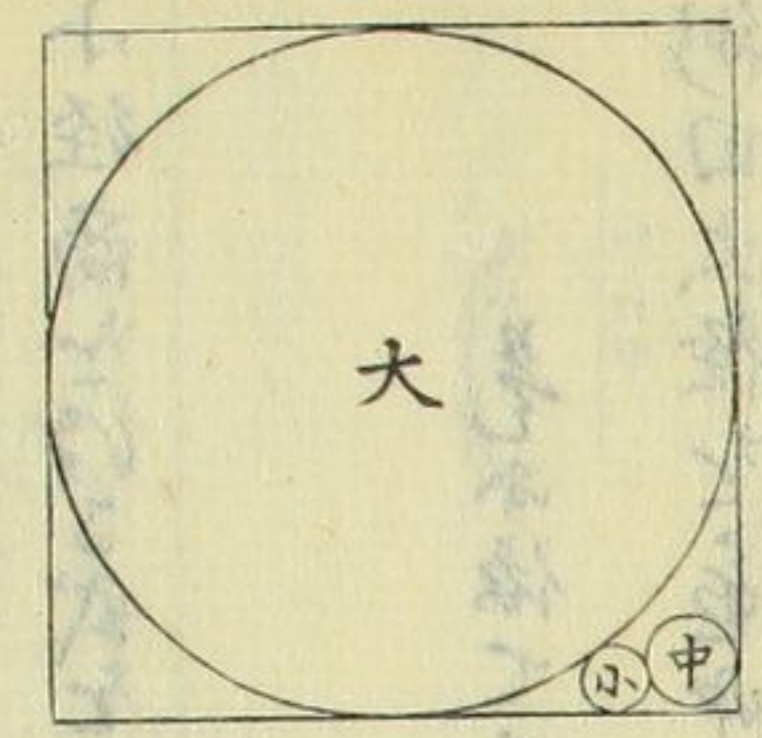


今園内へ圖の如く大方一個 小方三個を容るあり  
只云大方面一寸小方面何程と同  
善日小方面四分一厘に毛二線余  
一算を命して 小面 と以



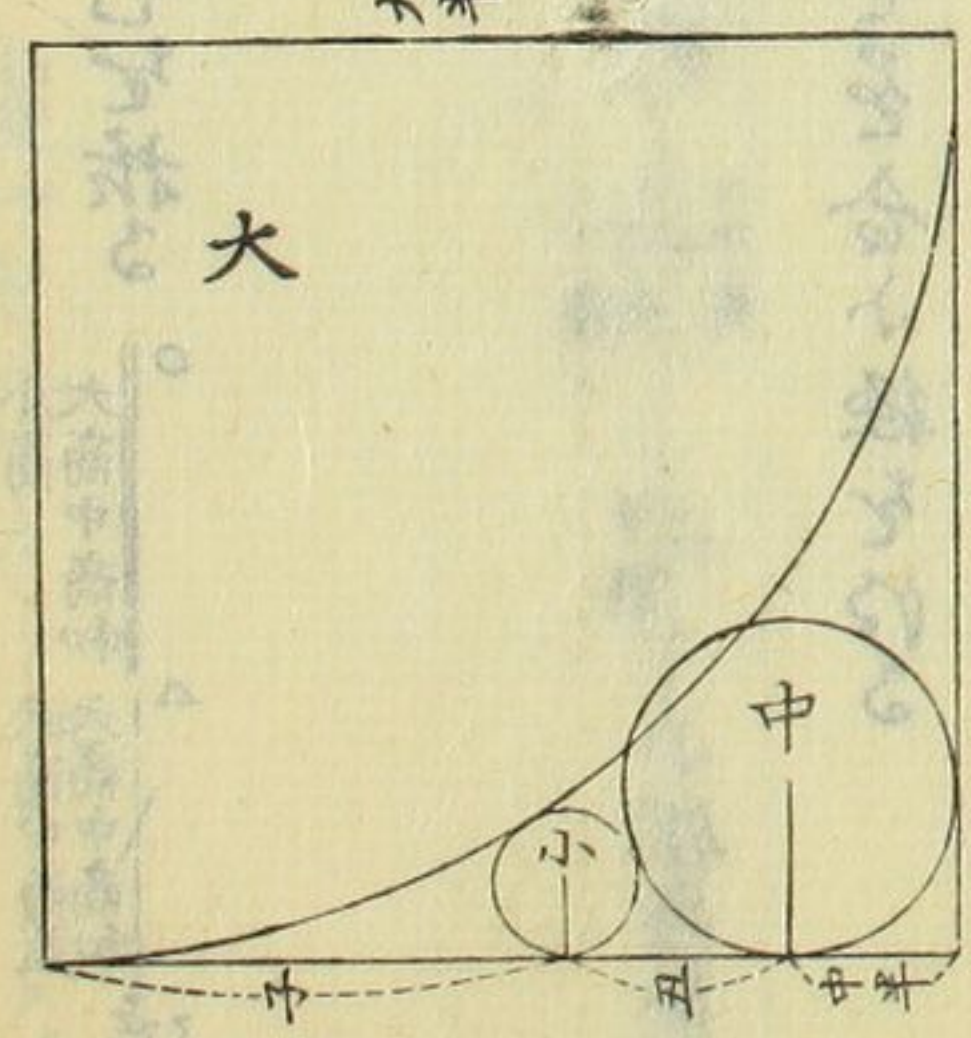
大方面と小方斜一直線ちりを以て術術の如く  
子二股あり小方面を加へ 小面 小面 大  
方面ありた小合以 大面 お消  
空殺遍 二ヶ商 小面  
大面 大面 大面 大面 大面 大面  
異減して 小面 大面 大面 大面 大面 大面  
精空殺

小方面を以て式を求む 大面  
是小依て善術を施とたの如く  
術日二個を並平方小依て内一個を引差大方面を以て同小  
合以



今方の内へ圖の如く大中小の三圖を容るあり只云大徑  
十六寸中徑四寸小徑何程と同  
善日小徑一寸 圖解  
一算を命して 小面 と以

子と丑を解 大商 中商 中  
子あり 中商 丑あり 詳あり  
大徑半あり是を倍して  
大徑ありた小合以





大 小消

小商 中商

中 大

空教是を括る

小商 大商中商和 大商中商差

通

大商中商の和を省き

精空教

小径商をほる式を求む

大商 中商

法を以て実を割

×中商 大商

中商

小径商あり

但し×平小 補教あり 是をを合小径をほる

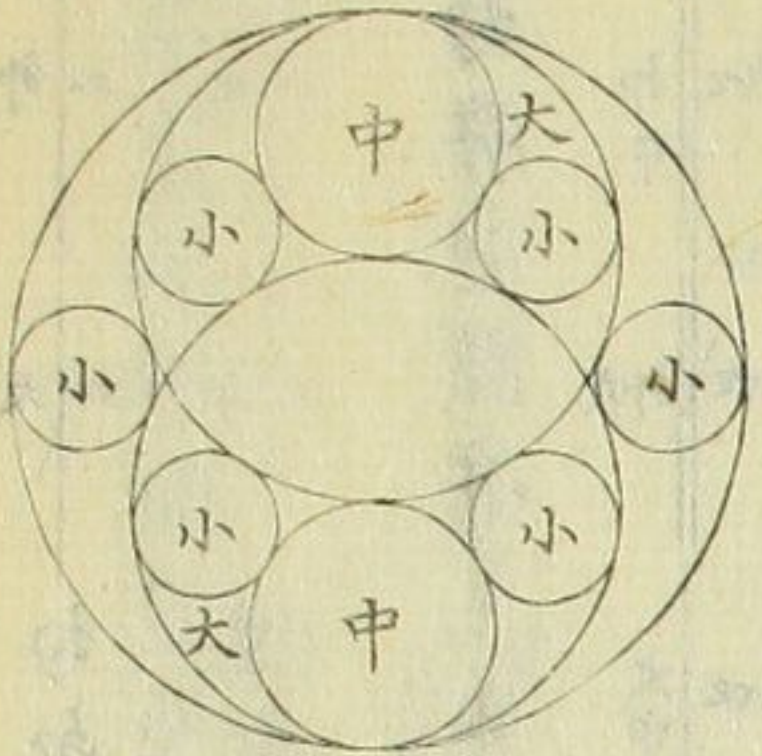
是小依て善術を施すたの如し

術曰大径を並中径を以て割平方小即ちき内一個を引残是を半して 是をを合中径をうけ小径をほて同小合は

今三斜あり大斜十二寸中斜十三寸小斜四寸長股何れと同

善曰長股十二寸六分

一算を命して 長股 とは 中斗中 長股中 中勾専とは是を以て小斜専の

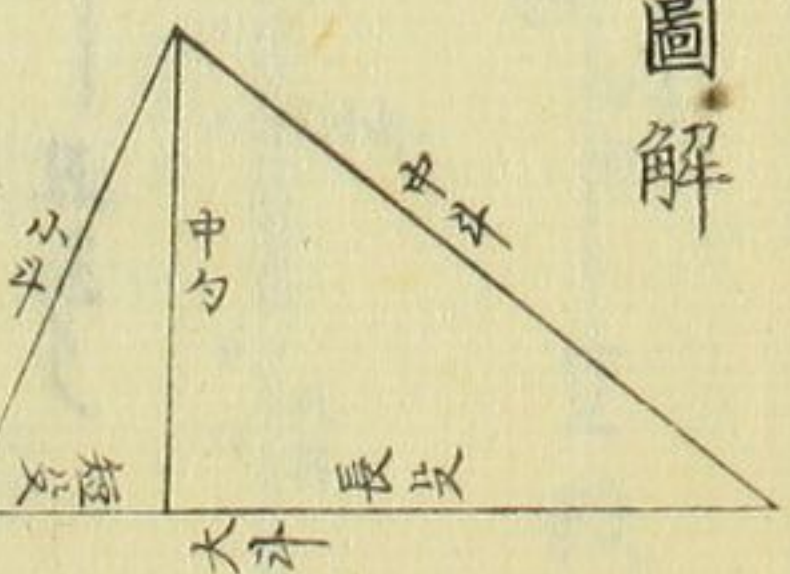


今園内小園の如く大中園 各二 小園 六 を容るあり外 径六寸小径何れと同 善曰小径一寸 一算を命して 小 とは 虚一を命して 大 とは

内より引 小斗中 中斗中 長股中 短股専とはた小専は

圖解

大斗 長股 短股専とは是をを合 大斗中 長股大斗 長股中 短股専とはお消 小斗中 中斗中 大斗中 長股大斗 空教



是小依て善術を施すたの如し

術曰大斜専中斜専お併内小斜専を引残大斜 二 を以て

別長股をほて同小合は







筋空殺大径二股を内再後空殺を引

径をもちえ 精後空殺

大径をほる式を求む 法を以て実を別 大径あり

是を以て筋空殺大径を解

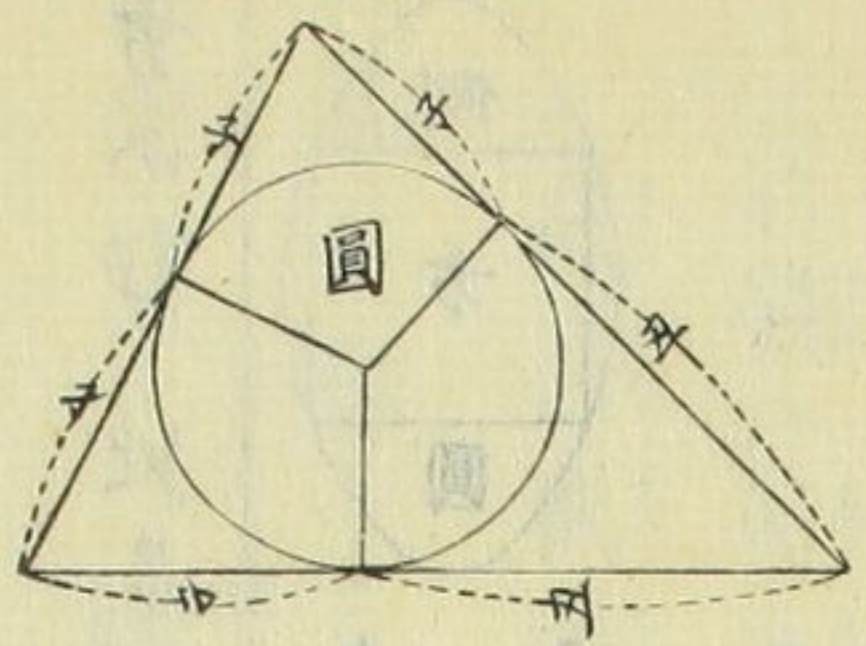
外 外中 外小 三 遍三を差異減同加して外径をえおく

精筋空殺

小径をほる式を求む 是小依て差術を施とたの如く

樹日外径を並みを以て別小径をほて同小合は

今三斜の内へ圓の如く圓を容るあり只云子若干丑若干寅若干



図径をほる術如何と同

答曰た術の如く

一算を命て 至とて

大斜あり

中斜あり

小斜あり

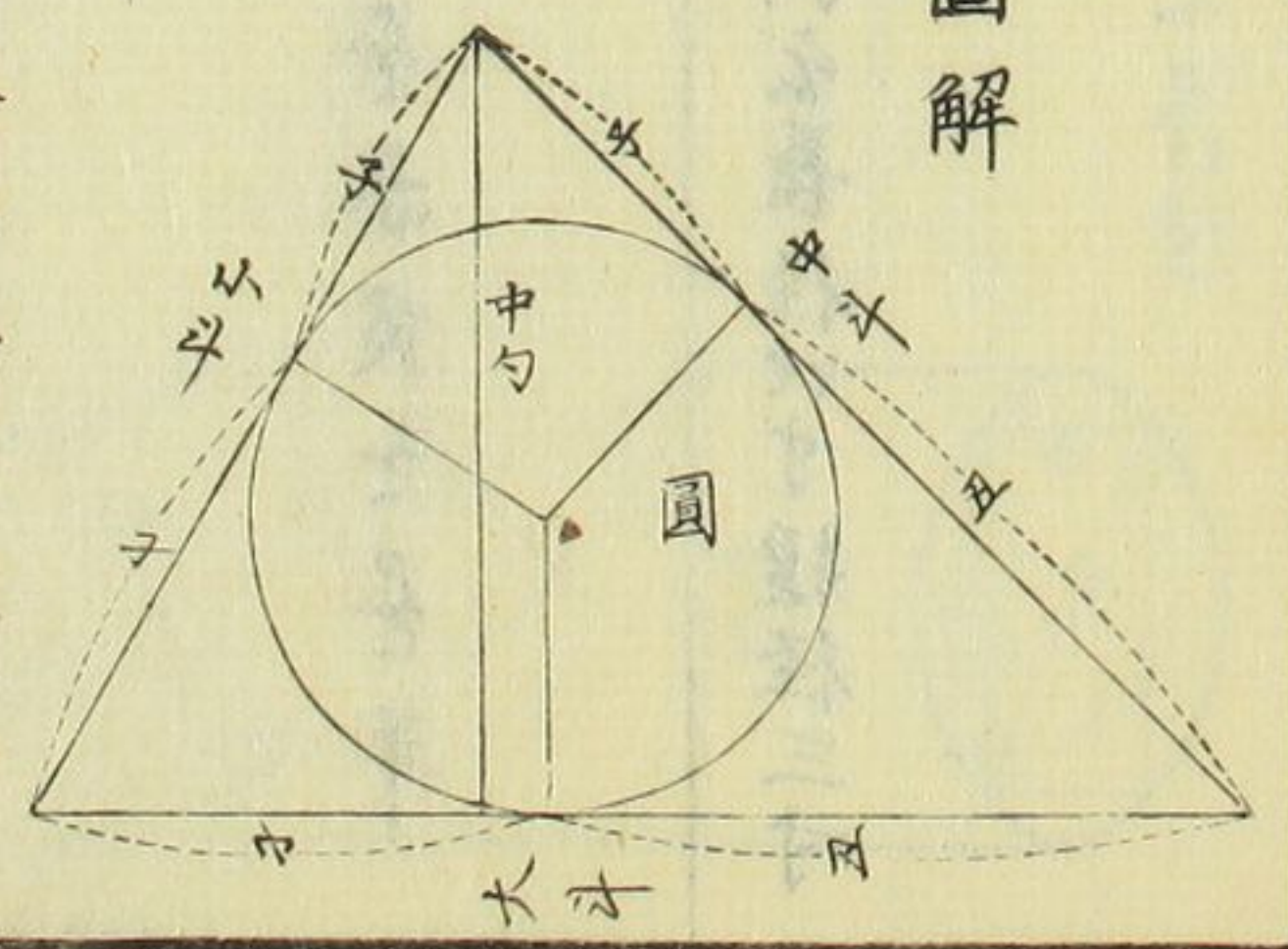
長股あり 大斜中斜小斜を解

長股あり 中勾あり大斜母を

三斜積母に候あり大斜中斜長股を解

三斜積母に候あり是を括る 積母に候平方小

圖解





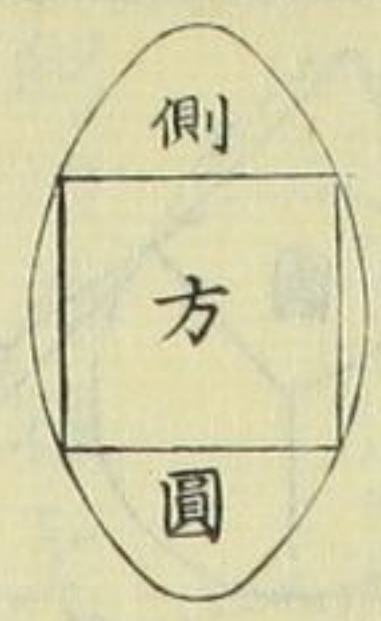
三斜積二辰ありた小寄以  $\frac{子丑子}{子丑商}$  三斜の和あり圓徑を

是是を半して  $\frac{子丑子}{子丑商}$  三斜積二辰ありお消通子丑子の和商をたぶら

空敷  $\frac{子丑子}{子丑商}$  圓徑をほる式を求む  $\frac{子丑子}{子丑商}$

是小依て善術を施すたの如し

彬日子を並且と寅を加へ是を以て子を割且を是亦寅を是平  
方小切ら是を倍して圓徑をほて同小合以



今側圓の内へ圓の如く方を寄るは只云長徑四寸短徑三寸  
方面何れと同  
答曰方面二寸四分

け類ハ圓博の内小充て直堡博を寄て斜小是を  
截其截面のこちあり下圖の如し

一算を命して 面 とは

比例小依て 長<sup>面短</sup> 子あり

子身面身おあへ  $\frac{短中}{長中}$  短徑身ありた小寄以

お消  $\frac{短中}{長中}$  空敷

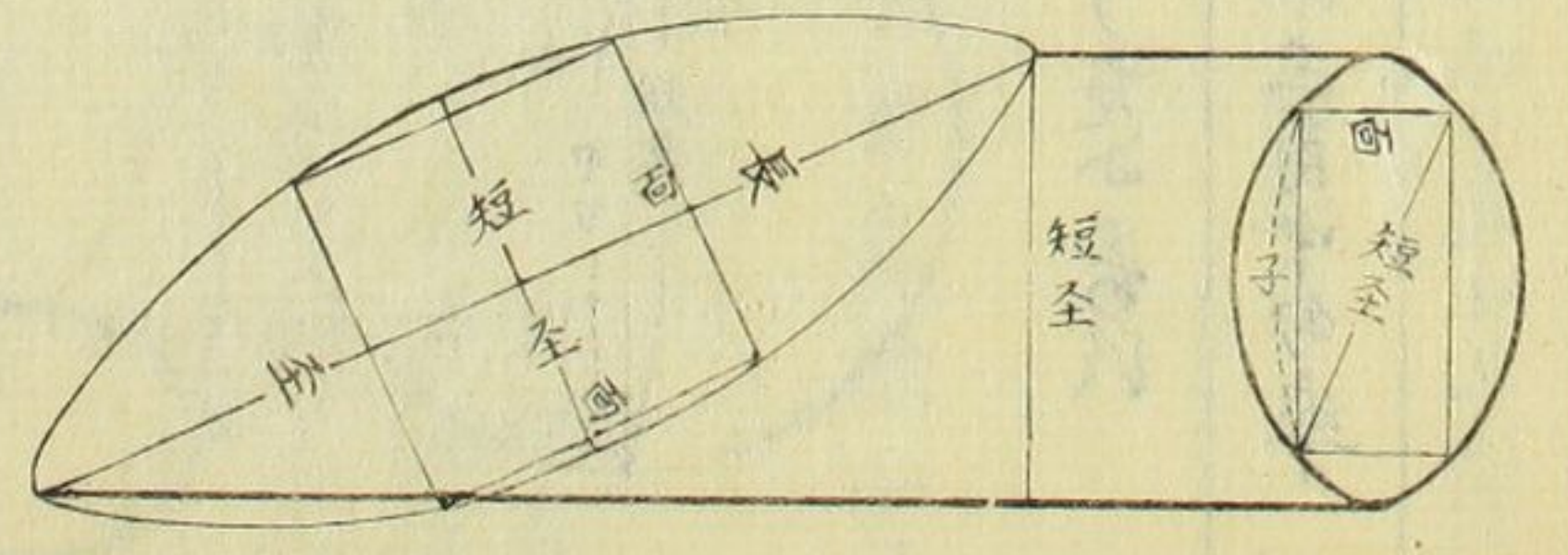
方面をほる式を求む  $\frac{短中}{長中}$  空敷

是小依て善術を施すたの如し

彬日短徑を並長徑を以て割是を是合一個を加へ平方小開き以て短  
徑を割方面をほて同小合以

今側圓の内へ圓の如く三角を寄るは只云長徑二寸短徑一寸三角面

比例式	
長	面
短	子

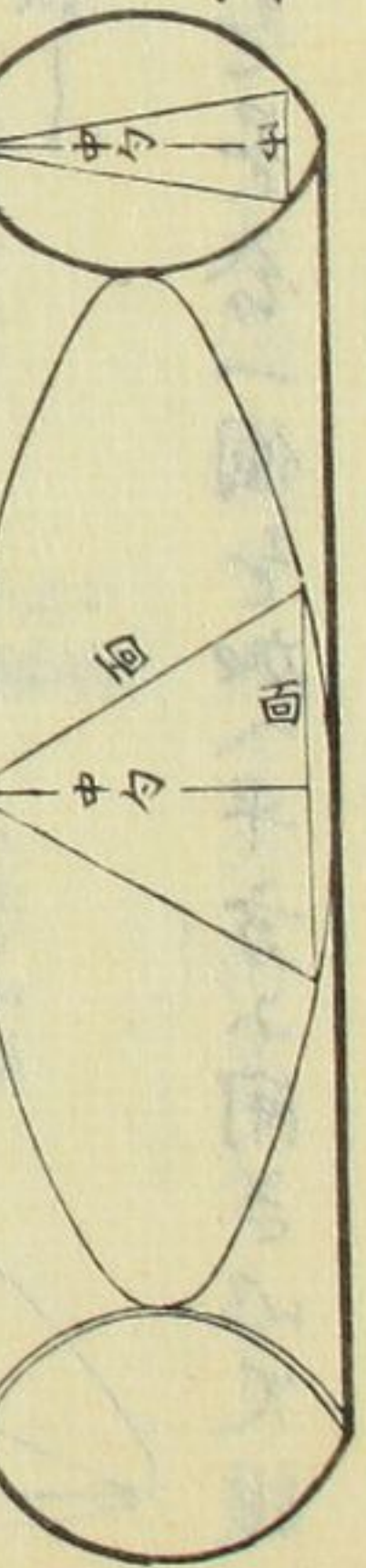




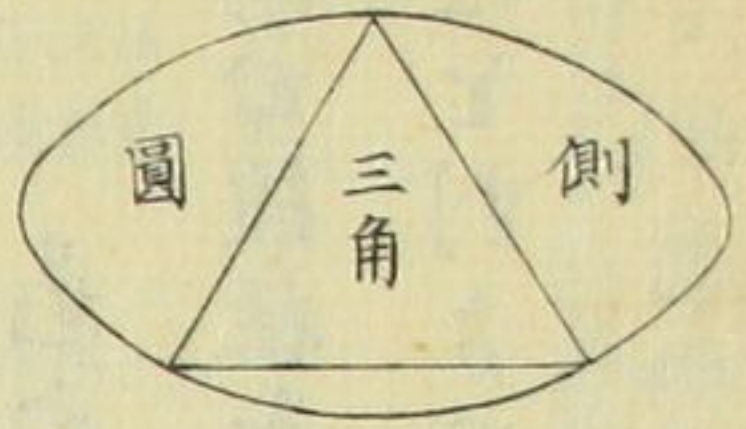
何れと同

答曰三角面一寸〇六五八七余

一算を命て面と長



中勾率 中勾あり

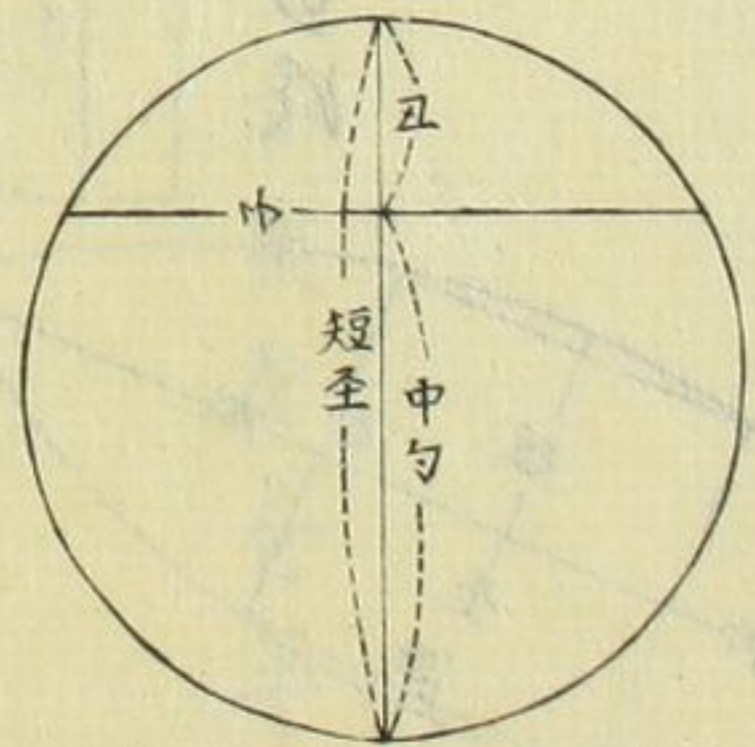


長面短 子あり 短 中勾 丑あり

丑を並申勾に法をうけ

中勾 子あり申勾を解

式例比	
丑	子半
子半	中勾



中勾率 子あり申勾率を解

子を並を合

長中 短中 子あり申勾率を解

三ヶ商 面 長中 短中

三ヶ商 三角申勾率 空殺

三角面をゆる式を求む

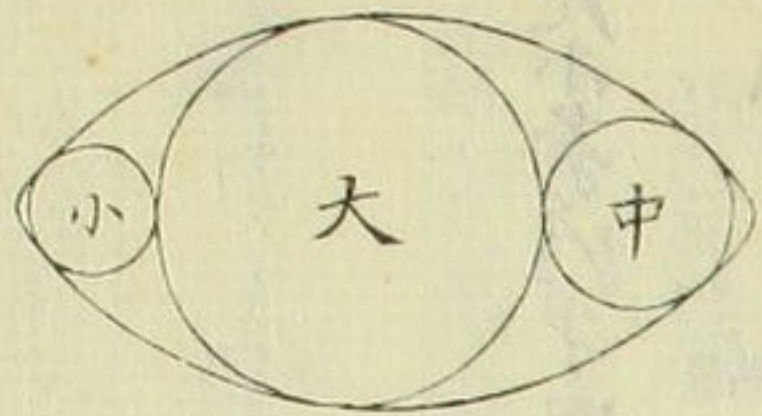
三ヶ商

短中

是小依て善術を施すたの如し

樹曰十二個を並半方小用短徑をを実と長短徑を並長徑を以て割是を合三個を加以て実を割三角面をゆる同は合は

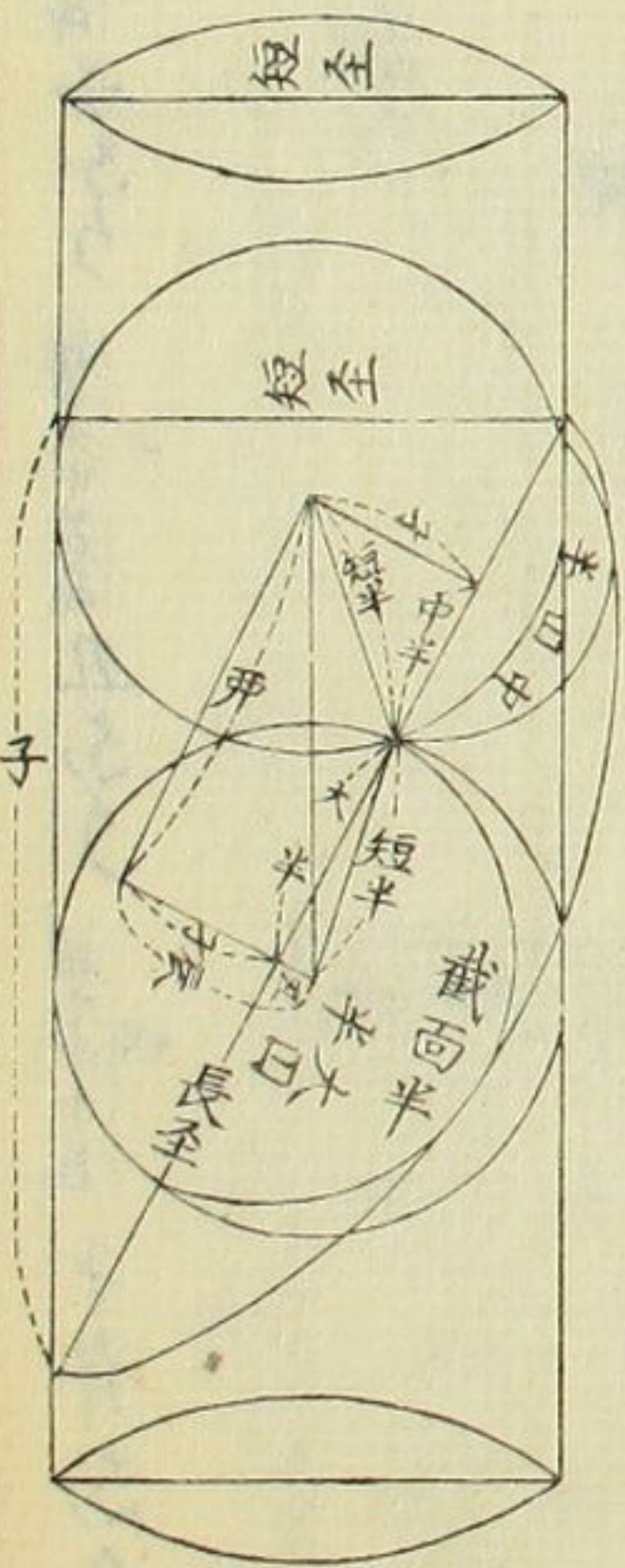
今側圓の内へ圓の如く大中小の三圓を容る 各圓周ハ側圓周二切を切り只云長十三寸短徑六寸大徑四寸中小圓徑各何程と同



答曰 中徑四寸 百六十九分寸 小徑〇寸 之百十六

圖解

此題ハ圓壺の内へ球三個を容て 斜小截所の截面あり下圖の如し





長巾短巾差商 子あり 短巾大中差商 丑あり 短巾中巾差 子昇あり

大中和 卯あり 比例小依て 子短 辰あり

辰 丑 子あり 是を合 辰中 辰 丑中 子昇あり

式例比	
辰	短
卯	子

大中小子昇を以てお消 辰中 辰 丑中 子中 空殺丑子辰を解

異減して卯を解大径昇と中 異減して卯を解大径昇と中

大中の和と比を省れ子昇を 大中の和と比を省れ子昇を

大中の和と和と子を解 大中の和と和と子を解

異減同加して 異減同加して

短巾 長巾短巾差商 大 長巾 中巾 精空殺

中径をゆる式を求む

短巾 長巾 大 長巾 大 短巾 長巾短巾差商 中径あり

短巾 長巾短巾差商 短巾大中差商

中径を括る

短巾 大 天甲差商 中径あり

小径をゆる理、中径をゆる理と 小径をゆる理、中径をゆる理と

全く同一故右の平方商の正負を反して小径と長

短巾 長巾 天 大巾 甲

解 短巾 大巾 是を括る

平方小依 天甲差商 即 短巾大中差商

解 長巾 短巾 是を括る

平方小依 天差商 即 長巾短巾差商 是小依て中径を括る



天大

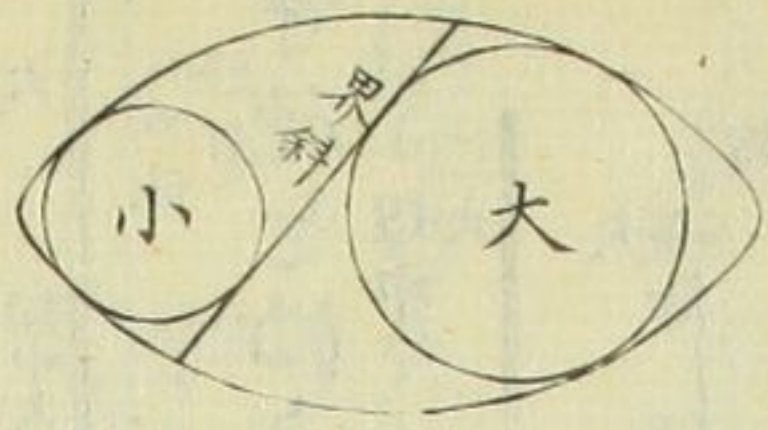
大

短  
天一差高  
天甲差高

小径あり

是小依て善術を施とたの如し

術曰短径を並長径を以て割是を合天と大径を並長径を以て割  
是を合以て天の内より引残り天と一個との差を平方小即ち短径を  
是を倍して地と天を並倍して以て一個の内より引残り大径を地を  
加へ中径をゆる内地二段を引小径をゆる同小合は



今側圖の内へ圓の如く斜を隔て大小二圓を容るあり  
界斜と小 只云長径十二寸短径六寸大径四寸小径二寸界斜  
何れと問

善曰界斜九寸一分

解曰圓境の内へ斜を隔て球二個を容て是を斜小截とて其截面顔圖の

象をあらあり

第一圓斜小仍て 天地和 界斜あり

亦 天地和 人あり故界斜と人と等き

そを知る按さる小人の界斜直立の

極あり 直立の極とは界斜上下球周を

切して圓境の内をゆるり終ふ円

境言と平 故上下球周小切して圓境

を費とて其費斜と人と等とゆあり

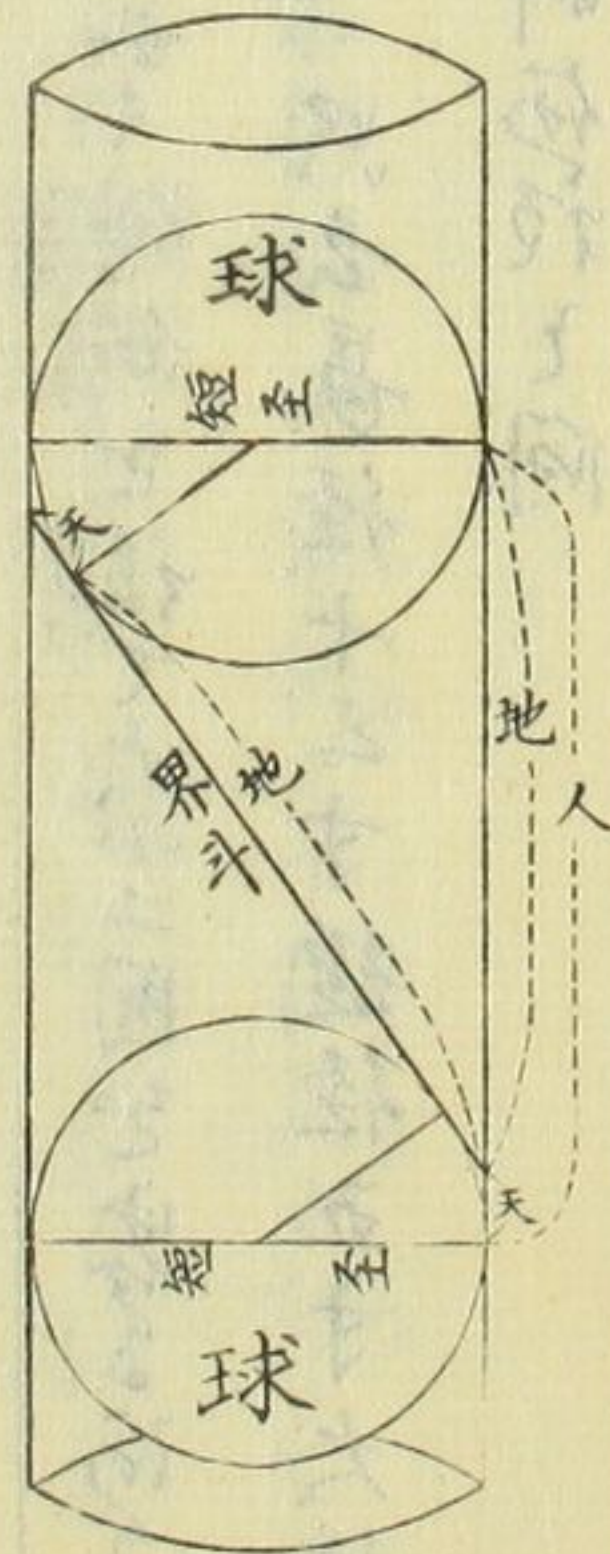
第二圓斜小仍て 但第一圓斜を

界斜上下球の截周小切して

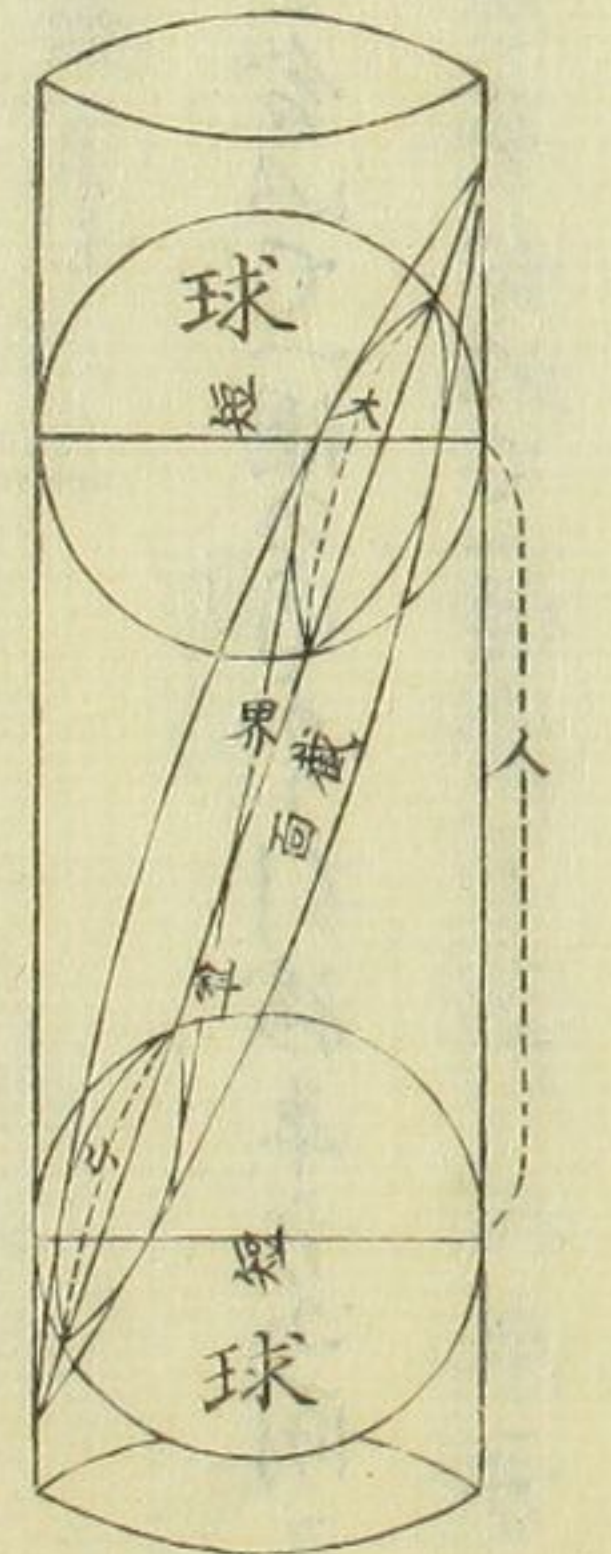
乃上下球周小切して 其截周即

大小圓の内あり故第三圓斜小

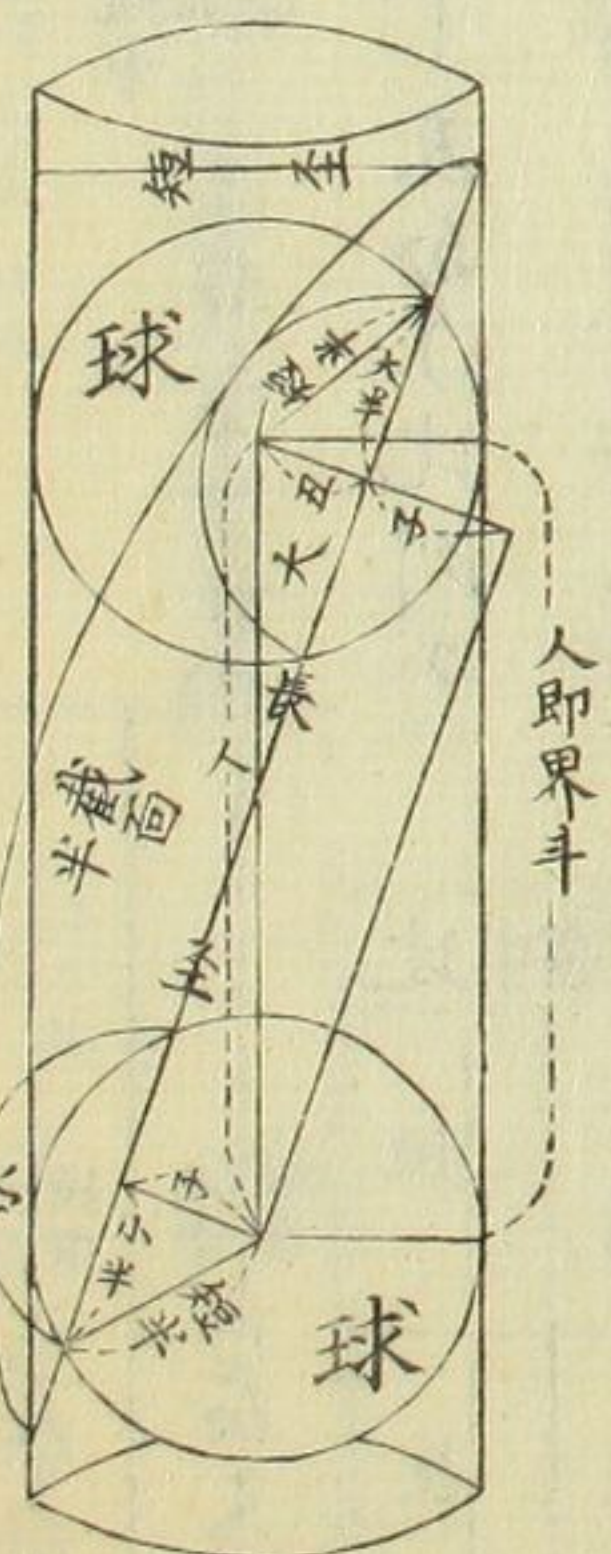
解圖一



解圖二



解圖三



大正屋去言

百三十四



依て人を求て界斜と云

短中 子昇あり是を括る 短中 子昇あり平方小

短 子あり是を愛して 短 丑あり比例小

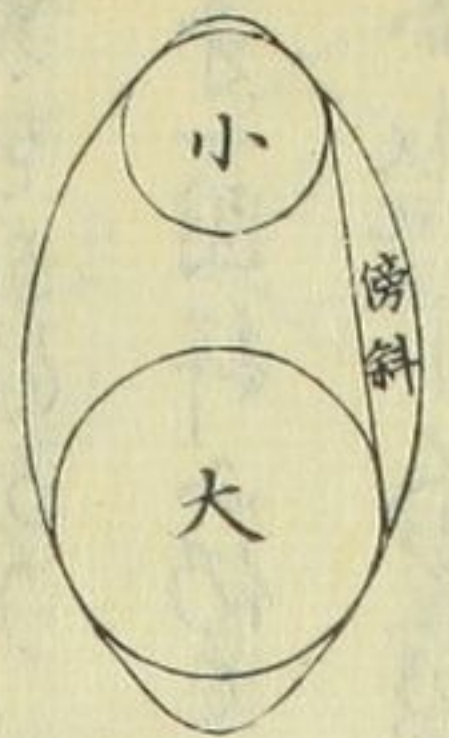
依て 子丑和 人あり子丑和を解 人あり即界

斜あり是小依て若樹を施すとたの如し

樹曰小径を並短径を以て刻是をを合以て一個の内より引残平方小同さ

たとい大径を並短径を以て刻是をを合以て一個の内より引残平方小

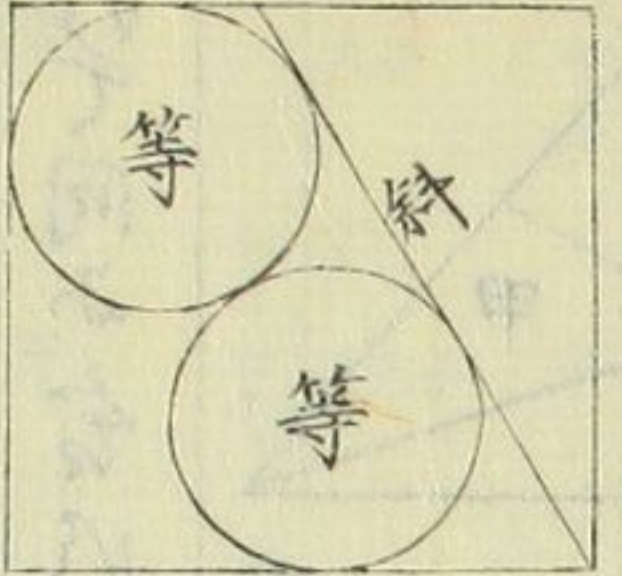
引きたるを加へ長径を是是を半して界斜を以て同小合は



今側圖の内へ圖の如く傍斜を設て大小二圓を容るあり  
各圓周ハ側圖周二  
所と傍斜小切は 只云長径十三寸短径五寸大径  
四寸小径三寸傍斜何種と同

若曰傍斜九寸一分

此類ハ若條の類と全く同し若樹解中界斜上下楕周小切して圖  
場の内を旋て逐て圓場と言ふ親むと此ハ傍斜とある解我及  
精樹若文の如し故小是を略は



今方の内へ圖の如く斜を設て等圓を容るあり方面一  
等徑何種と同 圖解

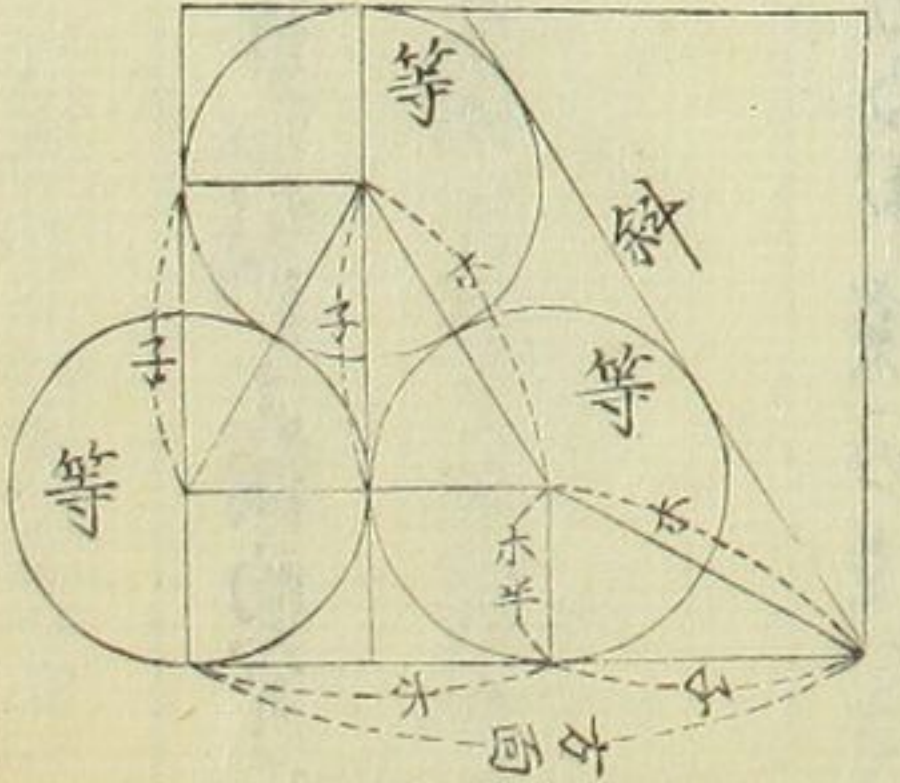
若曰等徑五分三厘八九余

一等を命して 与に三角中勾率をを 子あり

等徑を加へ 方面ありた小若は 面 お消

空數通く 三ヶ商差ををて三個高

二個の高を解 精空數



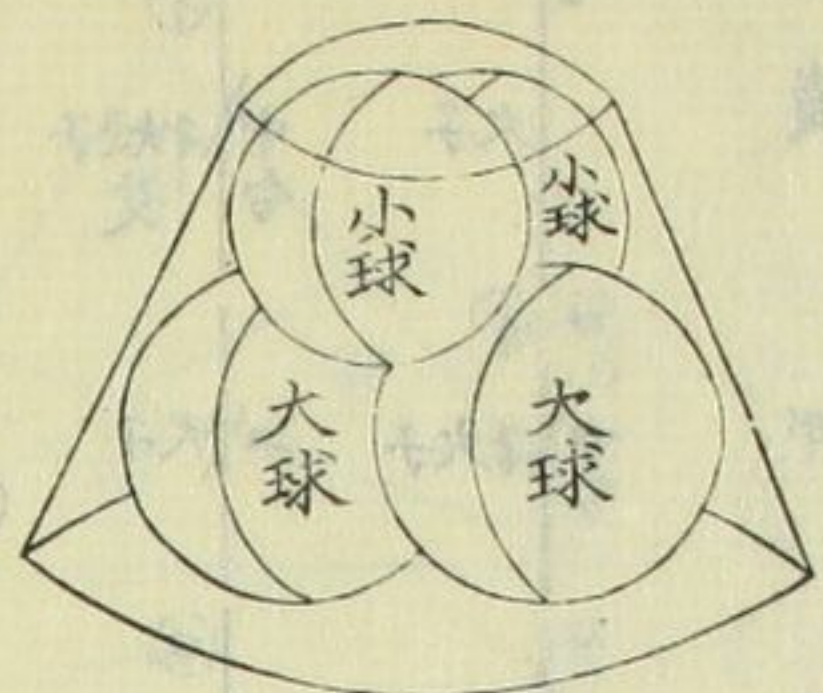
三角中勾率







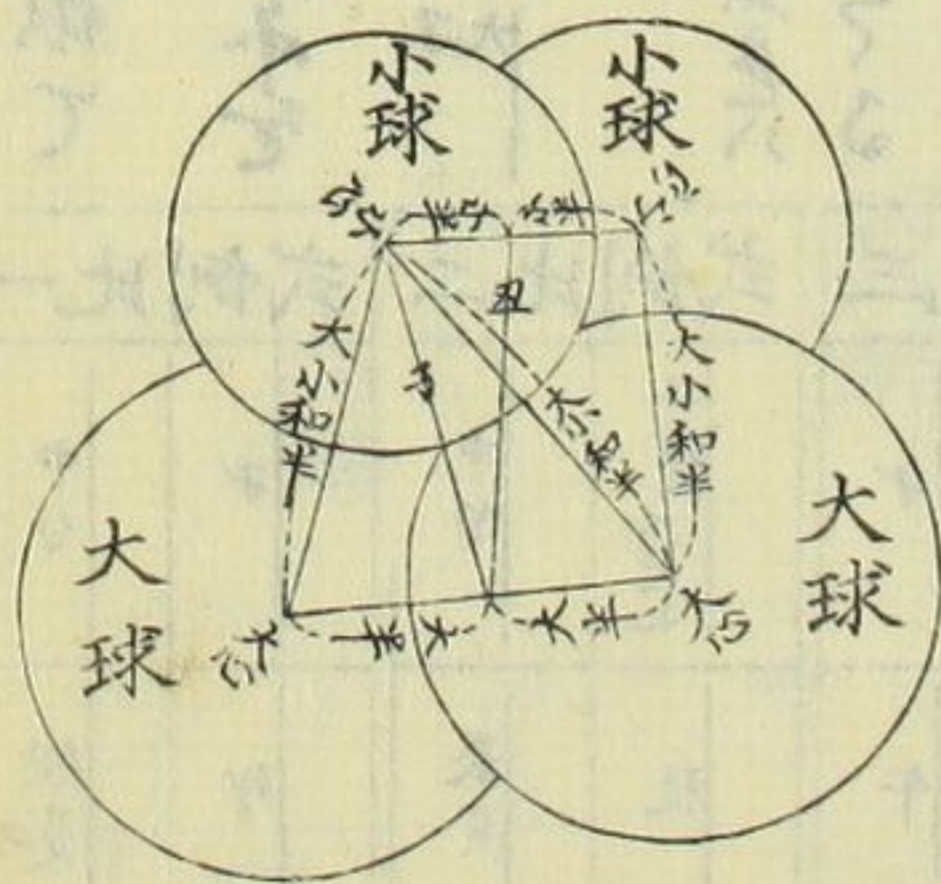
甲積を以る式を求む 責 五ヶ商  
 是小依て善術を施したる如し  
 術曰五個を並平方小に丸一個を加へ以て三斜積を別甲積を以て  
 同小合以



今圆锥の内へ圓の如く大球各二個を容る 隣球お  
 充て勃 あり大球径四寸小球径二寸圆锥の高  
 何程と同

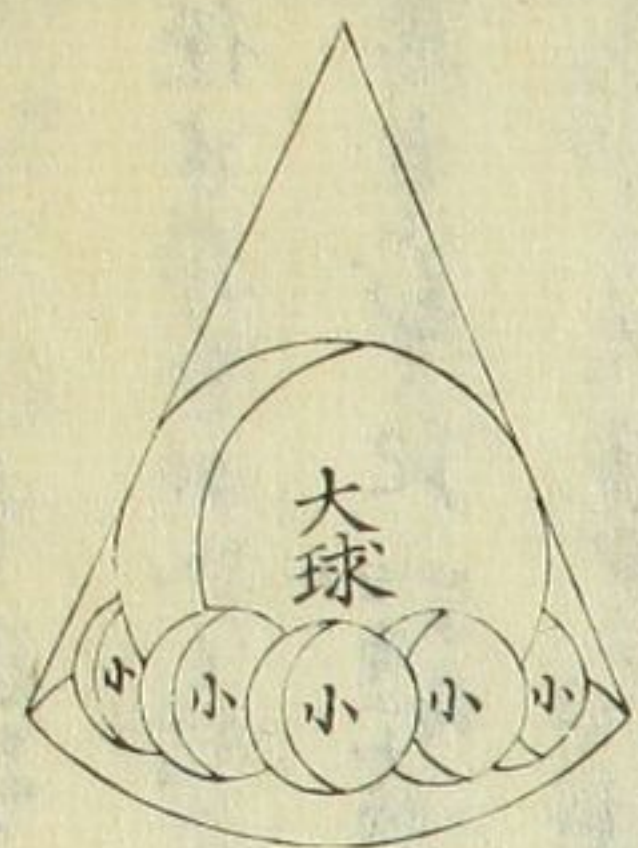
善曰圆锥高六寸

圖解



解曰各球の心より心小至て斜を画し丸兩又の  
 形と成下の圖の如し

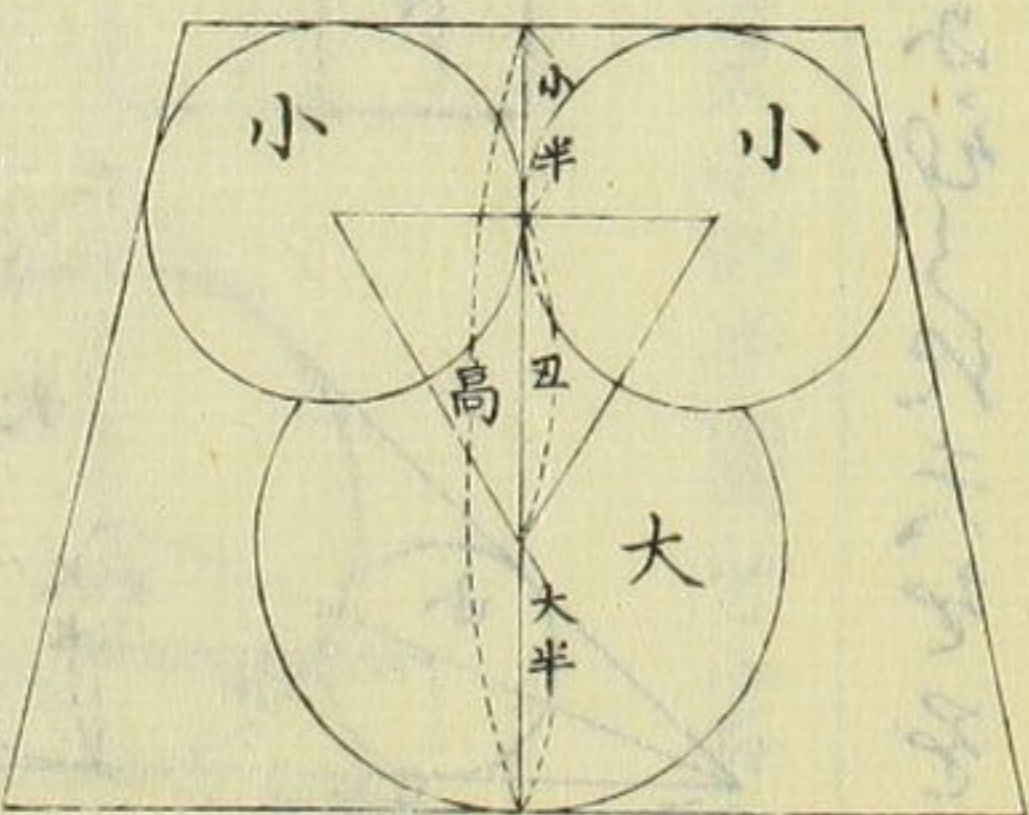
大小和中 大中 子母あり内小球径半母を引



今圆锥の内へ圓の如く大球一個小球八個を容る  
 乃各隣球と圆锥の下面及 傍より小切し内小充て勃をかし あり小球径一寸圆锥の  
 下径何程と同

善曰下径六寸三分の八六余

大小和中 大中 子母あり内小球径半母を引  
 和母を斜異減して 大小 子母あり平方小  
 心小  
 二ヶ商 二ヶ商 二ヶ商 二ヶ商  
 大小和 子母あり  
 是小依て精術を施したるの如し  
 術曰大球径を並小球径を是を倍して平方小用き大球径及小球  
 径を加へ是を半して高を以て同小合以





子あり是を合て小

径半昇を加へ二ヶ商 丑昇あり

平方小むら二ヶ商 丑あり

解二ヶ商 大径あり二ヶ商 大径あり内小径を引

半して二ヶ商 子あり二個商

二の和を解異減して二ヶ商 子あり

比例小依て二ヶ商 下径あり丑子大

径を解二ヶ商 下径あり

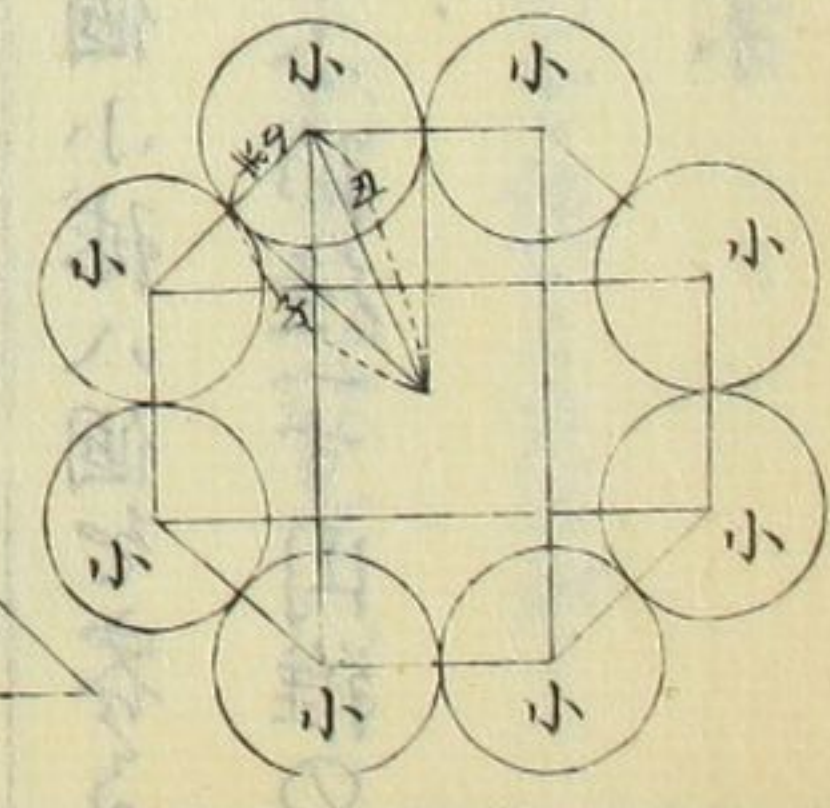
是小依て是を施してたの如し

絛曰二個を並平方小同じ二個を加へ天と底平方小むら天を亦

下径小平行して

小球径を横小

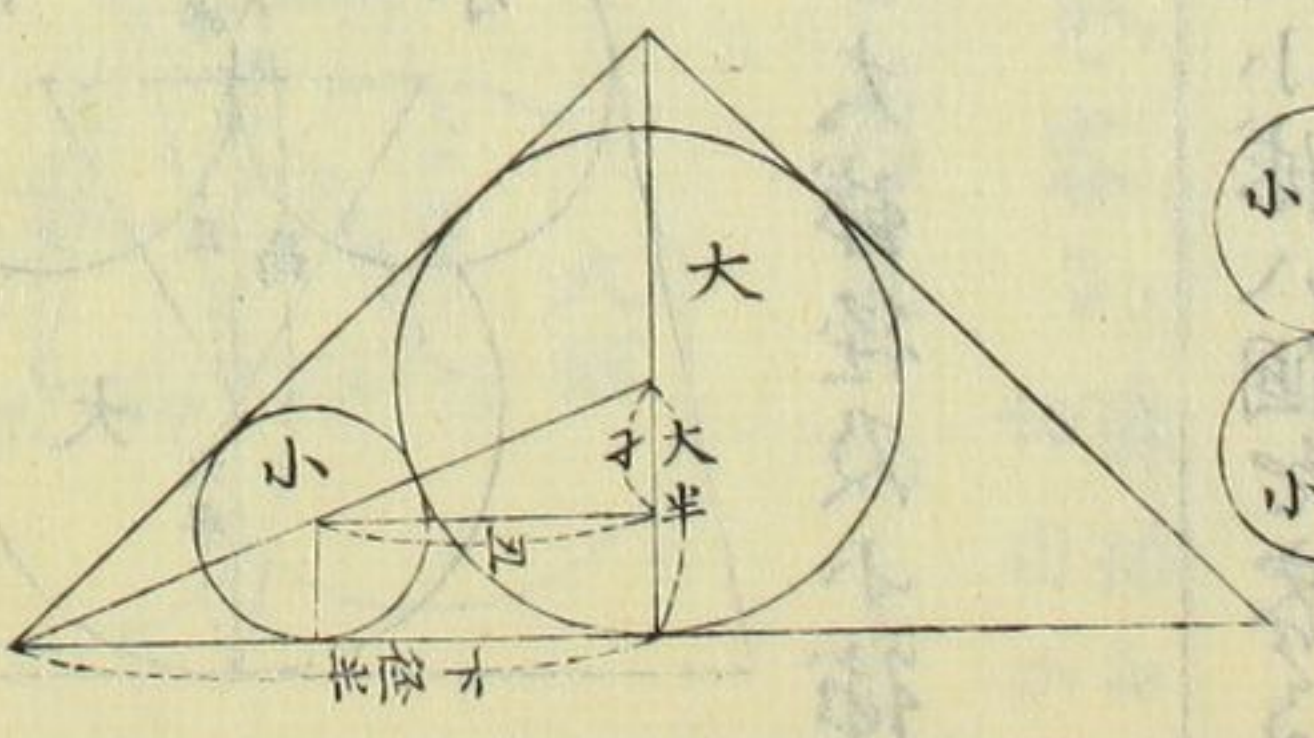
截る圖



大小球の心を

豎小截る圖

式例	比
大半	子
下半	丑



小径を並下径を併て同小合は

今勾股の内へ圓の如く全圓及中勾を隔て大小の半圓を容る

何り大径三寸小径一寸全徑何程と同

答曰全徑二寸

解曰中々ハ子あり是小よつて

と等きことを知る

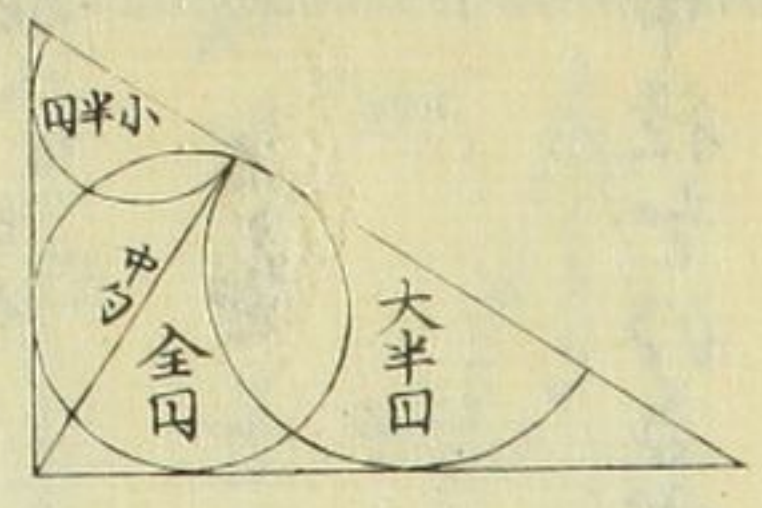
又勾と卯の程即丑と子の程あり故子ハ中勾と平

仍ありと卯あり是小依て二ヶ商 辰あり同程小依て

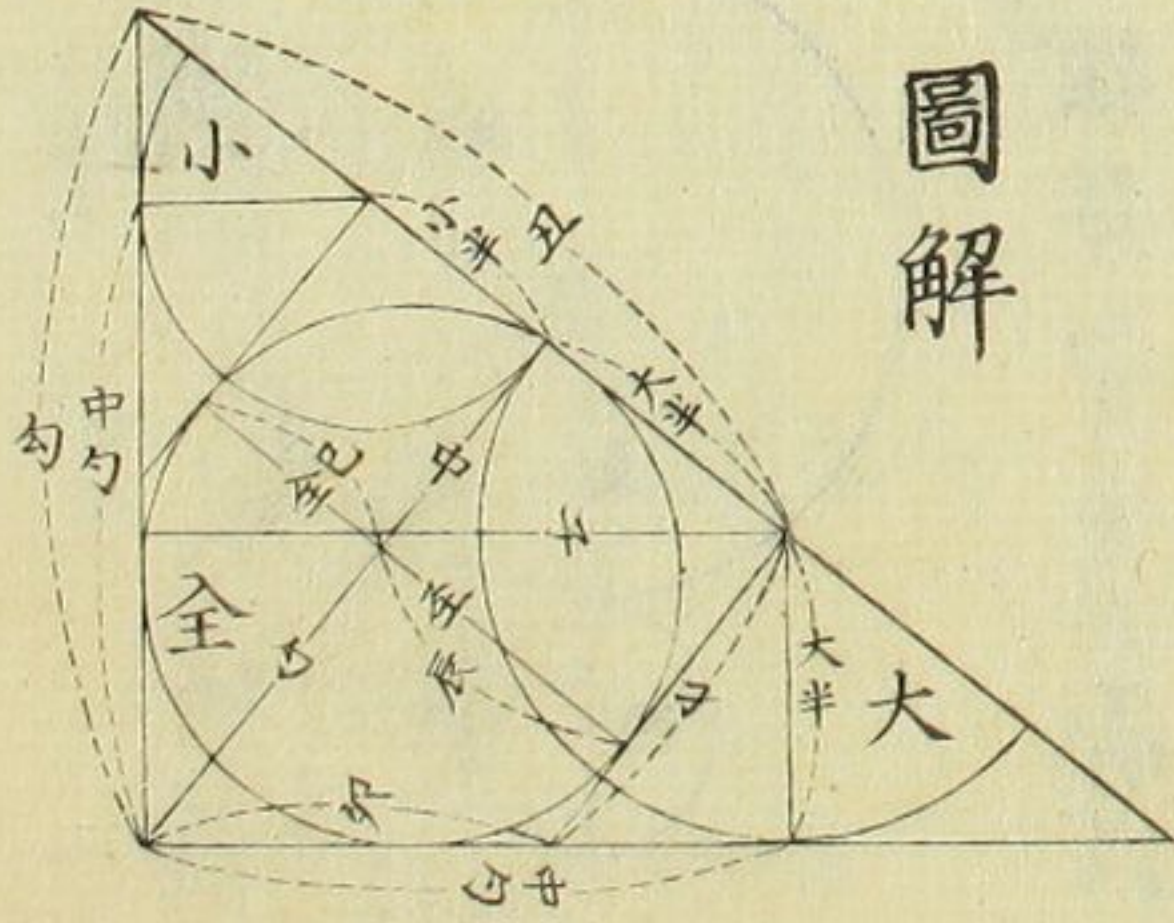
已あり辰を加へ二ヶ商 全徑と成

是小依て是を施してたの如し

絛曰大径を並小径を加へ是を半して全徑を併て同小合は



圖解





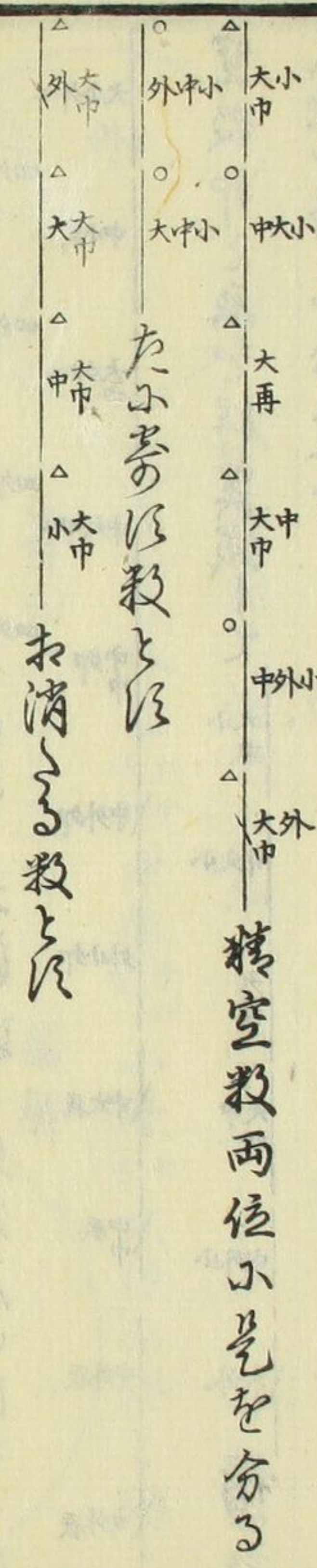








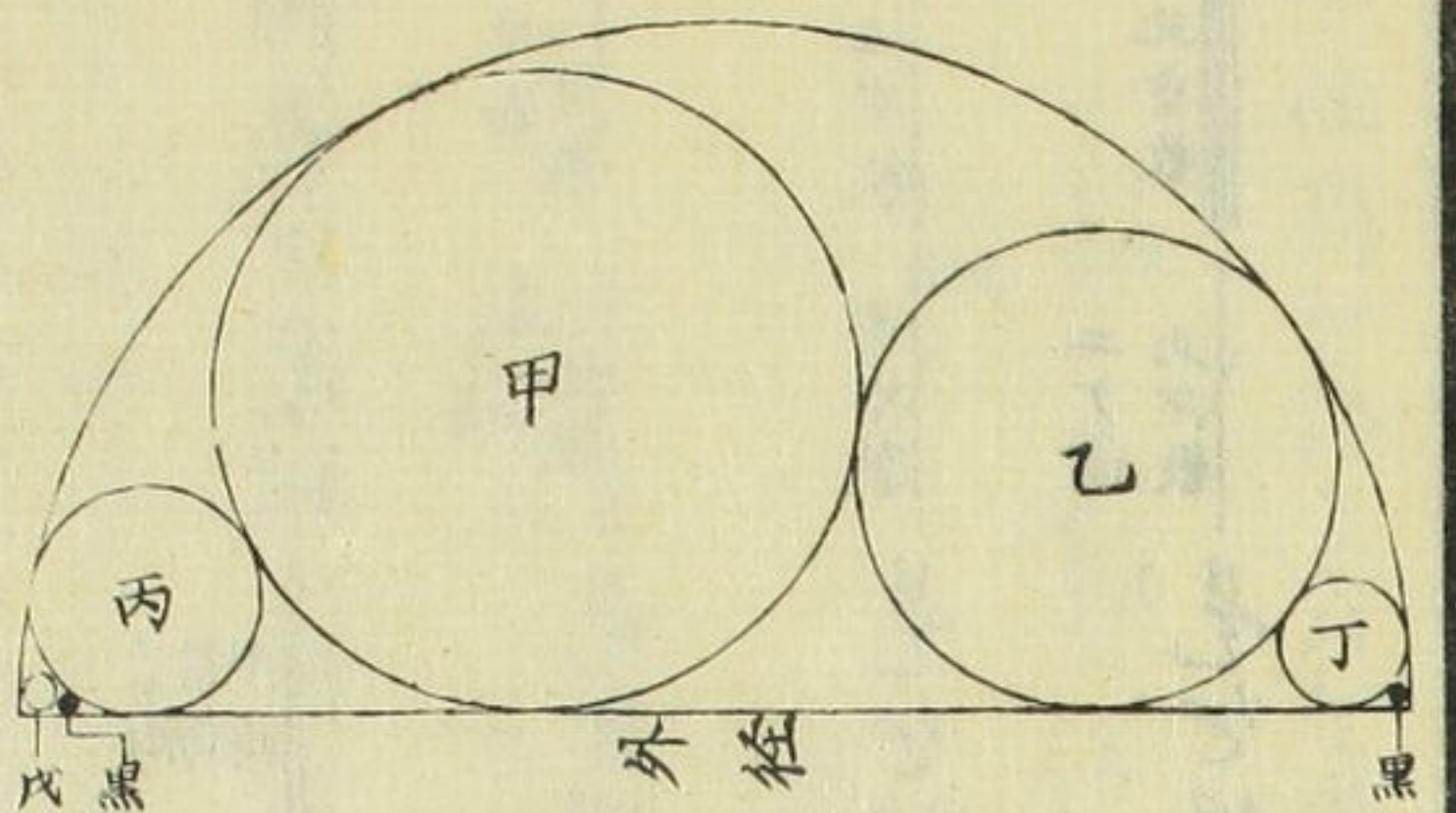
凡立方式以上の等顆樹あり  
 級空ある式ハ等顆十八條の如く等顆樹あり  
 故空教を兩位小分て算消教を求る天元樹小依く精樹を  
 施す其法たの如く



但し空教の傍書を見合括りよきやう小分べし

是小依て善樹を施すたの如く

樹曰天元の一を立て大径と以て外徑を加へ中徑及小徑をた小寄は  
 大径を並中徑と小徑を加へ以て外徑の内より引除へ大径寄をを  
 た小寄とお消して算方式を以て立方式小是を算き大径を以て同小寄は



今半圓の内へ圓の如く甲乙丙丁戊圓各一個と等是  
 圓二個を算るあり乙徑一寸甲徑何徑と同

善曰甲徑一寸三分六六二余

一等を命て 甲 と以て 圖解

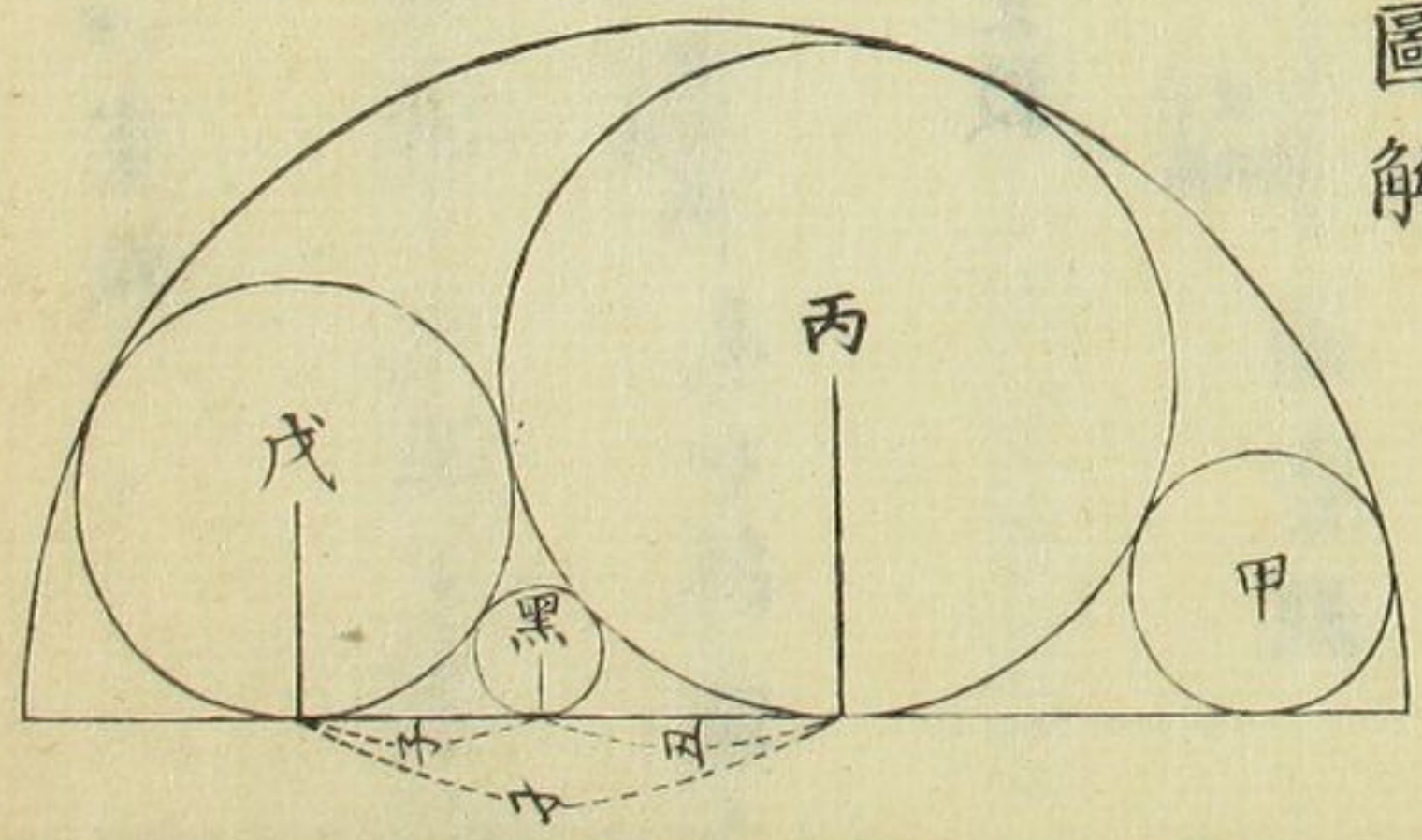
虚一を丙丁戊黒の四位小命て

丙黒商 丑あり子を加へ  
 丙黒商 子あり  
 戊黒商 子あり後是小同  
 丙黒商 子ありた小寄は  
 戊黒商 子ありた小寄は  
 丙黒商 子あり  
 戊黒商 子あり

丙黒商 子ありお消  
 丙黒商 子あり  
 戊黒商 子あり  
 丙黒商 子あり  
 戊黒商 子あり

等二十條の樹小依て空教に件を求む

丁黒商 丁黒商 二空教  
 乙黒商 乙黒商 二空教









# 北林堂藏板目次

江戸中橋廣小路町

西宮彌兵衛

## 算法新書

總理 西碓先生  
編集 流峯先生

全五卷

合卷大冊 一卷

此書ハ法教の名義より八算見一お協割るる分盈朧求積用平方用立方勾股  
 弦宮術天元並竈文高算術等類教述素成教互減通約互約逆約互約自約  
 増約損約零約割一箇一節管通等算術拾遺算術綴術圓程角術及諸卷不  
 至て術毎二紀系をゆり巻末小極形術を附編し巻中未算の算術教條を考け  
 右人の解難を以て解し以て算術中の秘を詳載し或方の算士は其の因  
 術を索むる毎用の工夫を費はさなく解法捷徑ありて精術を以て後志

## 算法極形指南

西碓先生創製  
水原先生編集

全五卷

極形術法則より記す一個の極形変化を教條の象を成し一種の極組合還系を  
 不同の組合件を以て理を示し群書の雜同二百餘條の紀系を詳載し或法の  
 術語を以て述す精術を施する算術の窮理解法捷徑の良法あり











